

Microsoft.DP-300.v2025-02-14.q113

試験コード:	DP-300
試験名称:	Administering Relational Databases on Microsoft Azure
認定資格:	Microsoft
無料問題数:	113
バージョン:	v2025-02-14
アクセス数:	1044
ページビュー数:	1130
https://www.jpnpdf.com/Microsoft.DP-300.v2025-02-14.q113-mondaishu.html	

最新問題: 1

次の図に示すように、Azure Portal で Azure SQL データベースをプロビジョニングしています。

The screenshot shows the 'Configure' page for creating a new Azure SQL Database. The page is titled 'Microsoft Azure' and includes a search bar and user information. The main content area is titled 'Configure' and includes a 'Feedback' link. The 'Compute Hardware' section is active, showing 'Gen5' hardware configuration with 'up to 40 vCores, up to 120 GB memory'. The 'Hardware Configuration' section shows 'Max vCores' set to 6 and 'Min vCores' set to 0.75. The 'Auto-pause delay' section is set to 0 days, 4 hours, and 0 minutes. The 'Data max size' is set to 800 GB. A cost summary table is displayed on the right, and an 'Apply' button is at the bottom.

Cost summary	
Gen5 - General Purpose (GP_5, Gen5_0)	
Cost per GB (in USD)	0.12
Max storage selected (in GB)	x 1040
ESTIMATED STORAGE COST / MONTH	119.60 USD
COMPUTE COST / VCORE / SECOND ¹	0.000145 USD

NOTES
¹ Serverless databases are billed in vCores based on a combination of CPU and memory utilization. Learn more about serverless billing

ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

After four hours of inactivity, the database requires [answer choice] to resume operations for new activities.

The database configuration reduces the cost of [answer choice] usage patterns.

no extra time
up to 10 minutes
up to one minute

intermittent and unpredictable
regular and high
steady and low

Answer:

After four hours of inactivity, the database requires [answer choice] to resume operations for new activities.

The database configuration reduces the cost of [answer choice] usage patterns.

no extra time
up to 10 minutes
up to one minute

intermittent and unpredictable
regular and high
steady and low

説明

グラフィカルユーザーインターフェイス、テキスト、アプリケーション、電子メールの説明が自動的に生成されます

After four hours of inactivity, the database requires [answer choice] to resume operations for new activities.

The database configuration reduces the cost of [answer choice] usage patterns.

no extra time
up to 10 minutes
up to one minute

intermittent and unpredictable
regular and high
steady and low

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/serverless-tier-overview>

最新問題: 2

Azure SQL データベースに関して、Azure Monitor から多数のアラートを受信します。アラートの数を減らす必要があります。長期間にわたって使用パターンに大きな変化があった場合にのみアラートを受信する必要があります。実行すべき2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は解決策の一部を示しています。注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

- A. しきい値感度を高に設定する
- B. アラートロジックのしきい値を動的に設定する
- C. アラートロジックのしきい値を静的に設定する
- D. しきい値感度を低に設定する
- E. 強制プランをオンに設定する

Answer: B,D (メッセージを残す)

セクション: [なし]

Explanation:

B: 動的しきい値は、メトリック シリーズのデータを継続的に学習し、一連のアルゴリズムとメソッドを使用してモデル化しようとします。季節性 (時間別 / 日次 / 週次) などのデータ内のパターンを検出し、ノイズの多いメトリック (マシンの CPU やメモリなど) だけでなく、分散の低いメトリック (可用性やエラー率など) も処理できます。

D: アラートしきい値の感度は、アラートをトリガーするために必要なメトリック動作からの逸脱の量を制御する高レベルの概念です。

低 - メトリック シリーズ パターンからの距離が大きくなるにつれて、しきい値は緩くなります。アラート ルールは大きな偏差がある場合にのみトリガーされるため、アラートの数が少なくなります。

誤った回答:

A: 高 - しきい値は厳しくなり、メトリック シリーズ パターンに近くなります。最小の偏差でアラート ルールがトリガーされ、アラートが増えます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/platform/alerts-dynamic-thresholds>

最新問題: 3

SQLMI1 という名前の Azure SQL Database マネージド インスタンスがあります。Microsoft SQL Server エージェント ジョブは SQLMI1 で実行されます。

ジョブが完了したら、自動電子メール通知が送信されるようにする必要があります。

ソリューションには何を含めるべきですか?

- A. SQL Server構成マネージャー(SSMS)からSQL Serverエージェントを有効にします
- B. SQL Server Management Studio (SSMS) から、sp_set_sqlagent_properties を実行します。
- C. SQL Server Management Studio (SSMS) からデータベースメールプロファイルを作成します。
- D. Azureポータルから、電子メール/SMS/プッシュ/音声アクションを含むAzure Monitorアクショングループを作成します。

Answer: C (メッセージを残す)

アラートに回答して通知を送信するには、まず SQL Server エージェントがメールを送信するように構成する必要があります。

SQL Server Management Studio を使用して、データベース メールを使用するように SQL Server エージェントを構成するには、次の手順を実行します。

1. オブジェクト エクスプローラーで、SQL Server インスタンスを展開します。

2. SQL Server エージェントを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
3. 「アラートシステム」をクリックします。
4. メールプロファイルを有効にするを選択します。
5. メール システム リストで、データベース メールを選択します。
6. メール プロファイル リストで、データベースメールのメール プロファイルを選択します。
7. SQL Server エージェントを再起動します。

注: 前提条件は次のとおりです:

データベース メールを有効にします。

SQL Server エージェント サービス アカウントが使用するデータベース メール アカウントを作成します。

使用する SQL Server エージェント サービス アカウントのデータベース メール プロファイルを作成し、ユーザーを msdb データベースの DatabaseMailUserRole に追加します。

プロファイルを msdb データベースの既定のプロファイルとして設定します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/database-mail/configure-sql-server-agent-mail-to-use-database-mail>

最新問題: 4

DB1 という名前の 60 TB の運用データベースをホストするオンプレミスの Microsoft SQL Server 2022 インスタンスがあります。

DB1 を Azure に移行する予定です。

DB1 のホスティング ソリューションを推奨する必要があります。

DB1 をホストするにはどの Azure SQL Database サービス レベルを使用する必要がありますか?

- A. ハイパースケール
- B. 汎用
- C. ビジネスクリティカル

Answer: A (メッセージを残す)

最新問題: 5

ホットスポットに関する質問

Azure Databricks を使用して、Purchases という名前のデータセットを開発する予定です。Purchases には次の列が含まれます。

- 製品ID
- 商品価格
- 行合計
- 量
- ストアID
- 分
- 月
- 時間

- 年
- 日

StoreID ごとに異なる 1 時間ごとの増分ロード パイプラインをサポートするには、データを保存する必要があります。ソリューションでは、ストレージコストを最小限に抑える必要があります。コードをどのように完成させるべきですか? 回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area

```
df.write
```

.bucketBy	("*")
.partitionBy	("StoreID", "Hour")
.range	("StoreID", "Year", "Month", "Day", "Hour")
.sortBy	("Year", "Month", "Day", "Hour", "StoreID")


.mode ("append")

.csv("/Purchases")
.json("/Purchases")
.parquet("/Purchases")
.saveAsTable("/Purchases")



Answer:

Answer Area



```
df.write
```

.bucketBy	("*")
.partitionBy	("StoreID", "Hour")
.range	("StoreID", "Year", "Month", "Day", "Hour")
.sortBy	("Year", "Month", "Day", "Hour", "StoreID")

.mode ("append")

.csv("/Purchases")
.json("/Purchases")
.parquet("/Purchases")
.saveAsTable("/Purchases")

Explanation:

ボックス 1: .partitionBy

例 :

```
df.write.partitionBy("y","m","d")
```

```
.mode(保存モード.追加)
```

```
.parquet("/data/hive/warehouse/db_name.db/" + テーブル名)
```

ボックス 2: ("年","月","日","時間","ストア ID")

ボックス 3: .parquet("/Purchases")

参照：

<https://intellipaat.com/community/11744/how-to-partition-and-write-dataframe-in-spark-without-deleting-partitions-with-no-new-data>

最新問題: 6

ドラッグアンドドロップの質問

SSISDB データベースを含む Azure 仮想マシン上に SQL Server 2019 があります。

最近の障害により、マスター データベースが失われました。

すべての Microsoft SQL Server 統合サービス (SSIS) パッケージが仮想マシン上で実行できないことがわかります。

問題を解決するには、どの 4 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順に並べます。

Actions	Answer Area
Add a certificate to an Azure key vault	
Enable Transparent Data Encryption (TDE)	
Encrypt a copy of the master key by using the service master key	➤
Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property	➤
Attach the SSISDB database	
Open the master key for the SSISDB database	⬆
	⬇

Microsoft

Answer:

Actions

Add a certificate to an Azure key vault

Enable Transparent Data Encryption (TDE)

Answer Area

Attach the SSISDB database

Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property

Open the master key for the SSISDB database

Encrypt a copy of the master key by using the service master key

Explanation:

ステップ1: SSISDBデータベースをアタッチする

手順 2: TRUSTWORTHY プロパティと CLR プロパティをオンにします。SSISDB カタログが作成されたことがない SQL Server インスタンスに SSISDB データベースを復元する場合は、共通言語ランタイム (clr) を有効にします。手順 3: SSISDB データベースのマスター キーを開きます。SSISDB の作成に使用した元のパスワードがある場合は、この方法でマスター キーを復元します。

マスター キーの復号化をパスワード = 'LS1Setup!' で開きます --'SSISDB の作成時に使用したパスワード' マスター キーの変更 サービス マスター キーによる暗号化の追加 ステップ 4: サービス マスター キーを使用してマスター キーのコピーを暗号化します 参照:

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/integration-services/backup-restore-and-move-the-ssis-catalog>

最新問題: 7

SalesSQLDb1 の統計メンテナンスを実装する必要があります。ソリューションは技術要件を満たしている必要があります。

どの 4 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions

Answer Area



Create and configure a schedule.

Create a SQL Server Agent job.

Publish the runbook.

Create an Azure Automation account

Import the SqlServer module.

Create a runbook that runs a PowerShell script.

Run `sp_add_jobserver`.



Answer:

ACTIONS

Create and configure a schedule.

Create a SQL Server Agent job.

Publish the runbook.

Create an Azure Automation account.

Import the SqlServer module.

Create a runbook that runs a PowerShell script.

Run `sp_add_jobserver`.

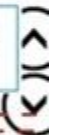
ANSWER AREA

Create an Azure Automation account.

Import the SqlServer module.

Create a runbook that runs a PowerShell script.

Create and configure a schedule.



説明

Create an Azure Automation account.

Import the SqlServer module.

Create a runbook that runs a PowerShell script.

Create and configure a schedule.

Azure Automation を使用して Azure SQL DB インデックスと統計のメンテナンスを自動化する:

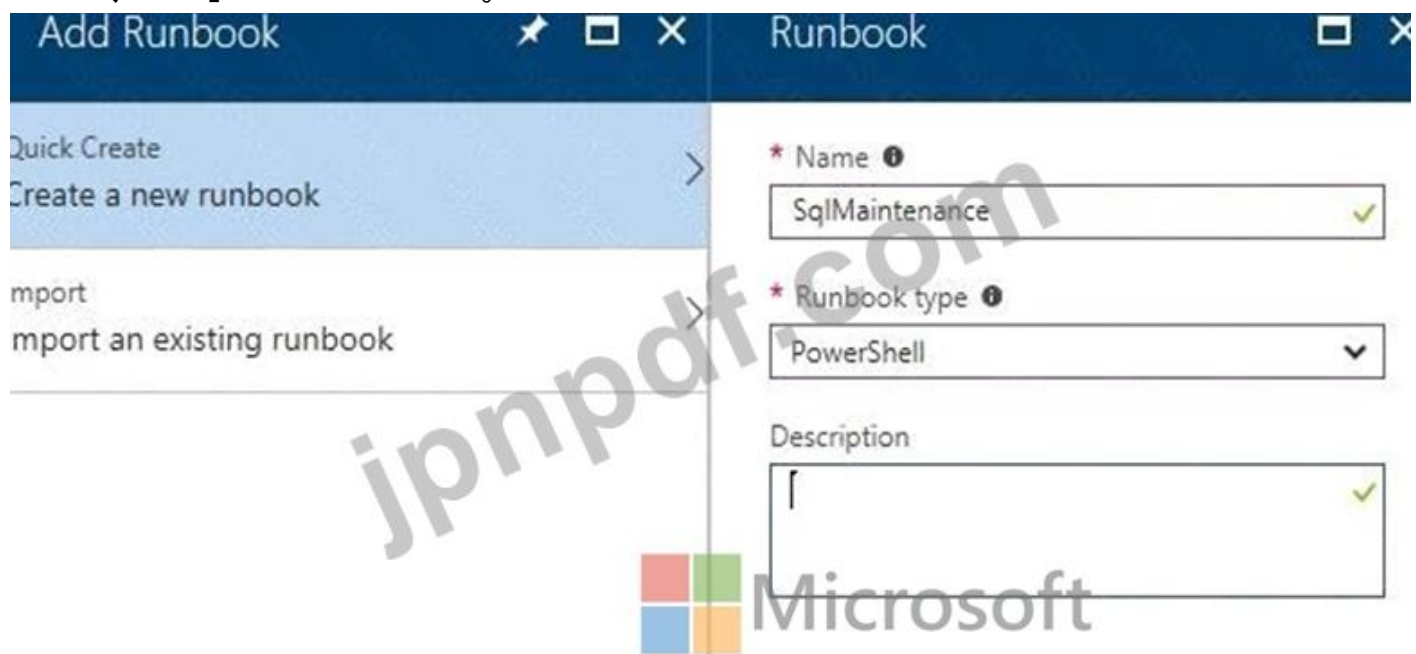
1. Azure Automation アカウントを作成する (手順 1)
2. SqlServerモジュールをインポートする (ステップ2)
3. SQL DBにアクセスするための資格情報を追加する

これにより、Azure SQL DBへのアクセスに使用されるログイン名とパスワードを安全に保持できます。

4. メンテナンスを実行するためのランブックを追加する (ステップ 3)

手順:1. 左パネルの「ランブック」をクリックし、「ランブックの追加」をクリックします。

2. 新しいランブックの作成」を選択し、名前を付けて、ランブックの種類として「PowerShell」を選択し、「作成」をクリックします。



5. タスクのスケジュール設定 (ステップ4)

手順: 1. スケジュールをクリックします。2. 「スケジュールの追加」をクリックし、指示に従って既存のスケジュールを選択するか、新しいスケジュールを作成します。

参照 :


<https://techcommunity.microsoft.com/t5/azure-database-support-blog/automating-azure-sql-db-index-and-statisti>

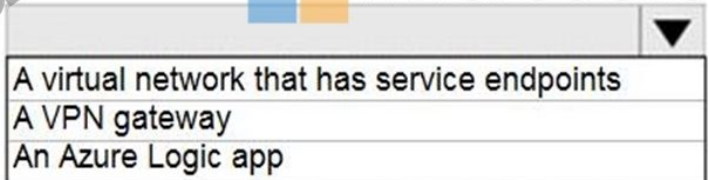
最新問題: 8

SERVER1 データベースの移行を計画しています。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。

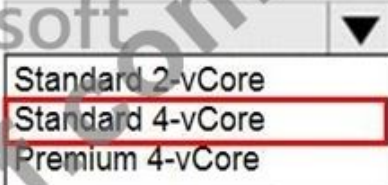
移行計画には何を含める必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

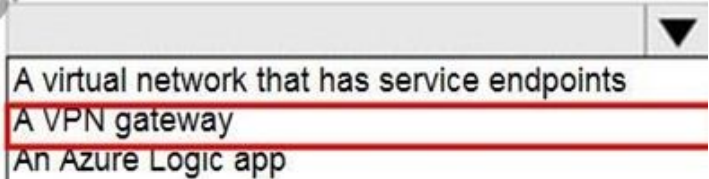
注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Azure Database Migration Service pricing tier: 

Required Azure resource: 

Answer:

Azure Database Migration Service pricing tier: 

Required Azure resource: 

参照 :

<https://azure.microsoft.com/pricing/details/database-migration/>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/tutorial-sql-server-azure-sql-online>

最新問題: 9

Azure サブスクリプションがあります。サブスクリプションには、SQL1 という名前の Azure Virtual Machines 上の SQL Server のインスタンスと、account1 という名前の Azure Automation アカウントが含まれています。

サービスが停止した場合に SQL Server エージェント サービスを再起動するように account1 を構成する必要があります。

どの設定を構成する必要がありますか?

A. 更新管理

B. 状態構成 (DSC)

C. VMの起動/停止

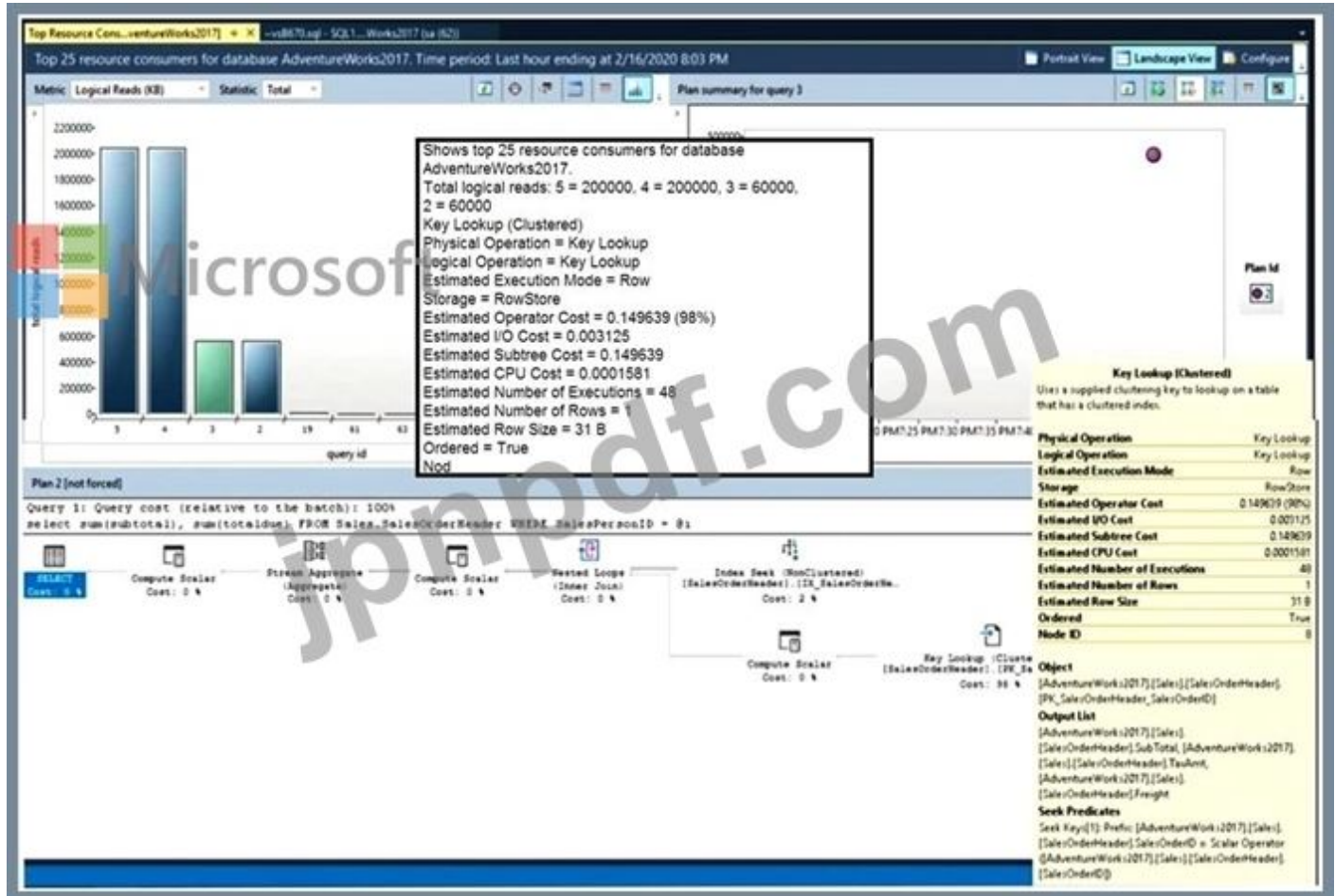
D. 変更の追跡

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 10

Azure 仮想マシン上に SQL Server があります。

次の図に示すクエリ プランを確認します。



次の各文について、その文が正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。



You will reduce the I/O usage and the query execution time if you force the query plan.

Yes No

Yes No

You will increase the I/O usage and the query execution time if you create a new index on the SalesOrderHeader table.

Yes No

You will reduce the I/O usage and the query execution time if you include the SubTotal, TaxAmt, and Freight columns in the PK_SalesOrderHeader_SalesOrderID index.

Yes No

Answer:

Statements	Yes	No
You will reduce the I/O usage and the query execution time if you force the query plan.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
You will increase the I/O usage and the query execution time if you create a new index on the SalesOrderHeader table.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
You will reduce the I/O usage and the query execution time if you include the SubTotal, TaxAmt, and Freight columns in the PK_SalesOrderHeader_SalesOrderID index.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/monitoring-performance-by-using-the-query-store>

最新問題: 11

Twitter フィード データ レコードのデータ保持ソリューションを設計する必要があります。ソリューションは、顧客感情分析の要件を満たす必要があります。ソリューションに含めるべき Azure Storage 機能はどれですか？

- A. 時間ベースの保持
- B. フィードの変更
- C. ライフサイクル管理
- D. ソフト削除

Answer: ([解答を表示する](#))

セクション: [なし]

Explanation:

ライフサイクル管理ポリシーを使用すると、次のことが可能になります。ライフサイクルの終了時に BLOB、BLOB バージョン、BLOB スナップショットを削除するシナリオ:

- * 2 年以上前の Twitter フィード データ レコードを消去します。
- * Event Hubs Capture を使用して Twitter フィードを Azure Storage に保存します。フィードは Parquet ファイルに変換されます。
- * Twitter フィード データ レコードを維持するための管理作業を最小限に抑えます。

誤った回答:

A: 時間ベースの保持ポリシーのサポート: ユーザーは、指定された間隔でデータを保存するポリシーを設定できます。時間ベースの保持ポリシーが設定されている場合、BLOB は作成および読み取りできますが、変更または削除することはできません。保持期間が経過すると、BLOB は削除できますが、上書きすることはできません。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/blobs/storage-lifecycle-management-concepts>

最新問題: 12

40 個の Azure SQL データベースがあり、それぞれが異なる顧客用です。すべてのデータベースは同じ Azure SQL データベース サーバー上に存在します。

各顧客がそれぞれのデータベースにのみ接続してアクセスできるようにする必要があります。実行すべき 2 つのアクションはどれですか？ それぞれの正解は解決策の一部を示しています。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

- A. 行レベルのセキュリティ (RLS) を実装します。
- B. 各データベースにユーザーを作成します。
- C. データベース ファイアウォールを構成します。
- D. サーバーのファイアウォールを構成します。
- E. マスター データベースにログインを作成します。
- F. Always Encrypted を実装します。

Answer: B,C (メッセージを残す)

説明

ユーザーをデータベースに追加したり、安全な接続文字列を使用してユーザー アクセスを許可したりすることで、データベース アクセスを管理します。

データベース レベルのファイアウォール ルールは個々のデータベースにのみ適用されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/secure-database-tutorial>

最新問題: 13

Azure サブスクリプション内のすべての新規および既存の Azure SQL Database デプロイに、20 個の組み込み Azure Policy 定義を適用する必要があります。ソリューションでは、管理作業を最小限に抑える必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか？ 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	ANSWER Area
Duplicate Azure Policy definitions	
Run Azure Policy remediation tasks	
Create an Azure Blueprints assignment	⤵
Create an Azure Policy initiative	⬅
Create an Azure Policy initiative assignment	

⤴ ⤵

Answer:

Answer Area
Create an Azure Policy Initiative
Create an Azure Policy Initiative assignment
Run Azure Policy remediation tasks

- 1 - Azure Policy イニシアティブを作成する
- 2 - Azure Policy Initiative の割り当てを作成する
- 3 - Azure Policy 修復タスクを実行する

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/governance/policy/tutorials/create-and-manage>

最新問題: 14

Server1 という名前のサーバーを含む Azure サブスクリプションがあります。Server1 は、DB1 と DB2 という名前の 2 つの Azure SQL データベースをホストします。

SQL 認証を使用して DB2 に認証する App1 という名前の Windows アプリをデプロイする予定です。

App1 が DB2 にアクセスできることを確認する必要があります。ソリューションは次の要件を満たしている必要があります。

- * App1 は DB2 のみを表示できる必要があります。
- * 管理上の労力を最小限に抑える必要があります。

何を創造すべきでしょうか？

- A. DB2 上の App1 の包含データベース ユーザー
- B. Server1 上の App1 へのログイン
- C. DB2 上の App1 の外部プロバイダーからの包含データベース ユーザー
- D. DB2 上の App1 の Windows ログインからの包含データベース ユーザー

Answer: D ([メッセージを残す](#))

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/security/contained-database-users-making-your-databas>

最新問題: 15

Db1 という名前のデータベースを含む Azure 仮想マシン上に SQL Server があります。

Db1 の自動チューニングを有効にする必要があります。

どのように文を完成させればよいでしょうか？ 回答するには、回答エリアで適切な回答を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

ALTER DATABASE [Db1]

```
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)
```

GO

ALTER DATABASE [Db1]

```
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)
```

GO

Answer:

ALTER DATABASE [Db1]

```
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)
```

GO

ALTER DATABASE [Db1]

```
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)
```

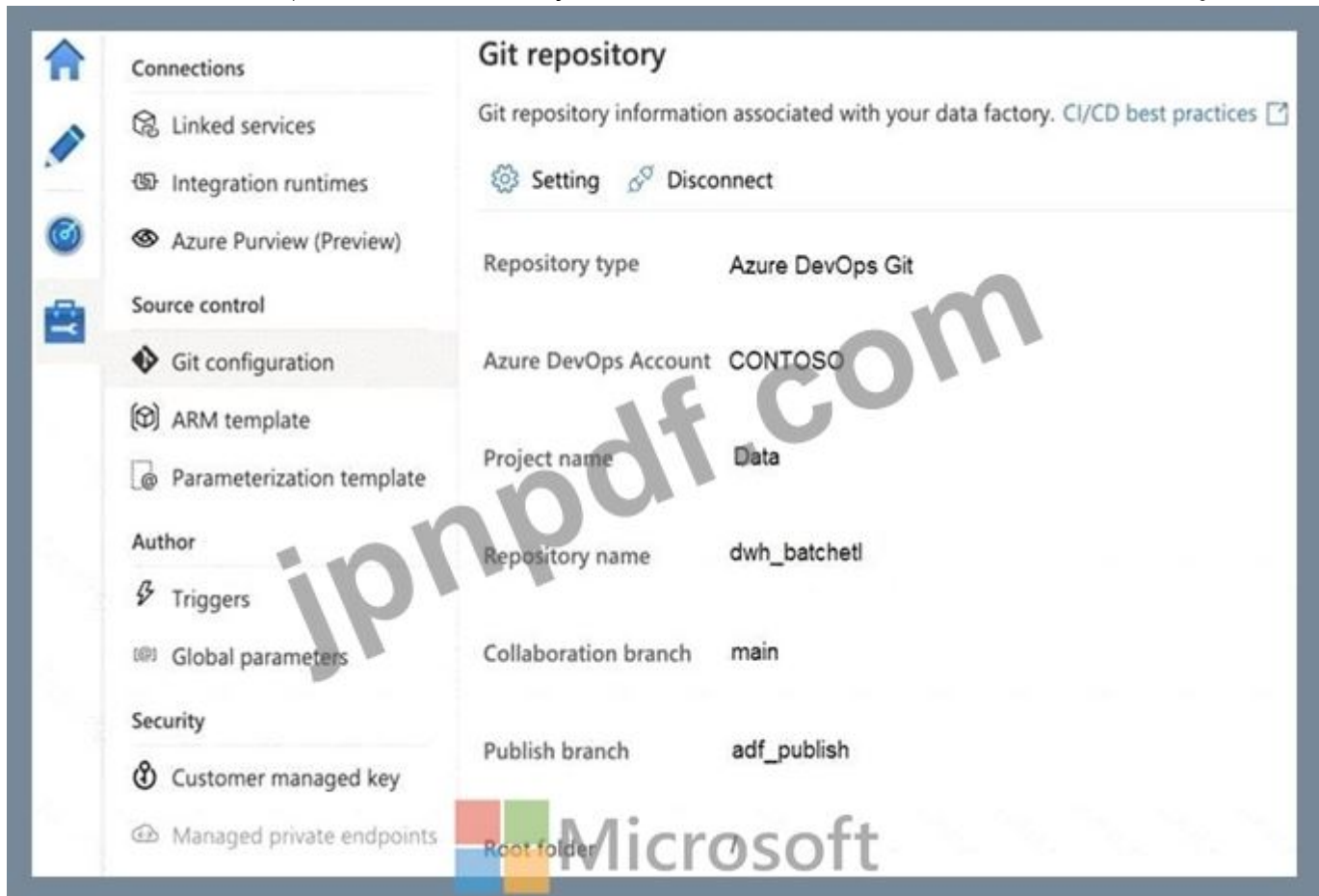
GO

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/automatic-tuning-enable>

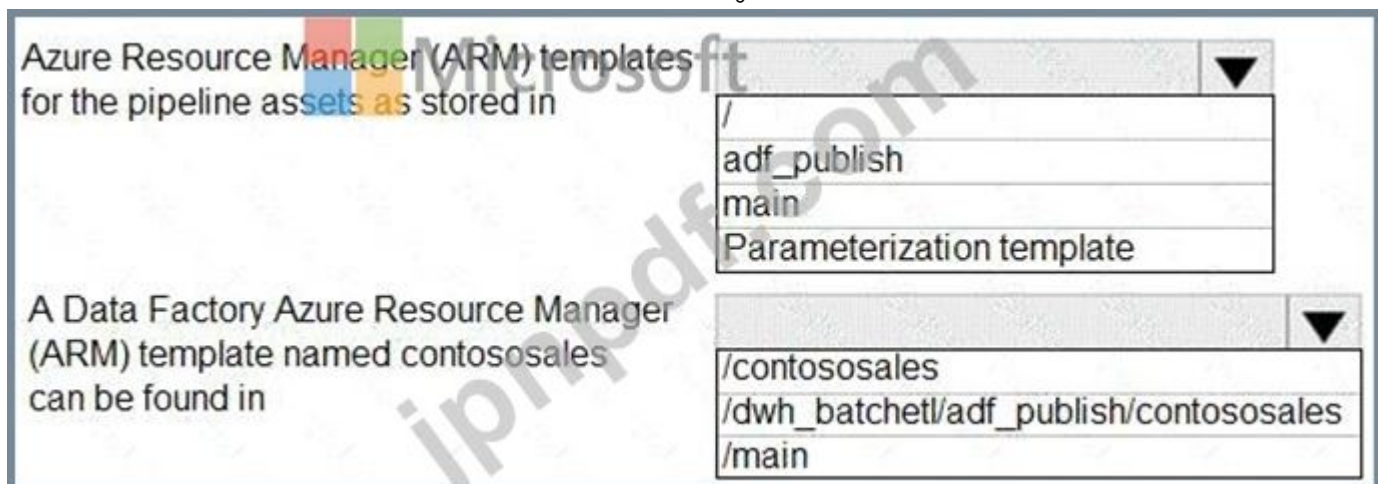
最新問題: 16

次の図に示すように、Azure Data Factory インスタンスのバージョン管理を構成します。

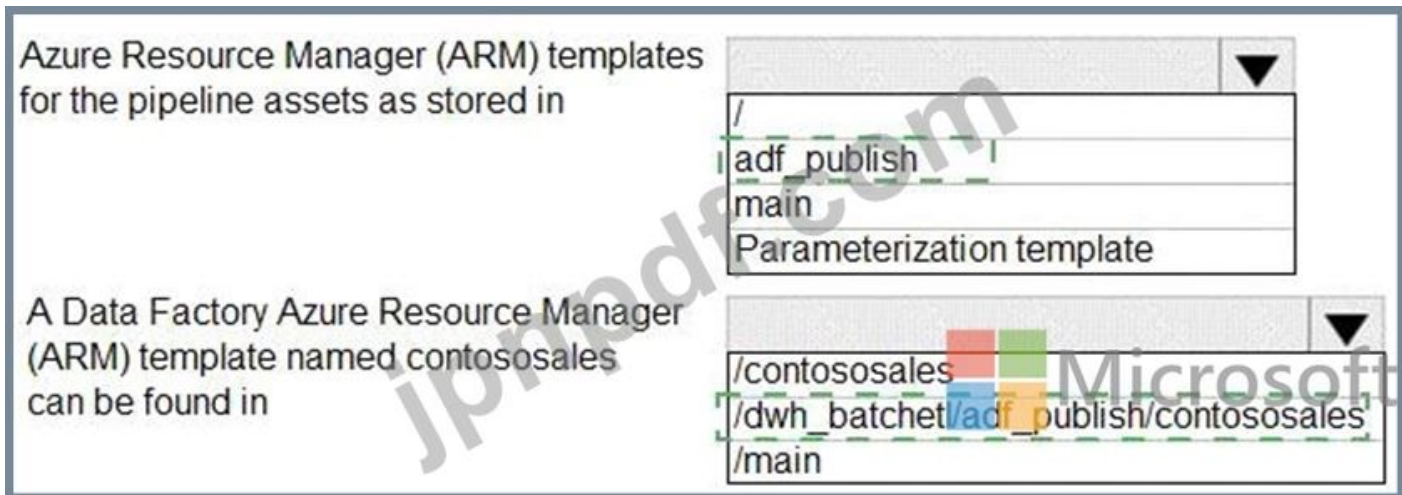


ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

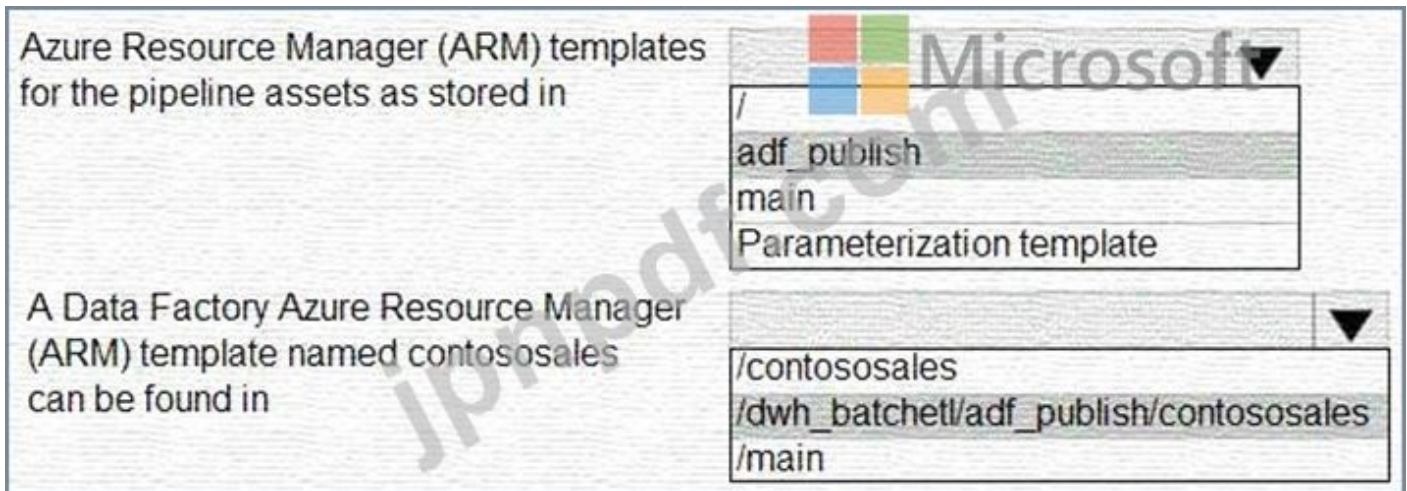


Answer:



Explanation:

グラフィカルユーザーインターフェイス、テキスト、アプリケーションの説明が自動的に生成されます



ボックス1: adf_publish

既定では、データ ファクトリは公開されたファクトリのリソース マネージャー テンプレートを生成し、adf_publish というブランチに保存します。カスタム公開ブランチを構成するには、コラボレーション ブランチのルート フォルダに publish_config.json ファイルを追加します。公開時に、ADF はこのファイルを読み取り、フィールド publishBranch を検索し、すべてのリソース マネージャー テンプレートを指定された場所に保存します。ブランチが存在しない場合は、データ ファクトリによって自動的に作成されます。このファイルの例は、次のようになります。

```
{
  "publishBranch": "factory/adf_publish"
}
```

ボックス 2: /dwh_barchlet/ adf_publish/contososales

RepositoryName: Azure Repos コード リポジトリ名。Azure Repos プロジェクトには、プロジェクトの拡大に合わせてソース コードを管理するための Git リポジトリが含まれています。新しいリポジトリを作成することも、プロジェクトに既に存在する既存のリポジトリを使用することもできます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-factory/source-control>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！
GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**36830%OFF**問題集 溶と正解付きで **30%**w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

Azure 仮想マシン上に SQL Server があります。

命名規則に準拠していないストア プロシージャを識別するには、Microsoft SQL Server のポリシーベースの管理を使用する必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Answer Area
Export a built-in policy.	
Create a custom policy based on a condition.	
Create a custom condition based on a built-in facet.	
View the policy history.	
Import a policy file.	
Run a policy evaluation.	

Answer:

Answer Area
Create a customer condition based on a built-in facet.
Create a custom policy based on a condition.
Run a policy evaluation.

- 1 - 組み込みファセットに基づいて顧客条件を作成します。
- 2 - 条件に基づいてカスタム ポリシーを作成します。
- 3 - ポリシー評価を実行します。

参照 :

<https://www.mssqltips.com/sqlservertip/2298/enforce-sql-server-database-naming-conventions-using-policy-based-management/>

最新問題: 18

Azure 仮想マシンに Always On 可用性グループがデプロイされています。可用性グループには、DB1 という名前のデータベースが含まれており、SQL1 と SQL2 という名前の 2 つのノードがあります。SQL1 はプライマリ レプリカです。

SQL2 で DB1 の完全バックアップを開始する必要があります。

どのステートメントを実行する必要がありますか？

データベース DB1 を URL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/' にバックアップします

A. mycontainer/DB1.bak' (差分、STATS=5、圧縮)

データベース DB1 を URL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/' にバックアップします

B. mycontainer/DB1.bak' を (COPY_ONLY、STATS=5、COMPRESSION) で実行します。

データベース DB1 を URL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/' にバックアップします

C. mycontainer/DB1.bak' (File_Snapshot、STATS=5、COMPRESSION) を使用します。

データベース DB1 を URL='https://mystorageaccount.blob.core.windows.net/' にバックアップします

D. mycontainer/DB1.bak' (NoInit、STATS=5、COMPRESSION) を実行しました。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

セクション: [なし]

Explanation:

BACKUP DATABASE は、セカンダリ レプリカで実行される場合、データベース、ファイル、またはファイル グループのコピーのみの完全バックアップのみをサポートします。コピーのみのバックアップは、ログ チェーンに影響を与えず、差分ビットマップをクリアしません。

誤った回答:

A: 差分バックアップはセカンダリ レプリカではサポートされていません。セカンダリ レプリカはコピーのみのデータベース バックアップをサポートしているため、ソフトウェアはこのエラーを表示します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/availability-groups/windows/active-secondaries-backup-on-secondary-replicas-always-on-availability-groups>

最新問題: 19

ホットスポットに関する質問

Azure Synapse Analytics サーバーレス SQL プールを使用して、Azure Data Lake Storage Gen2 アカウントのバス料金データの探索的分析を実行しています。

次の図に示す Transact-SQL クエリを実行します。

```

SELECT
    payment_type,
    SUM(fare_amount) AS fare_total
FROM OPENROWSET (
    BULK 'csv/busfare/tripdata_2020*.csv',
    DATA_SOURCE = 'BusData',
    FORMAT = 'CSV', PARSER_VERSION = '2.0',
    FIRSTROW = 2
)
WITH (
    payment_type INT 10,
    fare_amount FLOAT 11
) AS nyc
GROUP BY payment_type
ORDER BY payment_type;

```

ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

Answer Area

The query results include only [answer choice] in the csv/busfare folder.

▼
CSV files in the tripdata_2020 subfolder
files that have files names beginning with "tripdata_2020"
CSV files that have file names containing "tripdata_202"
CSV files that have file named beginning with "tripdata_2020"

The query assumes that the first row in a CSV file is [answer choice] row.

▼
a header
a data
an empty

Answer:

Answer Area

The query results include only [answer choice] in the csv/busfare folder.

The query assumes that the first row in a CSV file is [answer choice] row.

▼
CSV files in the tripdata_2020 subfolder
files that have files names beginning with "tripdata_2020"
CSV files that have file names containing "tripdata_202"
CSV files that have file named beginning with "tripdata_2020"

▼
a header
a data
an empty

Explanation:

ボックス 1: ファイル名が「fripdata_2020」で始まる CSV ファイル

ボックス2: ヘッダー

FIRSTROW = '最初の行'

ロードする最初の行の番号を指定します。デフォルトは 1 で、指定されたデータ ファイルの最初の行を示します。行番号は行ターミネータをカウントすることによって決定されません。FIRSTROW は 1 から始まります。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql/develop-openrowset>

最新問題: 20

10 個の Azure SQL データベースをホストする sqlsrv1 という名前の Azure SQL データベースサーバーがあります。

データベースのパフォーマンスが予想よりも遅くなります。

パフォーマンスの問題が、sqlsrv1 上の Azure SQL データベースによる tempdb の使用に関連しているかどうかを特定する必要があります。

何をすべきでしょうか?

- A. クエリストアベースのクエリを実行する
- B. SQL Server Profiler ベースのトレースによって提供される情報を確認する
- C. Query Performance Insight によって提供される情報を確認する
- D. 動的管理ビューベースのクエリを実行する

Answer: D ([メッセージを残す](#))

診断ログには、tempDB 競合の詳細が出力されます。この情報は、トラブルシューティングの開始点として使用できます。

Azure SQL Database の Intelligent Insights パフォーマンス診断ログを使用して、パフォーマンスの問題をトラブルシューティングできます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/intelligent-insights-troubleshoot-performance#tempdb-contention>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/intelligent-insights-use-diagnostics-log>

最新問題: 21

Azure SQL マネージド インスタンスがあります。

Transact-SQL を使用して DB1 という名前のデータベースを復元する必要があります。

どのコマンドを実行する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

RESTORE	<input type="button" value="▼"/>	DB1 FROM	<input type="button" value="▼"/>
DATABASE		DISK = N'\\NAS01\SQLBackups\DB1.bak';	
FILE		TAPE = N'\\Tape0'	
LOG		URL = N'https://mybackups.blob.core.windows.net/bkups/DB1.bak'	

Answer:

RESTORE DB1 FROM
DATABASE |
FILE |
LOG |
DISK = N'\\NAS01\SQLBackups\DB1.bak';
TAPE = N'\\.\Tape0'
URL = N'https://mybackups.blob.core.windows.net/bkups/DB1.bak'

説明

テキストの説明は自動的に生成されます

RESTORE DB1 FROM
DATABASE |
FILE |
LOG |
DISK = N'\\NAS01\SQLBackups\DB1.bak';
TAPE = N'\\.\Tape0'
URL = N'https://mybackups.blob.core.windows.net/bkups/DB1.bak'

最新問題: 22

SalesSQLDb1 の監視を実装する必要があります。ソリューションは技術要件を満たしている必要があります。

メトリクスをどのように収集してストリーミングすればよいですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

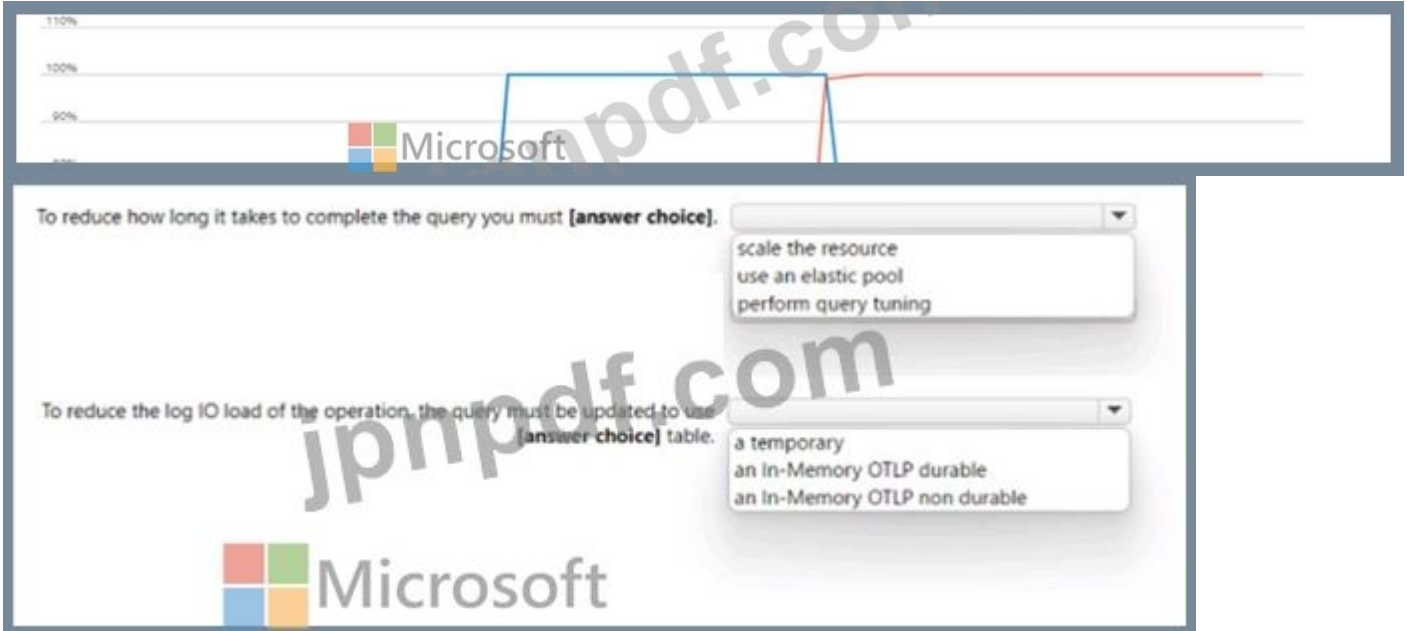
Collect metrics from: Microsoft
The database only
The elastic pool and the database
The elastic pool only
The server, the elastic pool, and the database
Stream metrics to:
Azure Event Hubs
Azure Log Analytics
Azure Storage

Answer:

Collect metrics from:
The database only
The elastic pool and the database
The elastic pool only
The server, the elastic pool, and the database
Stream metrics to:
Azure Event Hubs
Azure Log Analytics
Azure Storage
Microsoft

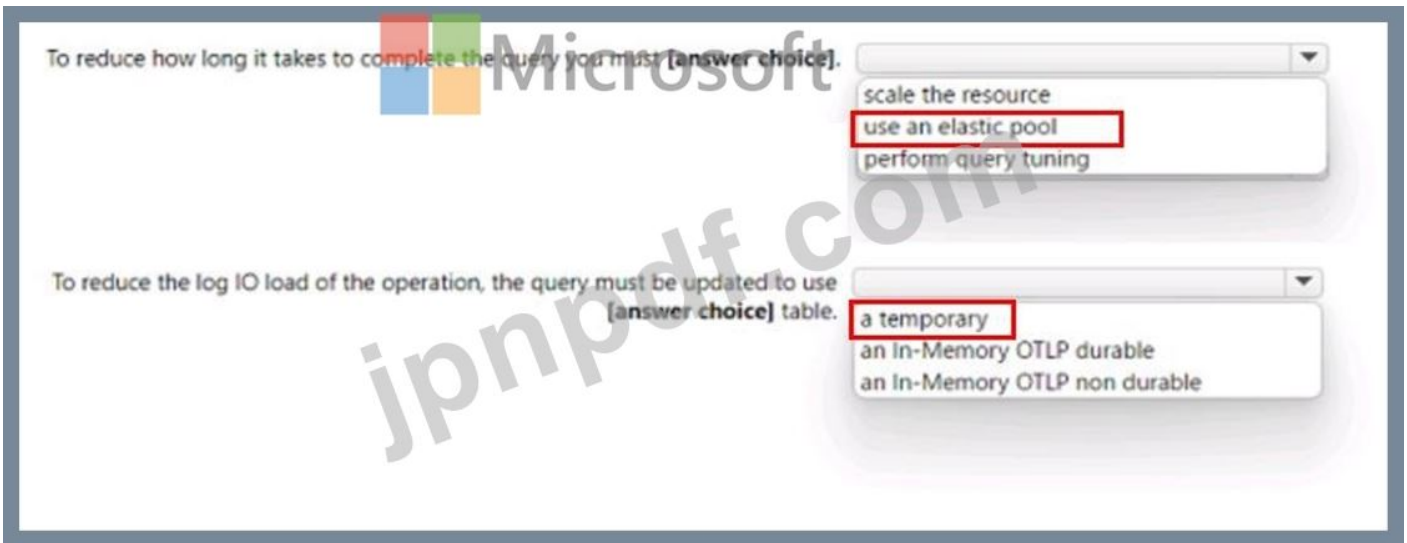
最新問題: 23

Table1 という名前のテーブルを含む、という名前の Azure SQL データベースがあります。
Table1 に不正なデータを入力するクエリを実行します。
ロード操作中の表 1 のパフォーマンスを図に示します。



The image shows a performance graph at the top with a y-axis from 80% to 110%. Below the graph are two dropdown menus. The first menu is titled "To reduce how long it takes to complete the query you must [answer choice]." and contains three options: "scale the resource", "use an elastic pool", and "perform query tuning". The second menu is titled "To reduce the log IO load of the operation, the query must be updated to use [answer choice] table." and contains three options: "a temporary", "an In-Memory OTLP durable", and "an In-Memory OTLP non durable".

Answer:



This image is identical to the one above, but with red boxes highlighting the correct answers. In the first dropdown menu, "use an elastic pool" is highlighted. In the second dropdown menu, "a temporary" is highlighted.

最新問題: 24

Azure SQL データベースがあります。
次の図に示すように、パフォーマンスが遅いクエリを確認しています。

Estimated query progress:100% Query 1: Query cost (relative to the batch): 100%
 select OrderID, PickedbyPersonID, OrderDate from WideWorldImporters.Sales.Orders where CustomerID = 120
 Missing Index (Impact 99.6573): CREATE NONCLUSTERED INDEX [<Name of Missing Index, sysname.>] ON [Sales].[t



ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

The exhibit shows [answer choice]

- an actual execution plan
- an estimated execution plan
- Live Query Statistics

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

- Index Seek
- Key Lookup
- Nested Loops

Answer:

The exhibit shows [answer choice].

- an actual execution plan
- an estimated execution plan
- Live Query Statistics

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

- Index Seek
- Key Lookup
- Nested Loops

説明

グラフィカルユーザーインターフェイス、テキスト、アプリケーション、電子メールの説明が自動的に生成されます

The exhibit shows [answer choice].

- an actual execution plan
- an estimated execution plan
- Live Query Statistics

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

- Index Seek
- Key Lookup
- Nested Loops

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/live-query-statistics?view=sql-server-ver1>

最新問題: 25

Group1 というグループと、081 というデータベースをホストする Azure SQL マネージド インスタンスを含む Azure サブスクリプションがあります。Group 1 が、06I で作成された新しいテーブルへの読み取りアクセス権を持っていることを確認する必要があります。ソリューションでは、最小権限の原則を使用する必要があります。Transact-SQL ステートメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。注: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area

Microsoft

GRANT SELECT Database Schema ::[table] TO [Contoso\group1]

DELETE Database Schema Table

INSERT Database Schema Table

SELECT Database Schema Table

UPDATE Database Schema Table

Answer:

Answer Area

Microsoft

GRANT SELECT Database Schema ::[table] TO [Contoso\group1]

DELETE Database Schema Table

INSERT Database Schema Table

SELECT Database Schema Table

UPDATE Database Schema Table

説明

Answer Area

Microsoft

GRANT SELECT Database Schema ::[table] TO [Contoso\group1]

最新問題: 26

DB1 という名前の Azure SQL データベースがあり、その中に Sales という名前のプライベート証明書が含まれています。Sales のプライベート キーはパスワードで暗号化されています。プラ

イベントキーのパスワードを変更する必要があります。どの Transact-SQL ステートメントを実行する必要がありますか？

```
ALTER CERTIFICATE Sales
```

A.

```
WITH PRIVATE KEY (ENCRYPTION BY PASSWORD = '6YY9YcD!pV');
```

B.

```
ALTER CERTIFICATE Sales WITH PRIVATE KEY (FILE = 'D:\importkeys\SalesNew, DECRYPTION BY PASSWORD = 'Mb^6BK&*w%');
```

C.

```
ALTER CERTIFICATE Sales WITH PRIVATE KEY (DECRYPTION BY PASSWORD = 'EWYx9Xk+${#}');
```

```
ALTER CERTIFICATE Sales
```

```
WITH PRIVATE KEY (DECRYPTION BY PASSWORD = 'Mb^6BK&*w%',
```

D.

```
ENCRYPTION BY PASSWORD = '6YY9YcD!pV');
```

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 27

VNet1 という仮想ネットワーク上に VM1 という Azure 仮想マシンがあります。VM1 からインターネットへの送信トラフィックはブロックされています。

SqlSrv1 という論理サーバー上に SqlDb1 という Azure SQL データベースがあります。

次の要件を満たすには、VM1 と SqlDb1 間の接続を実装する必要があります。

VM1 が SqlSrv1 以外の Azure SQL Server に接続できないことを確認します。

SqlSrv1 へのネットワーク接続を制限します。

VNet1 に何を作成する必要がありますか？

A. VPNゲートウェイ

B. サービスエンドポイント

C. プライベートリンク

D. ExpressRoute ゲートウェイ

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

Azure Private Link を使用すると、仮想ネットワーク内のプライベート エンドポイントを介して、Azure PaaS サービス (Azure Storage や SQL Database など) や Azure でホストされる顧客所有/パートナー サービスにアクセスできます。

仮想ネットワークとサービス間のトラフィックは、Microsoft バックボーン ネットワークを経由して送信されます。サービスをパブリック インターネットに公開する必要はなくなりました。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/private-link/private-link-overview>

最新問題: 28

contoso.com という名前の Azure AD テナントにリンクされた Azure サブスクリプションがあります。サブスクリプションには、SQL 1 という名前の Azure SQL データベースと、app1 という名前の Azure Web が含まれています。App1 では、マネージド ID 機能が有効になっています。

app1 に新しいデータベース ユーザーを作成する必要があります。

Transact-SQL ステートメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答の適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



Answer:



最新問題: 29

Azure サブスクリプションをお持ちです。

Microsoft SQL Server インスタンスをホストする新しい Azure 仮想マシンを展開する予定です。仮想マシン上のディスクを構成する必要があります。ソリューションは次の要件を満たしている必要があります。

* トランザクション ログの待ち時間を最小限に抑えます。

* 仮想マシンの IO への影響を最小限に抑えます。

各ワークロードにはどのタイプのディスクを使用する必要がありますか? 回答するには、適切なディスク タイプを正しいワークロードにドラッグします。各ディスク タイプは 1 回しか使用できません。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Disk Types

Local

Premium SSD

Standard HDD

Standard SSD

Ultra Disk

Answer Area

TempDB: Disk Type

Transaction logs: Disk Type

Microsoft

Answer:

Disk Types

Local

Premium SSD

Standard HDD

Standard SSD

Ultra Disk

Answer Area

TempDB: Local

Transaction logs: Premium SSD

Microsoft

説明

TempDB: Local

Transaction logs: Premium SSD

グラフィカルユーザーインターフェイス、テキスト、アプリケーションの説明が自動的に生成されます

最新問題: 30

Azure サブスクリプションをお持ちです。

Azure Resource Manager テンプレートを使用して Azure SQL データベースをデプロイする予定です。

テンプレートをどのように完成させるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area

```
{
  "resources": [
    {
      "type": 
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
    }
  ]
  "resources": [
    {
      "type": "databases",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      ...
    }
  ]
  "dependsOn": [
    "properties": [
    "tags": [
    "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
    ...
  ]
}
```

Answer: Answer Area

```
{
  "resources": [
    {
      "type": 
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
    }
  ]
  "resources": [
    {
      "type": "databases",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      ...
    }
  ]
  "dependsOn": [
    "properties": [
    "tags": [
    "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
    ...
  ]
}
```

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/single-database-create-arm-template-quickstart>

最新問題: 31

トランザクション データ用の分析ストレージ ソリューションを設計する必要があります。ソリューションは、販売トランザクション データセットの要件を満たす必要があります。

解決策には何を含めるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



Answer:



Explanation:



ボックス1: ハッシュ

シナリオ :

製品 ID に基づいて販売取引レコードを結合およびフィルタリングするクエリができるだけ早く完了するようにします。

ハッシュ分散テーブルは、大規模なテーブルでの結合と集計に対して最高のクエリ パフォーマンスを提供できます。

ボックス2: ラウンドロビン

シナリオ :

プロモーション ID を含むプロモーション テーブルを作成する予定です。プロモーション ID は特定の製品に関連付けられます。製品は製品 ID によって識別されます。テーブルのサイズは約 5 GB になります。

ラウンドロビン テーブルは、作成が最も簡単なテーブルであり、ロードのステージング テーブルとして使用すると高速なパフォーマンスを実現します。ラウンドロビン分散を選択すべきシナリオをいくつか示します。

- * データを配布するための単一のキーを識別できない場合。
- * データが他のテーブルのデータと頻繁に結合されない場合。
- * 結合する明らかなキーがない場合。

参照 :

<https://rajanieshkaushikk.com/2020/09/09/how-to-choose-right-data-distribution-strategy-for-azure-synapse/>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！
GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**36830%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfumps**)

最新問題: **32**

Azure SQL データベースがあります。

次の PowerShell スクリプトを実行します。

```

$serverName = "SERVER1"
$resourceGroup = "RG1"
$dbName = "DB1"

Connect-AzAccount

$server = Get-AzSqlServer -ServerName $serverName -ResourceGroupName
$resourceGroup

Set-AzSqlDatabaseBackupShortTermRetentionPolicy -ResourceGroupName $resourceGroup
-ServerName $server `
    -DatabaseName $dbName -RetentionDays 21

Set-AzSqlDatabaseBackupLongTermRetentionPolicy -ServerName $serverName -
DatabaseName $dbName `
    -ResourceGroupName $resourceGroup -WeeklyRetention P52W -YearlyRetention PSY
-WeekOfYear 52

```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

Statements	Yes	No
DB1 can be restored to a specific point in time 30 days ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a weekly backup performed six months ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a yearly backup performed six years ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Answer:

Statements	Yes	No
DB1 can be restored to a specific point in time 30 days ago.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
DB1 can be restored from a weekly backup performed six months ago.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a yearly backup performed six years ago.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

参照:

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/az.sql/set-azsqldatabasebackupshorttermretentionpolicy?view=azps-7.2.0>

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/az.sql/set-azsqldatabasebackuplongtermretentionpolicy?view=azps-7.2.0>

Microsoft Azure 上で管理されたデータ ウェアハウス ソリューションを作成しています。
 PolyBase を使用して、parquet 形式で保存されている Azure Blob ストレージからデータを取得し、そのデータを FactSalesOrderDetails という大きなテーブルに読み込む必要があります。
 データを受信するには、Azure Synapse Analytics を構成する必要があります。
 どの 4 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions

Answer Area

- Create an external data source for Azure Blob storage.
- Create a master key on database.
- Enable Transparent Data Encryption.
- Create the external table FactSalesOrderDetails.
- Load the data to a staging table.
- Create an external file format to map the parquet files.

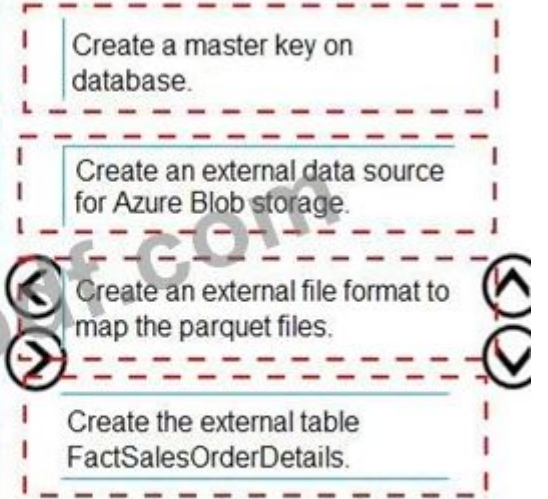


Answer:

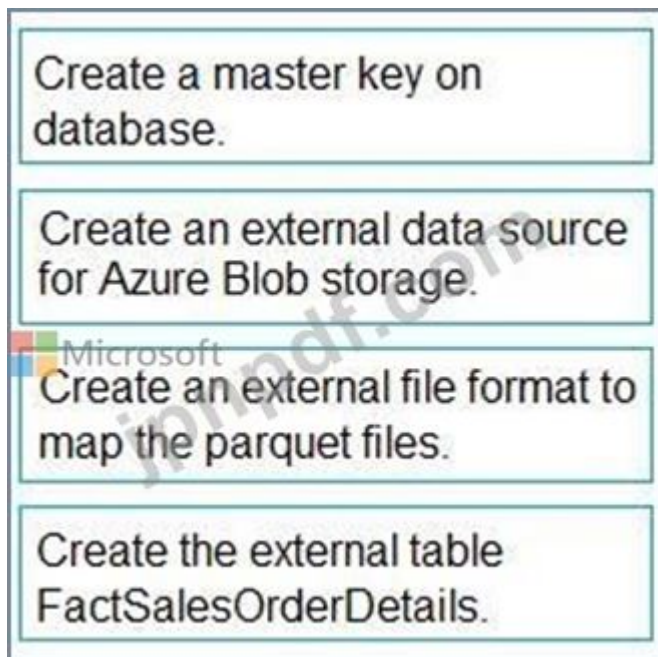
ACTIONS

ANSWER AREA

- Create an external data source for Azure Blob storage.
- Create a master key on database.
- Enable Transparent Data Encryption.
- Create the external table FactSalesOrderDetails.
- Load the data to a staging table.
- Create an external file format to map the parquet files.



Explanation:



Hadoop データ ソース内のデータをクエリするには、Transact-SQL クエリで使用する外部テーブルを定義する必要があります。次の手順では、外部テーブルを構成する方法について説明します。
ステップ 1: データベースにマスター キーを作成します。

1. データベースにマスター キーを作成します。マスター キーは、資格情報の秘密を暗号化するために必要です。

(Azure BLOB ストレージのデータベース スコープ資格情報を作成します。)

手順 2: Azure Blob ストレージの外部データ ソースを作成します。

2. CREATE EXTERNAL DATA SOURCE を使用して外部データ ソースを作成します。

ステップ 3: parquet ファイルをマップするための外部ファイル形式を作成します。

3. CREATE EXTERNAL FILE FORMAT を使用して外部ファイル形式を作成します。

ステップ 4. 外部テーブル FactSalesOrderDetails を作成する

4. CREATE EXTERNAL TABLE を使用して、Azure ストレージに保存されているデータを指す外部テーブルを作成します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/polybase/polybase-configure-azure-blob-storage>

最新問題: 34

Azure 仮想マシン上の SQL Server のインスタンスを含む Azure サブスクリプションがありません。仮想マシンは DB1 という名前のデータベースをホストしています。拡張イベントを使用して DB1 を監視する必要があります。ソリューションは次の要件を満たしている必要があります。

* 生のイベント データをキャプチャし、そのデータを Azure Storage に保存します。

* 拡張イベントのキャプチャによるパフォーマンスへの影響を最小限に抑えます。

Transact-SQL ステートメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

ANSWER AREA

```
CREATE EVENT SESSION session1 ON DATABASE
ADD EVENT sqlserver.sql_statement_starting
(
  ACTION (sqlserver.sql_text)
  WHERE statement LIKE 'UPDATE gmTabEmployee%'
)
ADD TARGET
package0. event_file
)
SET filename = 'https://gmstorageaccountevent.blob.core.windows.net/gmcontainerxevent/anyfilenamexel242b.xel'
)
WITH
(MAX_MEMORY = 10 MB,
EVENT_RETENTION_MODE= ALLOW_MULTIPLE_EVENT_LOSS
MAX_DISPATCH_LATENCY = 3 SEC
```



Answer:

Answer Area

```
CREATE EVENT SESSION session1 ON DATABASE
ADD EVENT sqlserver.sql_statement_starting
(
  ACTION (sqlserver.sql_text)
  WHERE statement LIKE 'UPDATE gmTabEmployee%'
)
ADD TARGET
package0. event_file
)
SET filename = 'https://gmstorageaccountevent.blob.core.windows.net/gmcontainerxevent/anyfilenamexel242b.xel'
)
WITH
(MAX_MEMORY = 10 MB,
EVENT_RETENTION_MODE= ALLOW_MULTIPLE_EVENT_LOSS
MAX_DISPATCH_LATENCY = 3 SEC
```



Explanation:

最新問題: 35

リソース ガバナーが有効になっており、App1 と App2 という 2 つのアプリによって使用されている SQLMI1 という名前の Azure SQL マネージド インスタンスがあります。

App1 に割り当てることができる CPU およびメモリ リソースを制限するように SQLMI1 を構成する必要があります。

どの 4 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions

- Create a workload group.
- Create a user-defined classifier function.
- Modify Resource Governor.
- Create a contained database user.
- Create a resource pool.

Answer Area

Microsoft

Answer:

Actions

- Create a workload group.
- Create a user-defined classifier function.
- Modify Resource Governor.
- Create a contained database user.
- Create a resource pool.

Answer Area

- Create a resource pool.
- Create a workload group.
- Create a user-defined classifier function.
- Modify Resource Governor.

Microsoft

説明

- Create a resource pool.
- Create a workload group.
- Create a user-defined classifier function.
- Modify Resource Governor

テキスト、表の説明は自動的に生成されます
 参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/resource-governor/resource-governor?view=sql-server->

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/resource-governor/create-and-test-a-classifier-user-defi>

最新問題: 36

ResearchDB1 のすべてのテーブルとビューを作成します。
 ResearchDB1 にセキュリティを実装する必要があります。ソリューションは、セキュリティとコンプライアンスの要件を満たす必要があります。
 どの3つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Answer Area
Run the Always Encrypted wizard.	
Create an Azure Key Vault instance and generate a secret.	
Create an Azure Key Vault instance and configure an access policy.	⬆️
Create an Azure AD managed identity.	⬆️
Register ResearchApp1 to Azure AD.	⬆️

Answer:

Answer Area
Register REsearchApp1 to Azure AD.
Create an Azure Key Vault instance and configure an access policy.
Run the Always Encrypted wizard.

- 1 - REsearchApp1 を Azure AD に登録します。
- 2 - Azure Key Vault インスタンスを作成し、アクセス ポリシーを構成します。
- 3 - Always Encrypted ウィザードを実行します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/always-encrypted-azure-key-vault-configure?tabs=azure-powershell>

トピック3、ADatum Corporation

概要

これはケース スタディです。ケース スタディは個別に時間制限がありません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケース スタディとセクションがある場合があります。与えられた時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了できるように、時間を管理する必要があります。

ケース スタディに含まれる質問に答えるには、ケース スタディで提供される情報を参照する必要があります。ケース スタディには、ケース スタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示物やその他のリソースが含まれている場合があります。各質問は、このケース スタディ内の他の質問とは独立しています。

このケース スタディの最後に、確認画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に回答を確認し、変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを始めるには

このケース スタディの最初の質問を表示するには、[次へ] ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用してケース スタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケース スタディに [すべての情報] タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に回答する準備ができたなら、[質問] ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

ADatum Corporation は、小売店と Web サイトという 2 つの販売チャネルを通じて製品を販売する小売業者です。

既存の環境

ADatum には、Microsoft SQL Server 2016 がインストールされたデータベース サーバーが 1 台あります。このサーバーは、SALESDB、DOCDB、REPORTINGDB という 3 つのミッションクリティカルなデータベースをホストしています。

SALESDB は店舗とウェブサイトからデータを収集します。

DOCDB は、SALESDB の販売データに接続するドキュメントを保存します。ドキュメントは、販売チャネルに基づいて 2 つの異なる JSON 形式で保存されます。

REPORTINGDB にはレポート データが保存され、複数の列ストア インデックスが含まれていません。毎日のプロセスにより、SALESDB のデータから REPORTINGDB にレポート データが作成

されます。このプロセスは、SALESDB からストアード プロシージャを実行する SQL Server Integration Services (SSIS) パッケージとして実装されます。

要件

計画された変更

ADatum は、現在のデータ インフラストラクチャを Azure に移行する予定です。新しいインフラストラクチャには、次の要件があります。

SALESDB と REPORTINGDB を Azure SQL データベースに移行します。

DOCDB を Azure Cosmos DB に移行します。

JSON 形式のドキュメントを含む販売データは、到着時に収集され、Azure Stream Analytics を使用してオンラインで分析される必要があります。分析プロセスでは、ギャップや重複なく継続的に実行する必要がある集計が実行されます。

到着すると、JSON 形式のすべての販売文書を 1 つの一貫した形式に変換する必要があります。

Azure Data Factory は、SALESDB から REPORTINGDB にデータをコピーする SSIS プロセスを置き換えます。

技術要件

新しい Azure データ インフラストラクチャは、次の技術要件を満たしている必要があります。

SALESDB 内のデータは、透過的データ暗号化 (TDE) を使用して暗号化する必要があります。暗号化には独自のキーを使用する必要があります。

SALESDB は、過去 3 週間以内の任意の時点に復元可能である必要があります。

実際の使用パターンに基づいてワークロードのサイズが適切に設定されていることを確認するには、リアルタイム処理を監視する必要があります。

REPORTINGDB では、欠落しているインデックスを自動的に作成する必要があります。

SALESDB のディスク IO、CPU、およびメモリの使用状況を監視する必要があります。

最新問題: 37

ResourceGroup1 という名前のリソース グループ内の同じ Azure SQL Database サーバー上に複数の Azure SQL データベースがあります。

いずれかのデータベースの CPU 使用率が 80% を超えた場合は警告を受け取る必要があります。このソリューションは、Azure SQL サーバー上に作成される追加のデータベースにも適用する必要があります。

アラートを作成するにはどのリソース タイプを使用する必要がありますか？

- A. リソース グループ
- B. SQL サーバー
- C. SQL データベース
- D. SQL 仮想マシン

Answer: ([解答を表示する](#))

アプリケーション コード、コンピューティング インフラストラクチャ、ネットワーク、ストレージ + データベースに関連するリソース タイプがあります。

各リソース グループには、リソース タイプのインスタンスを最大 800 個までデプロイできます。

一部のリソースは、リソース グループの外部に存在する場合があります。これらのリソースは、サブスクリプション、管理グループ、またはテナントにデプロイされます。これらのスコープでは、特定のリソースの種類のみがサポートされます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/management/resource-providers-and-types>

最新問題: 38

Azure SQL データベースがあります。

次の PowerShell スクリプトを実行します。

```
serverName = "SERVER1"
resourceGroup = "RG1"
dbName = "DB1"
```



```
Connect-AzAccount
```

```
$server = Get-AzSqlServer -ServerName $serverName -ResourceGroupName
resourceGroup
```

```
Set-AzSqlDatabaseBackupShortTermRetentionPolicy -ResourceGroupName resourceGroup
-ServerName $server `
-DatabaseName dbName -RetentionDays 21
```

```
Set-AzSqlDatabaseBackupLongTermRetentionPolicy -ServerName $serverName -
DatabaseName dbName `
-ResourceGroupName resourceGroup -WeeklyRetention P52W -YearlyRetention PSY
-WeekOfYear 52
```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Statements	Yes	No
DB1 can be restored to a specific point in time 30 days ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a weekly backup performed six months ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a yearly backup performed six years ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Answer:

Statements	Yes	No
DB1 can be restored to a specific point in time 30 days ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a weekly backup performed six months ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a yearly backup performed six years ago.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

説明

テキストの説明は自動的に生成されます

Statements	Yes	No
DB1 can be restored to a specific point in time 30 days ago.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
DB1 can be restored from a weekly backup performed six months ago.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 can be restored from a yearly backup performed six years ago.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/az.sql/set-azsqldatabasebackupshorttermretentionpolicy?view=azsql-ps>

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/az.sql/set-azsqldatabasebackuplongtermretentionpolicy?view=azsql-ps>

最新問題: 39

Azure SQL データベースを含む Azure サブスクリプションがあります。

データベースがクエリにタイムリーに応答できません。

問題が resource_semaphore 待機に関連しているかどうかを特定する必要があります。

Transact-SQL クエリをどのように完了すればよいですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

SELECT

is_user_process
wait_time
wait_type

SUM(wait_time) AS total_wait_time_ms

FROM sys.

dm_exec_query_stats
dm_exec_requests
query_store_query

JOIN sys.dm_exec_sessions AS dmvs2

ON dmvs1.session_id = dmvs2.session_id

WHERE is_user_process = 1

GROUP BY wait_type

ORDER BY SUM(wait_time) DESC;

Answer:

SELECT

is_user_process
wait_time
wait_type

SUM(wait_time) AS total_wait_time_ms

FROM sys.

dm_exec_query_stats
dm_exec_requests
query_store_query

JOIN sys.dm_exec_sessions AS dmvs2

ON dmvs1.session_id = dmvs2.session_id

WHERE is_user_process = 1

GROUP BY wait_type

ORDER BY SUM(wait_time) DESC;

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/monitoring-with-dmvs>

最新問題: 40

Azure サブスクリプションをお持ちです。

Azure Resource Manager テンプレートを使用して Azure SQL データベースをデプロイする予定です。

テンプレートをどのように完成させるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。


Answer Area

```
{
  "resources": [
    {
      "type": 
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
      "resources": [
        {
          "type": "databases",
          "apiVersion": "2020-02-02-preview",
          ...
          "dependsOn": [
            "properties": [
              "tags": [
                "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
              ]
            ]
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```

Answer:

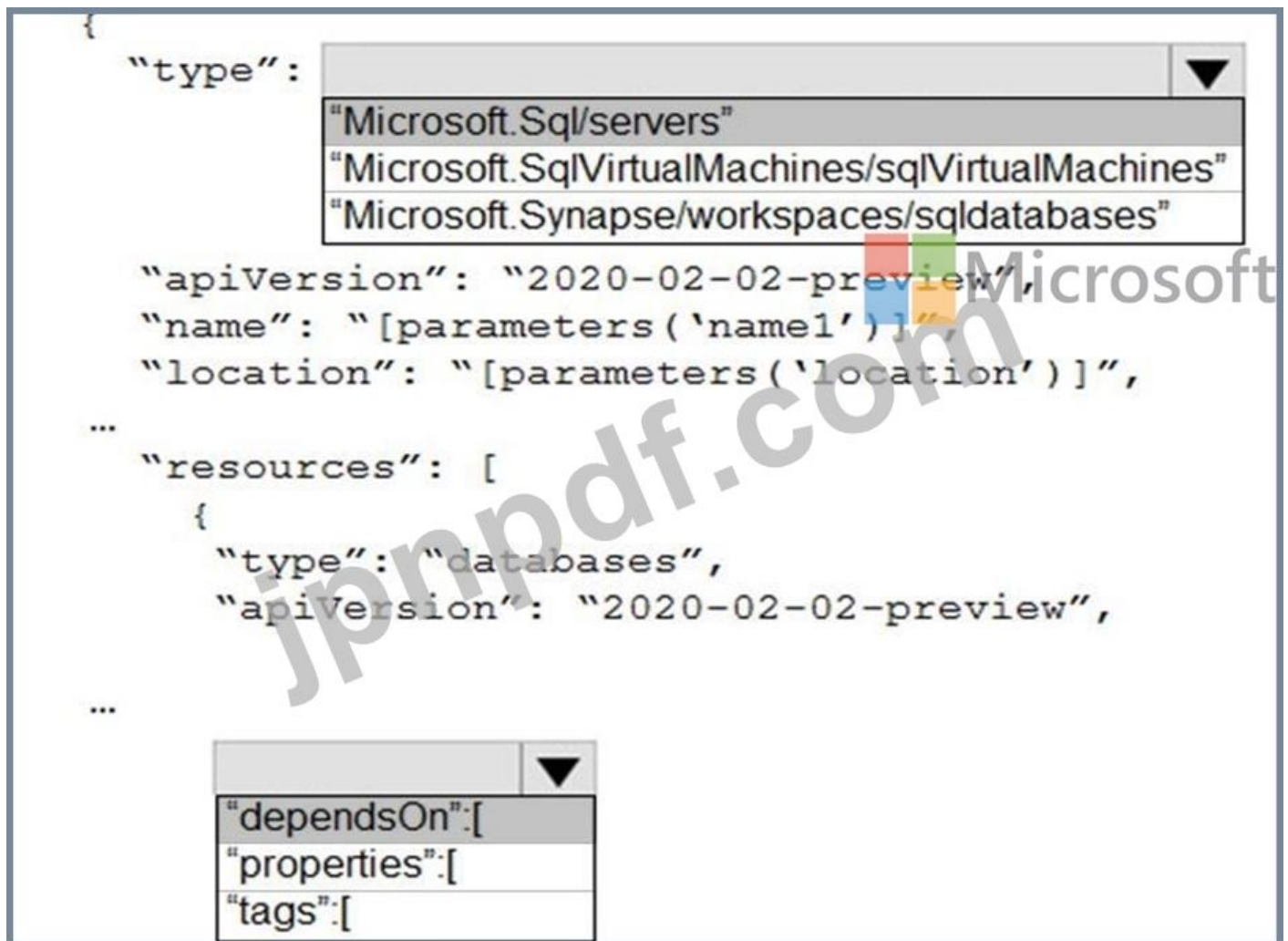
Answer Area

```
{
  "resources": [
    {
      "type": "Microsoft.Sql/servers",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
      "resources": [
        {
          "type": "databases",
          "apiVersion": "2020-02-02-preview",
          ...
          "dependsOn": [
            "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
          ],
          "properties": {
            "tags": {
              ...
            }
          }
        }
      ]
    }
  ]
}
```



Explanation:

```
{
  "type": "Microsoft.Sql/servers",
  "apiVersion": "2020-02-02-preview",
  "name": "[parameters('name1')]",
  "location": "[parameters('location')]",
  ...
  "resources": [
    {
      "type": "databases",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      ...
    }
  ]
}
```



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/single-database-create-arm-template-quickstart>

最新問題: 41

Azure サブスクリプションをお持ちです。

Azure Resource Manager テンプレートを使用して Azure SQL データベースをデプロイする予定です。

テンプレートをどのように完成させるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area



```
{
  "resources": [
    {
      "type": 
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
      "resources": [
        {
          "type": "databases",
          "apiVersion": "2020-02-02-preview",
          ...
          "dependsOn": [
            "properties": [
            "tags": [
            "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
            ...
          }
        }
      ]
    }
  ]
}
```

Answer:

Answer Area

```
{
  "resources": [
    {
      "type": 
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
      "resources": [
        {
          "type": "databases",
          "apiVersion": "2020-02-02-preview",
          ...
          "dependsOn": [
            "properties": [
            "tags": [
            "[resourceId('Microsoft.Sql/servers', concat(parameters('name1')))]"
            ...
          }
        }
      ]
    }
  ]
}
```



説明

テキストの説明は自動的に生成されます

```
    {
      "type": "Microsoft.Sql/servers",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      "name": "[parameters('name1')]",
      "location": "[parameters('location')]",
      ...
    },
    {
      "type": "databases",
      "apiVersion": "2020-02-02-preview",
      ...
    }
  ],
  "dependsOn": [
    ...
  ],
  "properties": {
    ...
  },
  "tags": {
    ...
  }
}
```

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/single-database-create-arm-template-quickstart>

最新問題: 42

factSales という名前のテーブルを含む Azure SQL データベースがあります。FactSales には、次の表に示す列が含まれています。

Name	Data type
SalesID	Int
Product	Int
Total Number	Numeric(8,4)
Tax Number	Numeric(8,4)
SalesRep	Varchar(30)

FactSales には 60 億行あり、バッチ プロセスを使用して毎晩ロードされます。どのタイプの圧縮がデータベースのスペースを最も削減しますか？

A. ページ圧縮

B. 行圧縮

C. 列ストア圧縮

D. 列ストア アーカイブ圧縮

Answer: D (メッセージを残す)

説明

列ストア テーブルとインデックスは、常に列ストア圧縮を使用して保存されます。アーカイブ圧縮と呼ばれる追加の圧縮を構成することで、列ストア データのサイズをさらに削減できます。

注: 列ストア - 列ストア インデックスも行と列を持つテーブルとして論理的に編成されますが、データは物理的には列単位のデータ形式で格納されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/data-compression/data-compression>

最新問題: 43

factSales という名前のテーブルを含む Azure SQL データベースがあります。FactSales には、次の表に示す列が含まれています。

Name	Data type
SalesID	Int
Product	Int
Total Number	Numeric(8,4)
Tax Number	Numeric(8,4)
SalesRep	Varchar(30)

FactSales には 60 億行あり、バッチ プロセスを使用して毎晩ロードされます。

どのタイプの圧縮がデータベースのスペースを最も削減しますか？

A. ページ圧縮

B. 行圧縮

C. 列ストア圧縮

D. 列ストア アーカイブ圧縮

Answer: D (メッセージを残す)

列ストア テーブルとインデックスは、常に列ストア圧縮を使用して保存されます。アーカイブ圧縮と呼ばれる追加の圧縮を構成することで、列ストア データのサイズをさらに削減できます。

注: 列ストア - 列ストア インデックスも行と列を持つテーブルとして論理的に編成されますが、データは物理的には列単位のデータ形式で格納されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/data-compression/data-compression>

最新問題: 44

General Purpose サービス レベルに DB 1 という名前の Azure SQL データベースがあります。SQL Insights を使用して DB 1 を監視する必要があります。

解決策には何を含めるべきですか？答えるには、答えの適切なオプションを選択してください。

a.

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

To collect monitoring data, use:

- A virtual machine
- An Azure function
- The Azure Monitor agent

To store monitoring data, create:

- A Log Analytics workspace
- An Azure SQL database
- An Azure Storage account

Answer:

To collect monitoring data, use:

- A virtual machine
- An Azure function
- The Azure Monitor agent

To store monitoring data, create:

- A Log Analytics workspace
- An Azure SQL database
- An Azure Storage account

最新問題: 45

注: この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。一連の質問にはそれぞれ、定められた目標を満たす独自の解決策が含まれています。質問セットによっては、正しい解決策が複数ある場合もあれば、正しい解決策がない場合もあります。

このセクションで質問に答えた後は、そのセクションに戻ることはできません。そのため、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Sales という名前の Azure SQL データベースがあります。

次の要件を満たすには、Sales の災害復旧を実装する必要があります。

通常業務中は、Sales の読み取り可能なコピーを少なくとも 2 部用意してください。

データセンターに障害が発生した場合でも、Sales が利用可能であることを保証します。

解決策: Business Critical サービス レベルと可用性ゾーンを使用する Azure SQL データベースをデプロイします。

これは目標を満たしていますか？

A. はい

B. いいえ

Answer: A (メッセージを残す)

Premium および Business Critical サービス レベルでは、コンピューティング リソース (sqlservr.exe プロセス) とストレージ (ローカルに接続された SSD) を 1 つのノードに統合する Premium 可用性モデルが活用されます。コンピューティングとストレージの両方を追加のノードに複製して 3 ~ 4 ノードのクラスターを作成することで、高可用性が実現されます。

既定では、プレミアム可用性モデルのノードのクラスターは同じデータセンターに作成されません。Azure 可用性ゾーンの導入により、SQL Database は、Business Critical データベースの異なるレプリカを同じリージョン内の異なる可用性ゾーンに配置できます。単一障害点を排除するために、制御リングも 3 つのゲートウェイ リング (GW) として複数のゾーンに複製されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/high-availability-sla>

最新問題: 46

Azure 仮想マシン上に、DB1 という名前のデータベースを含む SQL Server があります。DB1 は 30 TB で、1 日の変更率は 1 GB です。

Transact-SQL コマンドを実行する Microsoft SQL Server エージェント ジョブを使用してデータベースをバックアップします。


毎週日曜日に完全バックアップを実行し、毎日午前 1 時に差分バックアップを実行し、5 分ごとにトランザクション ログ バックアップを実行します。

水曜日の午前 10 時にデータベースに障害が発生します。

どの 3 つのバックアップを順番に復元する必要がありますか? 回答するには、適切なバックアップをバックアップ リストから回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Answer Area
Monday, Tuesday, and then Wednesday differential backups	
Wednesday, Tuesday, and then Monday log backups	
full backup	➤
Monday, Tuesday, and then Wednesday log backups	➤
Wednesday, Tuesday, and then Monday differential backups	⬅
Wednesday log backups	⬅
Wednesday differential backup	⬅

⬆
⬇

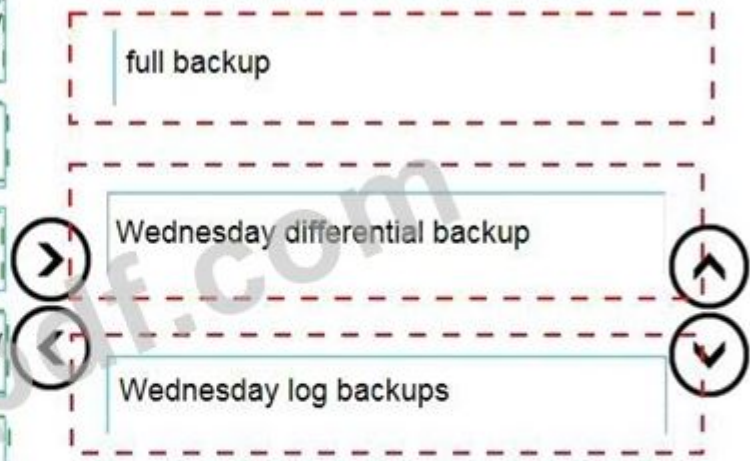


Answer:

Actions

- Monday, Tuesday, and then Wednesday differential backups
- Wednesday, Tuesday, and then Monday log backups
- full backup
- Monday, Tuesday, and then Wednesday log backups
- Wednesday, Tuesday, and then Monday differential backups
- Wednesday log backups
- Wednesday differential backup

Answer Area



Explanation:

- full backup
- Wednesday differential backup
- Wednesday log backups

有効な DP-300 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！
GoShiken.com が最新の DP-300 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (36830%OFF問題集 溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

DB1 という名前のデータベースを含む Azure 仮想マシン上に SQL Server があります。データベースは CHECKSUM エラーを報告します。データベースを回復する必要があります。

どのように文を完成させればよいでしょうか? 回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

GO

OFFLINE
ONLINE
SINGLE_USER
TRUSTWORTHY

DBCC CHECKDB ('DB1', WITH NO_INFOMSGS;

GO

MOINDEX
PHYSICAL_ONLY
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS
REPAIR_FAST

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

MULTI_USER;
ONLINE;
OPEN;
TRUSTWORTHY;

Answer:

USE master;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

<input type="text"/>
OFFLINE
ONLINE
SINGLE_USER
TRUSTWORTHY

WITH ROLLBACK IMMEDIATE;

DBCC CHECKDB ('DB1',

GO

<input type="text"/>
MOINDEX
PHYSICAL_ONLY
REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS
REPAIR_FAST

WITH NO_INFOMSGS;

ALTER DATABASE [DB1] SET

GO

<input type="text"/>
MULTI_USER;
ONLINE;
OPEN;
TRUSTWORTHY;

Explanation:

ボックス 1: SINGLE_USER

次の修復オプションのいずれかを使用するには、指定されたデータベースがシングル ユーザーモードになっている必要があります。

ボックス 2: REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS

REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS は、報告されたすべてのエラーを修復しようとします。これらの修復により、データが失われる可能性があります。

注: REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS オプションはサポートされている機能ですが、データベースを物理的に一貫性のある状態にするための最適なオプションであるとは限りません。成功した場合、REPAIR_ALLOW_DATA_LOSS オプションによって一部のデータが失われる可能性があります。実際、ユーザーが最後に正常だったバックアップからデータベースを復元する場合よりも多くのデータが失われる可能性があります。

誤った回答:

修理が早い

下位互換性のためだけに構文を維持します。修復アクションは実行されません。

ボックス 3: MULTI_USER

マルチユーザー

データベースに接続するための適切な権限を持つすべてのユーザーが許可されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/database-console-commands/dbcc-checkdb-transact-sql>

最新問題: 48

Azure SQL 論理サーバーがあります。

次のスクリプトを実行します。

```
CREATE DATABASE Sales
GO
CREATE TABLE [dbo].[Orders]
(
    [OrderID] INT NOT NULL,
    [OrderDescription] NVARCHAR (MAX) NOT NULL,
    [Timestamp] Datetime2 NOT NULL
)
WITH (
    SYSTEM_VERSIONING = ON,
    LEDGER = ON
);
GO
```

For each of the following statements, select Yes if the statement is true. Otherwise, select No.

NOTE: Each correct selection is worth one point.

Statements	Yes	No
The <code>orders</code> table will allow only rows to be inserted.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
To create additional tables in the Sales database, the <code>LEADER = ON</code> parameter must be used.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
To ensure that a timestamp is added to each row in the <code>orders</code> table, the <code>GENERATED ALWAYS</code>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Answer:

Statements	Yes	No
The <code>orders</code> table will allow only rows to be inserted.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
To create additional tables in the Sales database, the <code>LEADER = ON</code> parameter must be used.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
To ensure that a timestamp is added to each row in the <code>orders</code> table, the <code>GENERATED ALWAYS</code>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

最新問題: 49

監視要件を満たすには、どの監査ログの保存先を使用する必要がありますか？

- A. Azure ストレージ
- B. Azure イベント ハブ
- C. Azure ログ分析

Answer: C ([メッセージを残す](#))

セクション: [なし]

Explanation:

シナリオ: 単一のダッシュボードを使用して、すべての PaaS データベースのセキュリティと監査データを確認します。

ダッシュボードを使用すると、Azure全体にわたってITにとって最も重要な運用データをまとめることができます。

Azure Log Analytics からのテレメトリを含むリソース。

注: Azure SQL DatabaseとAzure Synapse Analyticsの監査では、データベースイベントを追跡し、それを書き込みます。

Azure ストレージ アカウント、Log Analytics ワークスペース、または Event Hubs の監査ログに保存します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/visualize/tutorial-logs-dashboards>

質問セット3

最新問題: 50

Db1 という名前のデータベースを含む Azure 仮想マシン上に SQL Server があります。

Db1 の自動チューニングを有効にする必要があります。

どのように文を完成させればよいでしょうか? 回答するには、回答エリアで適切な回答を選択してください。


注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

ALTER DATABASE [Db1]

	▼
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)	
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)	
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO	
SET QUERY_STORE=OFF	
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)	
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)	

GO

ALTER DATABASE [Db1]

	 Microsoft ▼
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)	
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)	
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO	
SET QUERY_STORE=OFF	
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)	
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)	

GO

Answer:

```
ALTER DATABASE [Db1]
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)

GO
ALTER DATABASE [Db1]
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=OFF)
SET AUTOMATIC_TUNING (FORCE_LAST_GOOD_PLAN=ON)
SET AUTOMATIC_TUNING=AUTO
SET QUERY_STORE=OFF
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_ONLY)
SET QUERY_STORE=ON(OPERATION_MODE=READ_WRITE)

GO
```

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/automatic-tuning-enable>

最新問題: 51

次の Azure Resource Manager テンプレートがあります。



```
...
  "variable": {
    "serverName": "azsqlserver0001"
  },
  "resources": [
    {
      "name": "[variables('serverName')]",
      "type": "Microsoft.Sql/servers",
      "apiVersion": "2019-06-01-preview",
      "location": "[parameters('location')]",
      "properties": {
        "administratorLogin": "[parameters('administratorLogin')]",
        "administratorLoginPassword": "[parameters('administratorLoginPassword')]",
        "version": "12.0"
      },
    },
    "resources": [
      {
        "name": "[concat(variables('serverName'),'/',parameters('databaseName'))]",
        "type": "Microsoft.Sql/servers/databases",
        "apiVersion": "2020-08-01-preview",
        "location": "[parameters('location')]",
        "kind": "v12.0",
        "sku": {
          "name": "Standard",
          "tier": "Standard",
          "capacity": 10
        },
        "dependsOn": [
          "[concat('Microsoft.Sql/servers/', variables('serverName'))]"
        ],
        "properties": {
        },
        "resources": [
        ]
      }
    ]
  }
],
...

```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。



Statements

Yes

No

The template deploys a serverless Azure SQL database.

The template deploys a database to an Azure SQL Database managed instance.

The pricing tier of the database deployment is based on DTUs.

Answer:

Statements	Yes	No
The template deploys a serverless Azure SQL database.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
The template deploys a database to an Azure SQL Database managed instance.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
The pricing tier of the database deployment is based on DTUs.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

説明

コンピュータのスクリーンショット 信頼性の低い自動生成された説明

Statements	Yes	No
The template deploys a serverless Azure SQL database.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
The template deploys a database to an Azure SQL Database managed instance.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
The pricing tier of the database deployment is based on DTUs.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/purchasing-models>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/single-database-create-arm-template-quickstart>

最新問題: 52

Azure仮想マシンにSQL Serverがあり、DB1というデータベースが含まれています。DB1にはテーブルが含まれています

CustomerPII という名前です。

ユーザーが CustomerPII テーブルをクエリするたびに記録する必要があります。

どの2つのオプションを有効にする必要がありますか？それぞれの正解は解決策の一部を示します。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

- A. サーバー監査仕様
- B. SQL Server 監査
- C. データベース監査仕様
- D. サーバープリンシパル

Answer: A,C (メッセージを残す)

セクション: [なし]

Explanation:

監査ポリシーは、特定のデータベースに対して定義することも、Azureのデフォルトのサーバーポリシー (ホスト)として定義することもできます。

SQL データベースまたは Azure Synapse):

- * サーバー ポリシーは、サーバー上の既存のデータベースと新しく作成されたデータベースすべてに適用されます。
- * サーバー監査が有効になっている場合、それは常にデータベースに適用されます。データベースは、データベース監査設定。
- * サーバー上で監査を有効にするだけでなく、データベース上で監査を有効にしても、サーバー監査の設定。両方の監査が並行して存在します。

注記：

サーバー監査仕様オブジェクトは監査に属します。

データベース監査仕様は、特定のデータベースに対してどの監査アクショングループを監査するかを定義します。

仕様が作成されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/auditing-overview>

最新問題: 53

オンプレミスの Microsoft SQL Server データベースを Azure に移行する予定です。

次の要件を満たす展開および回復力オプションを特定する必要があります。

- * ユーザーが開始するバックアップをサポートします。
- * Azure リージョン間で自動的に複製された複数のインスタンスをサポートします。
- * ビジネスの継続性を実装および維持するための管理作業を最小限に抑えます。

何を特定する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

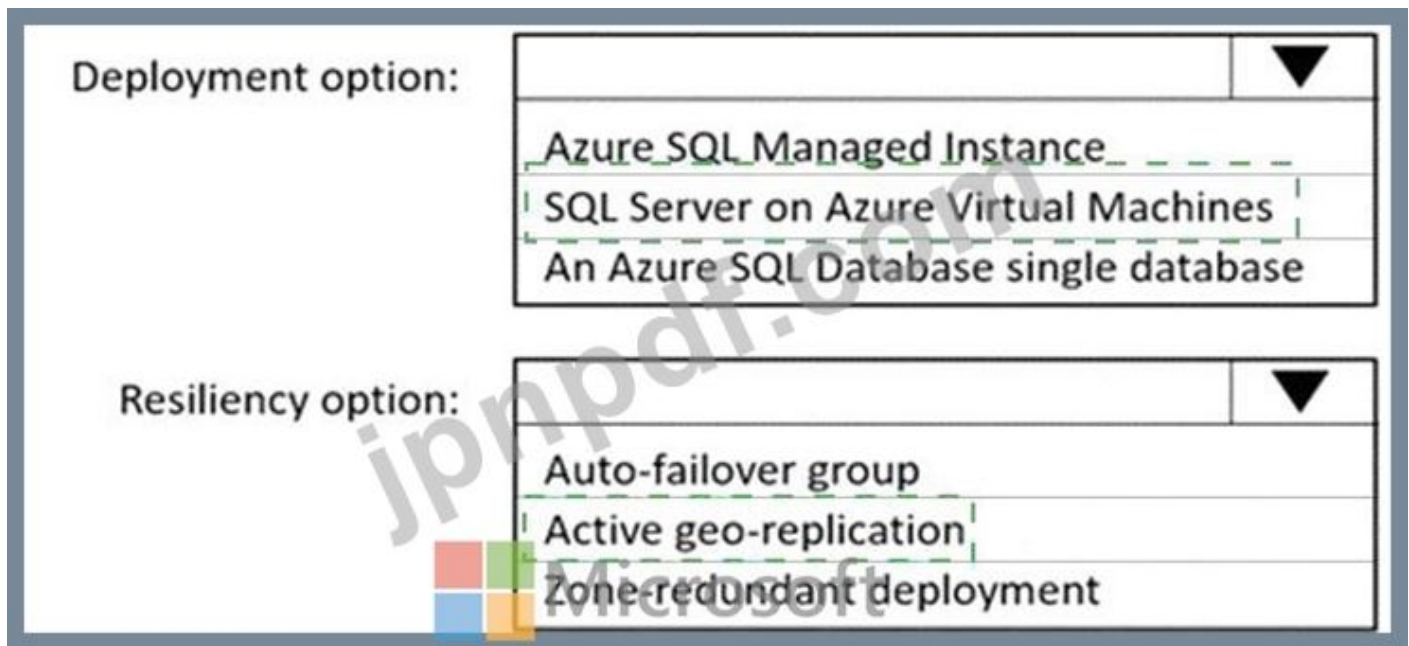
Deployment option:

Azure SQL Managed Instance
SQL Server on Azure Virtual Machines
An Azure SQL Database single database

Resiliency option:

Auto-failover group
Active geo-replication
Zone-redundant deployment

Answer:



Explanation:

ボックス 1: Azure VM 上の SQL Server

Azure Virtual Machines 上の SQL Server では、データベースのバックアップを BLOB ストレージに定期的に作成する自動バックアップを利用できます。この手法は手動でも使用できます。

ボックス2: アクティブジオレプリケーション

Azure SQL Database や Cosmos DB などのサービスの geo レプリケーションでは、複数のリージョンにわたってデータのセカンダリ レプリカが作成されます。どちらのサービスも同じリージョン内でデータを自動的にレプリケートしますが、geo レプリケーションではセカンダリ リージョンへのフェールオーバーが可能になるため、リージョンの停止から保護されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/virtual-machines/windows/sql-server-on-azure-vm-iaas- 概要>

<https://docs.microsoft.com/en-us/dotnet/architecture/cloud-native/infra Structure-resiliency-azure>

最新問題: 54

Azure SQL データベースがあります。

プラン キャッシュには、一度だけ使用されたコンパイル済みプランがいっぱいあることがわかります。

select * from sys.database_scoped_configurations Transact-SQL コマンドを実行すると、次の表に示す結果が返されます。

configuration_id	name	value	is_value_default
1	LEGACY_CARDINALITY_ESTIMATION	0	1
2	QUERY_OPTIMIZER_HOTFIXES	0	1
3	OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS	0	1
4	ACCELERATED_PLAN_FORCING	1	1

メモリの負荷を軽減する必要があります。

何を設定すればよいでしょうか？

A. レガシーカーディナリティ推定

- B. クエリ_オプティマイザー_ホットフィックス
- C. OPTIMIZE_FOR_AD_HOC_WORKLOADS
- D. 加速計画の実施

Answer: C (メッセージを残す)

アドホック ワークロードの最適化オプションは、多数の単一使用のアドホック バッチを含むワークロードのプラン キャッシュの効率を向上させるために使用されます。このオプションを 1 に設定すると、データベース エンジンは、バッチが初めてコンパイルされるときに、完全なコンパイル済みプランではなく、小さなコンパイル済みプラン スタブをプラン キャッシュに格納します。これにより、再利用されないコンパイル済みプランでプラン キャッシュがいっぱいになることがなくなり、メモリ不足が軽減されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/configure-windows/optimize-for-ad-hoc-workloads-server-configuration-option?view=sql-server-ver15>

最新問題: 55

可用性グループ内の Azure 仮想マシン上に SQL Server があります。
可用性グループに含まれていない DB1 という名前のデータベースがあります。
DB1 の完全なデータベース バックアップを作成します。
可用性グループに DB1 を追加する必要があります。
セカンダリレプリカではどの復元オプションを使用する必要がありますか？

- A. リカバリによる復元
- B. Norecovery で復元
- C. スタンバイ状態で復元

Answer: B (メッセージを残す)

Always On 可用性グループのセカンダリ データベースを準備するには、次の 2 つの手順が必要です。

1. RESTORE WITH NORECOVERYを使用して、プライマリデータベースの最新のデータベースバックアップとその後のログバックアップをセカンダリレプリカをホストする各サーバーインスタンスに復元します。
2. 復元したデータベースを可用性グループに参加させます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/database-engine/availability-groups/windows/manually-prepare-a-secondary-database-for-an-availability-group-sql-server>

最新問題: 56

Azure SQL データベースがあります。
次の図に示すように、パフォーマンスが遅いクエリを確認しています。



ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

The exhibit shows [answer choice]

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

- an actual execution plan
- an estimated execution plan
- Live Query Statistics

- Index Seek
- Key Lookup
- Nested Loops

Answer:

The exhibit shows [answer choice]

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

- an actual execution plan
- an estimated execution plan
- Live Query Statistics

- Index Seek
- Key Lookup
- Nested Loops

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/live-query-statistics?view=sql-server-ver15>

最新問題: 57

Azure SQL マネージド インスタンスがあります。

SQL エージェント ジョブの電子メール通知を有効にする必要があります。

何をすべきでしょうか？

- A. エージェント XP オプションを使用します。
- B. SQL Server エージェントを有効にします。
- C. sp_configure コマンドを実行します。
- D. sp_set_agent_properties コマンドを実行します。

Answer: C (メッセージを残す)

データベース メール XP 構成オプションを使用して、データベース電子メール拡張プロシージャを有効にする必要があります。

```
EXEC sp_configure '詳細オプションを表示', 1;
```

行く -

再構成する;

行く -

```
EXEC sp_configure 'データベース メール XPs', 1;
```

行く -

再構成 -

行く -

これで、sp_send および sp_notify_operator プロシージャを使用して電子メールを送信し、構成をテストできます。

参照：

<https://techcommunity.microsoft.com/t5/azure-sql-blog/sending-emails-in-azure-sql-managed-instance/ba-p/386235>

最新問題: 58

Employees という名前のテーブルを含む Azure SQL データベースがあります。Employees には Salary という名前の列が含まれています。

Salary 列を暗号化する必要があります。ソリューションでは、データベース管理者が Salary 列のデータを読み取ることを防ぎ、最も安全な暗号化を提供する必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか？ 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions

Answer Area

Encrypt the Salary column by using the randomized encryption type.

Create a column encryption key.

Enable Transparent Data Encryption (TDE).

Encrypt the Salary column by using the deterministic encryption type.

Apply a dynamic data mask to the Salary column.

Create a column master key.



Answer:

Actions

Answer Area

Encrypt the Salary column by using the randomized encryption type.

Create a column encryption key.

Enable Transparent Data Encryption (TDE).

Encrypt the Salary column by using the deterministic encryption type.

Apply a dynamic data mask to the Salary column.

Create a column master key.



Answer Area content:

- Create a column master key.
- Create a column encryption key.
- Encrypt the Salary column by using the randomized encryption type.

説明

Microsoft

Create a column master key.

Create a column encryption key.

Encrypt the Salary column by using the randomized encryption type.

ステップ1: 列マスターキーを作成する

データベースに列暗号化キー メタデータ エントリを作成する前、および Always Encrypted を使用してデータベース内の任意の列を暗号化する前に、列マスター キー メタデータ エントリを作成します。

手順 2: 列暗号化キーを作成します。

ステップ 3: ランダム化された暗号化タイプを使用して、Salary 列を暗号化します。

ランダム化された暗号化では、予測しにくい方法でデータを暗号化する方法が使用されます。ランダム化された暗号化はより安全ですが、暗号化された列での検索、グループ化、インデックス作成、結合ができなくなります。

注: 列暗号化キー メタデータ オブジェクトには、列内のデータを暗号化するために使用される列暗号化キーの 1 つまたは 2 つの暗号化された値が含まれます。各値は、列マスター キーを使用して暗号化されます。

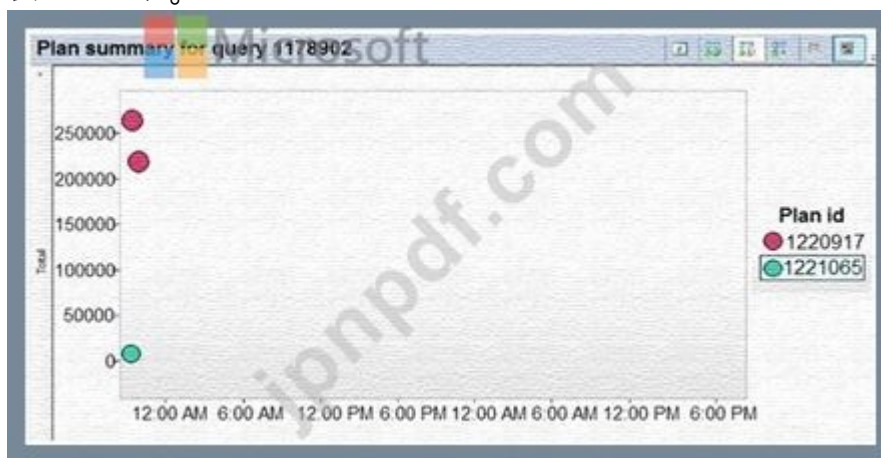
参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/security/encryption/always-encrypted-database-engine>

最新問題: 59

DB1 という名前のデータベースを含む Azure 仮想マシン上に SQL Server があります。

次の図に示すように、クエリ 1178902 の各実行にかかる時間をミリ秒単位で示すプランの概要を表示します。



クエリが最短時間で実行される実行プランを使用するには、どうすればよいでしょうか？

- A. プラン 1221065 のクエリ実行プランを強制します。
- B. DBCC FREEPROCCACHE コマンドを実行します。
- C. プラン 1220917 のクエリ実行プランを強制します。
- D. パラメータスニффingを無効にします。

Answer: ([解答を表示する](#))

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/query-store-usage-scenarios>

最新問題: 60

SQL1 という名前の Azure 仮想マシンに SQL Server があります。

SQL1 には、すべてのデータベースをバックアップするエージェント ジョブがあります。


dbadmin1 という名前のユーザーを SQL Server エージェント オペレーターとして追加します。

ジョブが失敗した場合に dbadmin1 が電子メールアラートを受信するようにする必要があります。

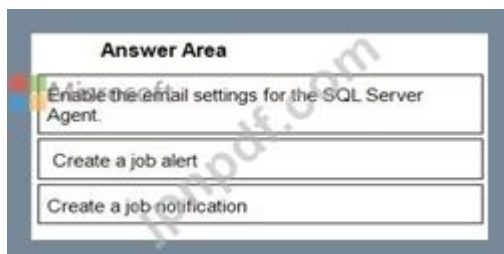
どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Answer Area
Create a job alert	
Create a job notification	
Enable Database Mail	
Enable the email settings for the SQL Server Agent	
Create a job target	

Navigation icons: > < (between columns), ^ v (on the right)



Answer:



1 - SQL Server エージェントの電子メール設定を有効にします。

2 - 求人アラートを作成する

3 - ジョブ通知を作成する

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/ssms/agent/notify-an-operator-of-job-status>

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/ssms/agent/assign-alerts-to-an-operator>

最新問題: 61

DB1 というデータベースをホストする VM1 という Azure Virtual Machines インスタンス上に SQL Server があります。次のクエリを実行します。

```
BACKUP LOG DB1 TO DISK = '\\File1\SQLBackups\DB1.trn'  
WITH NORECOVERY,COPY_ONLY,CONTINUE_AFTER_ERROR;  
GO
```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

Answer Area

Statements	Yes	No
The log file will be truncated.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 will be placed in an offline state.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
You are performing a tail-log backup.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Answer:

Answer Area

Statements	Yes	No
The log file will be truncated.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
DB1 will be placed in an offline state.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
You are performing a tail-log backup.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

有効な DP-300 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！
GoShiken.com が最新の DP-300 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (36830%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 62

General Purpose サービス レベルに DB1 という名前の Azure SQL データベースがあります。DB1 のパフォーマンス メトリックは次の図に示されています。



Log IO の割合を減らす必要があります。ソリューションではコストを最小限に抑える必要があります。

何をすべきでしょうか？

- A. チェックポイント操作を実行します。
- B. 復旧モデルをシンプルに変更します。
- C. サービス層を Business Critical に変更します。
- D. vCore の数を増やします。

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

最新問題: 63

DB1 という名前の Azure SQL データベースがあります。DB1 に接続した状態でクエリを実行します。

クエリの実際の実行プランを確認し、クエリによって参照されるテーブルにインデックスを追加します。

クエリの以前の実際の実行プランをライブ クエリ統計と比較する必要があります。

Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS) で最初に行うべきことは何ですか？

- A. DB1 の場合、クエリストアの QUERY_CAPTURE_MODE を All に設定します。
- B. SET SHOWPLAN_ALL Transact-SQL ステートメントを実行します。
- C. 実際の実行プランを保存します。
- D. DB1 のクエリストアを有効にします。

Answer: C [\(メッセージを残す\)](#)

セクション: [なし]

Explanation:

プラン比較メニュー オプションを使用すると、2 つの異なる実行プランを並べて比較できるため、上記のすべての理由による異なる動作を説明する類似点と変更点を簡単に識別できます。

このオプションでは、次のものを比較できます。
以前に保存された2つの実行プランファイル(拡張子 .sqlplan)。
1つのアクティブな実行プランと1つの以前に保存されたクエリ実行プラン。
クエリストア内の選択された2つのクエリプラン。

最新問題: 64

ドラッグアンドドロップの質問

Azure サブスクリプションには、SQLVM1 という名前の Azure Virtual Machines 上の SQL Server のインスタンスと、Windows Server を実行する Server1 という名前の仮想マシンが含まれています。

SQLVM1 と Server1 は、Active Directory ドメイン サービス (AD DS) ドメインに参加していません。

Server1 は Share1 という名前のファイル共有をホストします。

SQLVM1 上の SOL サーバー エージェント ジョブ ステップが Share1 内のファイルにアクセスできることを確認する必要があります。ソリューションでは、最小権限の原則を使用する必要があります。

どの3つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクションリストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions

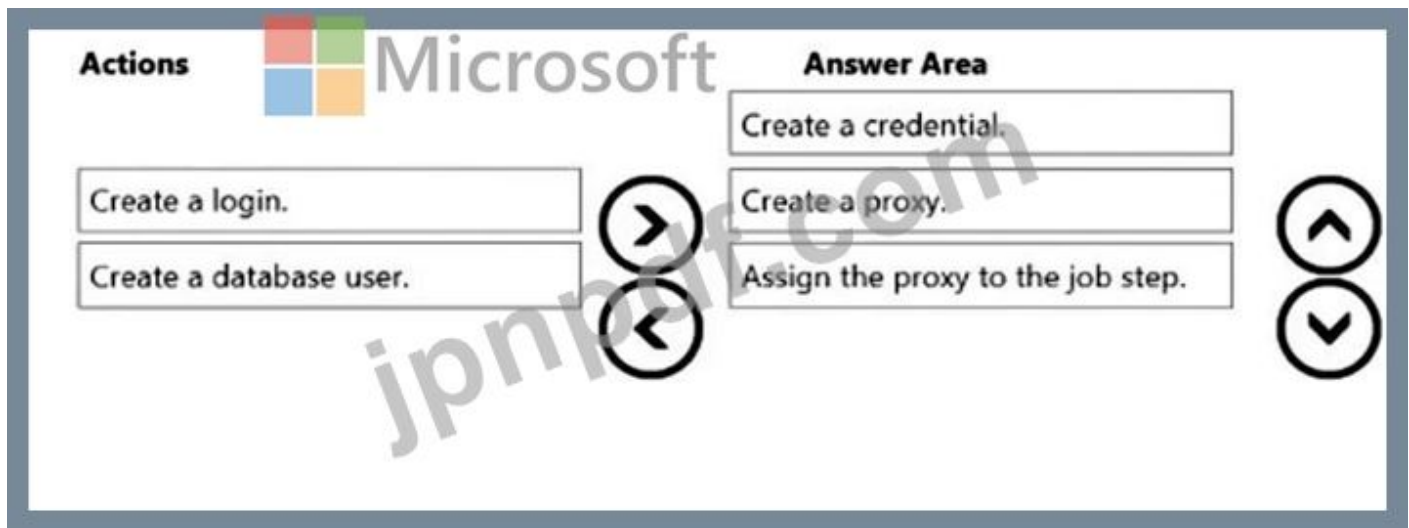
- Assign the proxy to the job step.
- Create a login.
- Create a database user.
- Create a credential.
- Create a proxy.

Answer Area

Microsoft

jpnsoft.com

Answer:



最新問題: 65

Azure サブスクリプションをお持ちです。

Microsoft SQL Server インスタンスをホストする新しい Azure 仮想マシンを展開する予定です。仮想マシン上のディスクを構成する必要があります。ソリューションは次の要件を満たしている必要があります。

- * トランザクション ログの待ち時間を最小限に抑えます。
- * 仮想マシンの IO への影響を最小限に抑えます。

各ワークロードにはどのタイプのディスクを使用する必要がありますか? 回答するには、適切なディスク タイプを正しいワークロードにドラッグします。各ディスク タイプは 1 回しか使用できません。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



Answer:



最新問題: 66

2 つの 100 GB データベースを Azure に移行する予定です。

ワークロードに基づいてリソース消費を動的にスケーリングする必要があります。ソリューションでは、スケーリング操作中のダウンタイムを最小限に抑える必要があります。

何をすべきでしょうか？

- A. エラスティック プール内の 2 つの Azure SQL データベース
- B. Azure 仮想マシン上の SQL Server でホストされている 2 つのデータベース
- C. Azure SQL Managed インスタンス内の 2 つのデータベース
- D. 2 つの単一の Azure SQL データベース

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

Azure SQL Database エラスティック プールは、使用需要が変動し予測できない複数のデータベースを管理および拡張するための、シンプルでコスト効率の高いソリューションです。エラスティック プール内のデータベースは単一のサーバー上にあり、設定された数のリソースが設定された価格で共有されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/elastic-pool-overview>

最新問題: 67

トランザクション データ用の分析ストレージ ソリューションを設計する必要があります。ソリューションは、販売トランザクション データセットの要件を満たす必要があります。

解決策には何を含めるべきですか？ 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Table type to store retail store data:

Hash
Replicated
Round-robin

Table type to store promotional data:

Hash
Replicated
Round-robin

Answer:

Table type to store retail store data:

- Hash
- Replicated
- Round-robin

Table type to store promotional data:

- Hash
- Replicated
- Round-robin

参照 :

<https://rajanieshkaushikk.com/2020/09/09/how-to-choose-right-data-distribution-strategy-for-azure-synapse/>

最新問題: 68

Table 1 という名前のテーブルを含む DB1 という名前の Azure SQL データベースがあります。クエリを実行して、Table1 にデータをロードします。

ロード操作中の表 1 のパフォーマンス メトリックを次の図に示します。



ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが加算されます。

Answer Area

To reduce how long it takes to complete the query you must [answer choice].

To reduce the log IO load of the operation, the query must be updated to use [answer choice] table.

Answer:

Answer Area

To reduce how long it takes to complete the query you must [answer choice].

To reduce the log IO load of the operation, the query must be updated to use [answer choice] table.

Explanation:

Answer Area

To reduce how long it takes to complete the query you must [answer choice].

To reduce the log IO load of the operation, the query must be updated to use [answer choice] table.

最新問題: 69

AzSQL1 という名前の Azure SQL サーバーに、DB1 という名前の新しい Azure SQL データベースがあります。

作成された唯一のユーザーはサーバー管理者です。

認証に Azure Active Directory (Azure AD) を使用する包含データベース ユーザーを DB1 に作成する必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Answer Area
Connect to DB1 by using the Active Directory admin account.	
Create a user by using the FROM EXTERNAL PROVIDER clause.	
Connect to DB1 by using the server administrator account.	
Set the Active Directory Admin for AzSQL1.	
From the Azure portal, assign the SQL DB Contributor role to the user.	
Create a login in the master database.	

Answer:

Answer Area
Set up the Active Directory Admin for AzSQL1.
Connect to DB1 by using the server administrator.
Create a user by using the FROM EXTERNAL PROVIDER clause.

- 1 - AzSQL1 の Active Directory 管理者を設定します。
- 2 - サーバー管理者を使用して DB1 に接続します。
- 3 - FROM EXTERNAL PROVIDER 句を使用してユーザーを作成します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/t-sql/statements/create-user-transact-sql>

最新問題: 70

次の表に示すように、ログを保存する account1 という名前の Azure Data Lake Storage Gen2 アカウントがあります。

Type	Designated retention period
Application	360 days
Infrastructure	60 days

保存期間中にログにアクセスされることは想定されていません。

次の要件を満たすアカウント 1 のソリューションを推奨する必要があります。

* 保存期間の終了時にログを自動的に削除します

* 保管コストを最小限に抑える

推奨事項には何を含めるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

To minimize storage costs:

- Store the infrastructure logs and the application logs in the Archive access tier.
- Store the infrastructure logs and the application logs in the Cool access tier.
- Store the infrastructure logs in the Cool access tier and the application logs in the Archive access tier.

To delete the logs automatically:

- Azure Data Factory pipelines
- Azure Blob storage lifecycle management rules
- Immutable Azure Blob storage time-based retention policies

Answer:

To minimize storage costs:

- Store the infrastructure logs and the application logs in the Archive access tier.
- Store the infrastructure logs and the application logs in the Cool access tier.
- Store the infrastructure logs in the Cool access tier and the application logs in the Archive access tier.

To delete the logs automatically:

- Azure Data Factory pipelines
- Azure Blob storage lifecycle management rules
- Immutable Azure Blob storage time-based retention policies

Explanation:

To minimize storage costs:

- Store the infrastructure logs and the application logs in the Archive access tier.
- Store the infrastructure logs and the application logs in the Cool access tier.
- Store the infrastructure logs in the Cool access tier and the application logs in the Archive access tier.

To delete the logs automatically:

- Azure Data Factory pipelines
- Azure Blob storage lifecycle management rules
- Immutable Azure Blob storage time-based retention policies

ボックス 1: インフラストラクチャ ログをクール アクセス層に保存し、アプリケーション ログをアーカイブ アクセス層に保存します。ホット - 頻繁にアクセスされるデータの保存に最適化されています。

Cool - 頻繁にアクセスされず、少なくとも 30 日間保存されるデータの保存に最適化されています。

アーカイブ - ほとんどアクセスされず、数時間単位の柔軟なレイテンシ要件で少なくとも 180 日間保存されるデータを保存するように最適化されています。

ボックス 2: Azure Blob ストレージのライフサイクル管理ルール

BLOB ストレージのライフサイクル管理では、豊富なルールベースのポリシーが提供されており、これを使用してデータを最適なアクセス層に移行したり、ライフサイクルの終了時にデータを期限切れにしたりすることができます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/blobs/storage-blob-storage-tiers>

最新問題: 71

注: この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。一連の質問にはそれぞれ、定められた目標を満たす独自の解決策が含まれています。質問セットによっては、正しい解決策が複数ある場合もあれば、正しい解決策がない場合もあります。

このセクションで質問に答えた後は、そのセクションに戻ることはできません。そのため、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Sales という名前の Azure SQL データベースがあります。

次の要件を満たすには、Sales の災害復旧を実装する必要があります。

* 通常業務中は、少なくとも 2 枚の読み取り可能な販売コピーを用意してください。

* データセンターに障害が発生した場合でも、Sales が利用可能であることを保証します。

解決策: Business Critical サービス レベルと可用性ゾーンを使用する Azure SQL データベースをデプロイします。

これは目標を満たしていますか?

A. はい

B. いいえ

Answer: A (メッセージを残す)

説明

Premium および Business Critical サービス レベルでは、コンピューティング リソース (sqlservr.exe プロセス) とストレージ (ローカルに接続された SSD) を 1 つのノードに統合する Premium 可用性モデルが活用されます。コンピューティングとストレージの両方を追加のノードに複製して 3 ~ 4 ノードのクラスターを作成することで、高可用性が実現されます。

既定では、プレミアム可用性モデルのノードのクラスターは同じデータセンターに作成されません。Azure 可用性ゾーンの導入により、SQL Database は、Business Critical データベースの異なるレプリカを同じリージョン内の異なる可用性ゾーンに配置できます。単一障害点を排除するために、制御リングも 3 つのゲートウェイ リング (GW) として複数のゾーンに複製されます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/high-availability-sla>

最新問題: 72

Azure サブスクリプションをお持ちです。

次の要件を満たす Azure SQL マネージド インスタンスをデプロイする必要があります。

* レイテンシを最適化します。

* メモリと vCore の比率を最大化します。

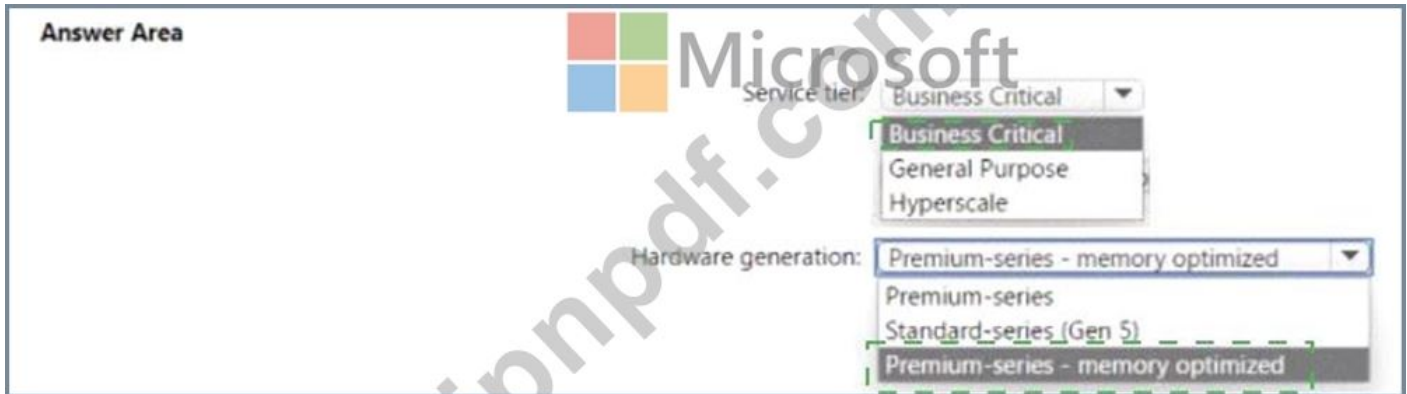
どのサービス ティアとハードウェア世代を使用すべきでしょうか? 回答するには、回答領域で対応するオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area



Answer:



Explanation:

Answer Area

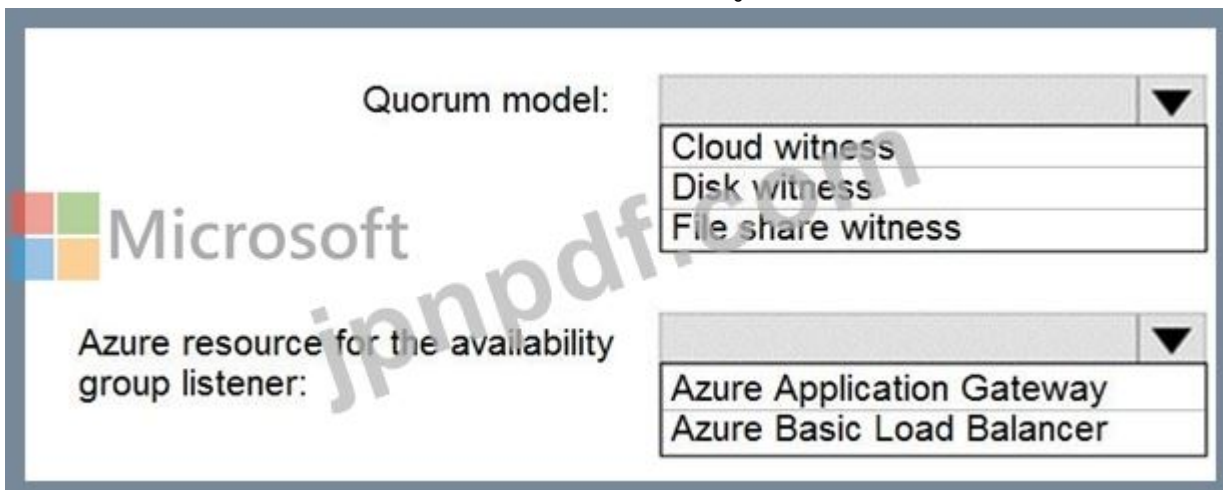


最新問題: 73

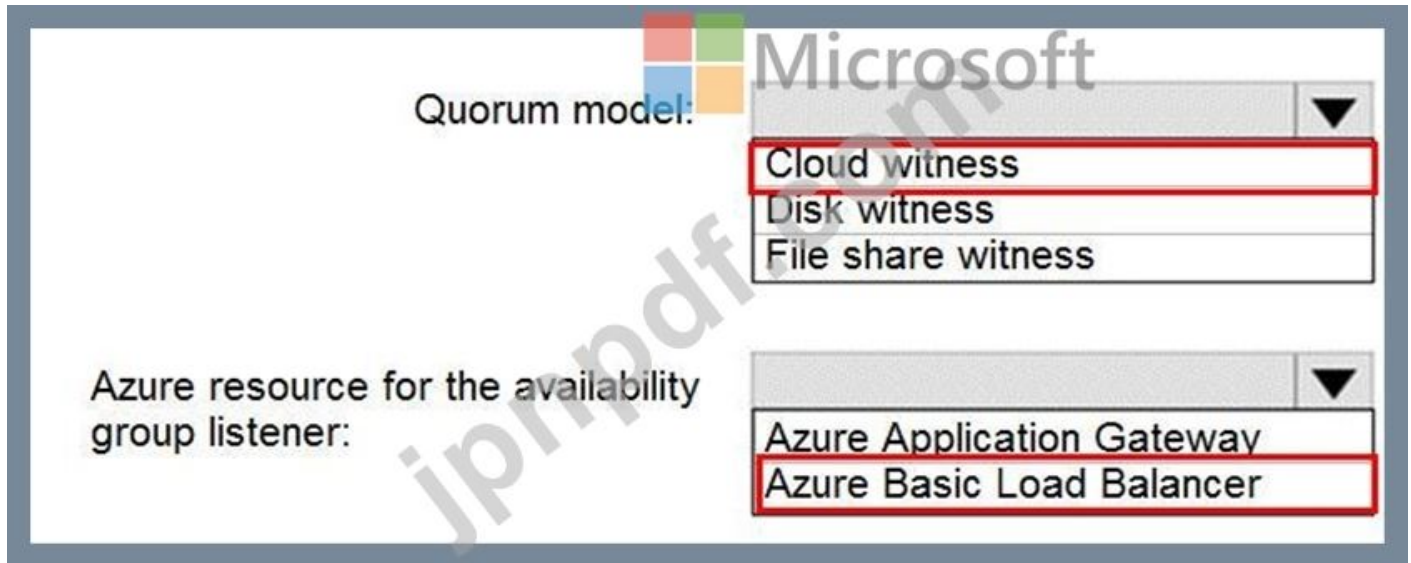
Azure への移行後、ManufacturingSQLDb1 の構成を推奨する必要があります。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。

推奨事項には何を含めるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



Answer:



参照 :

<https://technet.microsoft.com/windows-server-docs/failover-clustering/deploy-cloud-witness>

https://azure.microsoft.com/en-us/support/legal/sla/load-balancer/v1_0/

最新問題: 74

Azure Data Lake Storage Gen 2 を使用するアプリケーションを開発しています。

特定のアプリケーションに限られた期間だけ権限を付与するソリューションを推奨する必要があります。

推薦書には何を含めるべきでしょうか？

- A. 役割の割り当て
- B. アカウントキー
- C. 共有アクセス署名 (SAS)
- D. Azure Active Directory (Azure AD) ID

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

共有アクセス署名 (SAS) は、ストレージ アカウント内のリソースへの安全な委任アクセスを提供します。SAS を使用すると、クライアントがデータにアクセスする方法を細かく制御できます。

例:

クライアントがアクセスできるリソース。

それらのリソースに対してどのような権限を持っているか。

SAS の有効期間。

注: Data Lake Storage Gen2 は次の認証メカニズムをサポートしています。

- * 共有キー認証
- * 共有アクセス署名 (SAS) 認証
- * ロールベースのアクセス制御 (Azure RBAC)
- * アクセス制御リスト (ACL) Data Lake Storage Gen2 は、次の承認メカニズムをサポートしています。
- * 共有キー認証

- * 共有アクセス署名 (SAS) 認証
- * ロールベースのアクセス制御 (Azure RBAC)
- * アクセス制御リスト (ACL)

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/common/storage-sas-overview>

最新問題: 75

PipelineA と PipelineB という 2 つのパイプラインを持つ Azure データ ファクトリがあります。PipelineA には、次の図に示すように 4 つのアクティビティがあります。



PipelineB には、次の図に示すように 2 つのアクティビティがあります。



両方のパイプラインとすべての失敗の種類に対して失敗したパイプライン実行メトリックを使用するデータ ファクトリのアラートを作成します。メトリックには次の設定があります。

演算子: より大きい

集計タイプ: 合計

閾値: 2

集計粒度 (期間)5分

評価頻度: 5分ごと

Data Factory の監視では、次の表に示す障害が記録されます。

Pipeline	Activity	Time
PipelineA	Activity1	31-Jan-2020 10:44:00
PipelineA	Activity3	31-Jan-2020 10:47:00
PipelineB	Activity1	31-Jan-2020 10:50:00

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Statements	Yes	No
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineA.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
An alert notification was sent after the failure of Activity3 in PipelineA.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineB.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Answer:

Statements	Yes	No
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineA.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
An alert notification was sent after the failure of Activity3 in PipelineA.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
An alert notification was sent after the failure of Activity1 in PipelineB.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/alerts/alerts-metric-overview>

最新問題: 76

次の図に示すように、Azure SQL データベースのバックアップを構成します。

point-in-time-restore
Specify how long you want to keep your point-in-time backups. [Learn more if](#)
How many days would you like PITR backups to be kept?

long-term retention
Specify how long you want to keep your long-term retention backups. You may choose to keep yearly backups for up to 10 years. [Learn more if](#)

Weekly LTR Backups
Keep weekly backups for:

Monthly LTR Backups
Keep the first backup of each month for:

Yearly LTR Backups
Keep an annual backup for:

Which weekly backup of the year would you like to keep?

ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

Answer Area

To restore from a failure that occurred two days ago and caused minimal data loss, you must use a [answer choice]

After the 52nd weekly backup runs, there will be [answer choice] in long term retention.

Answer:

Answer Area

To restore from a failure that occurred two days ago and caused minimal data loss, you must use a [answer choice]

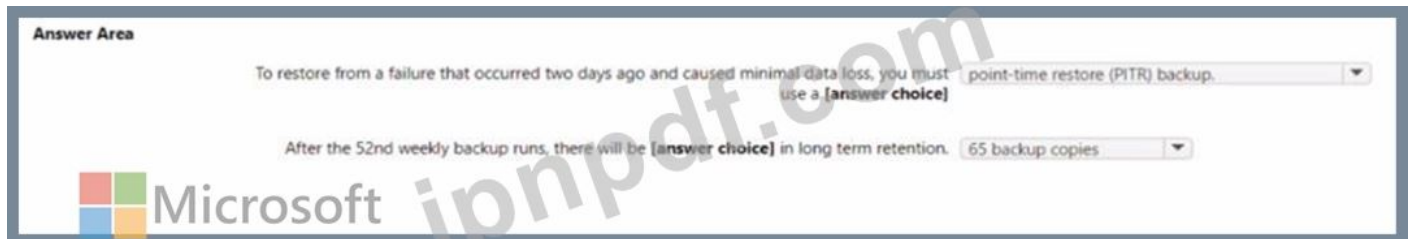
- point-time restore (PITR) backup.
- point-time restore (PITR) backup.
- yearly long-term retention (LTR) backup.
- weekly long-term retention (LTR) backup.
- monthly long-term retention (LTR) backup.

After the 52nd weekly backup runs, there will be [answer choice] in long term retention.

- 65 backup copies
- 1 backup copy
- 52 backup copies
- 64 backup copies
- 65 backup copies



説明



有効な DP-300 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！
GoShiken.com が最新の DP-300 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (36830%OFF問題集 溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 77

データ エンジニアは、新しいアプリケーションの従業員情報を格納するテーブルを作成します。すべての従業員名は米国英語のアルファベットで表記されます。すべての住所は米国内の場所です。データ エンジニアは次のステートメントを使用してテーブルを作成します。

```
CREATE TABLE dbo.Employee
(
    EmployeeID INT IDENTITY(1,1) PRIMARY KEY CLUSTERED NOT NULL,
    FirstName VARCHAR(100) NOT NULL,
    LastName VARCHAR(100) NOT NULL,
    Title VARCHAR(100) NULL,
    LastHireDate DATETIME NULL,
    StreetAddress1 VARCHAR(500) NOT NULL,
    StreetAddress2 VARCHAR(500) NOT NULL,
    StreetAddress3 VARCHAR(500) NOT NULL,
    City VARCHAR(200) NOT NULL,
    StateName VARCHAR(20) NOT NULL,
    Salary VARCHAR(20) NULL,
    PhoneNumber VARCHAR(20) NOT NULL
)
```

ストレージを削減し、パフォーマンスを向上させるには、データ型の変更を推奨する必要があります。

推奨すべき2つのアクションはどれですか? それぞれの正解は解決策の一部を示しています。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

- A. LastHireDate を日付データ型に変更します。
- B. LastHireDate を datetime2(7) データ型に変更します。
- C. PhoneNumber を float データ型に変更します。
- D. PhoneNumber を bigint データ型に変更します。
- E. 給与を通貨データ型に変更します。

Answer: A,E (メッセージを残す)

最新問題: 78

Azure への移行後、ManufacturingSQLDb1 の構成を推奨する必要があります。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。

推奨事項には何を含めるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

The screenshot shows the 'Quorum model' dropdown menu with three options: 'Cloud witness', 'Disk witness', and 'File share witness'. The 'Azure resource for the availability group listener' dropdown menu has two options: 'Azure Application Gateway' and 'Azure Basic Load Balancer'. The Microsoft logo is visible in the top left corner.

Answer:

The screenshot shows the 'Quorum model' dropdown menu with 'Cloud witness' selected. The 'Azure resource for the availability group listener' dropdown menu has 'Azure Application Gateway' selected. The Microsoft logo is visible in the bottom left corner.

説明

Quorum model:  Microsoft ▼

Cloud witness
Disk witness
File share witness

Azure resource for the availability group listener:

▼
Azure Application Gateway
Azure Basic Load Balancer

シナリオ: ビジネス要件

Litware は、すべての Azure デプロイメントで 99.99% の可用性の SLA を満たすことなど、ビジネス要件を特定しています。

ボックス 1: クラウドの証人

すべてのノードがインターネットにアクセスできる (Azure の拡張機能によって) フェールオーバー クラスター展開がある場合は、クォーラム監視リソースとしてクラウド監視を構成することをお勧めします。

ボックス 2: Azure 基本ロード バランサー

Microsoft は、2 つ以上の正常な仮想マシン インスタンスにサービスを提供する、Azure Standard Load Balancer を使用した負荷分散エンドポイントが 99.99% の時間利用可能であることを保証します。

注: リスナーを設定するための主なオプションは、外部 (パブリック) と内部の 2 つです。外部 (パブリック) リスナーは、インターネットに接続されたロード バランサーを使用し、インターネット経由でアクセス可能なパブリック仮想 IP (VIP) に関連付けられています。内部リスナーは内部ロード バランサーを使用し、同じ仮想ネットワーク内のクライアントのみをサポートします。

参照 :

<https://technet.microsoft.com/windows-server-docs/failover-clustering/deploy-cloud-witness>

https://azure.microsoft.com/en-us/support/legal/sla/load-balancer/v1_0/

最新問題: 79

factSales という名前のテーブルを含む Azure SQL データベースがあります。FactSales には、次の表に示す列が含まれています。

Name	Data type
SalesID	Int
Product	Int
Total Number	Numeric(8,4)
Tax Number	Numeric(8,4)
SalesRep	varchar(30)

FactSales には 60 億行あり、バッチ プロセスを使用して毎晩ロードされます。
どのタイプの圧縮がデータベースのスペースを最も削減しますか？

- A. ページ圧縮
- B. 行圧縮
- C. 列ストア圧縮
- D. 列ストア アーカイブ圧縮

Answer: D ([メッセージを残す](#))

セクション: [なし]

Explanation:

列ストア テーブルとインデックスは、常に列ストア圧縮を使用して保存されます。アーカイブ圧縮と呼ばれる追加の圧縮を構成することで、列ストア データのサイズをさらに削減できます。

注: 列ストア - 列ストア インデックスも行と列を持つテーブルとして論理的に編成されますが、データは物理的には列単位のデータ形式で格納されます。

誤った回答:

B: 行ストア - 行ストア インデックスは、SQL Server の最初のリリース以来使用されている従来のスタイルです。

行ストア テーブルとインデックスの場合、データ圧縮機能を使用してデータベースのサイズを縮小します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/data-compression/data-compression>

最新問題: 80

ホットスポット

Azure Synapse Analytics サーバーレス SQL プールを使用して、Azure Data Lake Storage Gen2 アカウントのバス料金データの探索的分析を実行しています。

次の図に示す Transact-SQL クエリを実行します。

```

SELECT
    payment_type,
    SUM(fare_amount) AS fare_total
FROM OPENROWSET (
    BULK 'csv/busfare/tripdata_2020*.csv',
    DATA_SOURCE = 'BusData',
    FORMAT = 'CSV', PARSER_VERSION = '2.0',
    FIRSTROW = 2
)
WITH (
    payment_type INT 10,
    fare_amount FLOAT 11
) AS nyc
GROUP BY payment_type
ORDER BY payment_type;

```

ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

ホットエリア:

Answer Area

The query results include only **[answer choice]** in the csv/busfare folder.

<input type="checkbox"/> CSV files in the tripdata_2020 subfolder <input type="checkbox"/> files that have files names beginning with "tripdata_2020" <input type="checkbox"/> CSV files that have file names containing "tripdata_202" <input checked="" type="checkbox"/> CSV files that have file named beginning with "tripdata_2020"
--

The query assumes that the first row in a CSV file is **[answer choice]** row.

<input type="checkbox"/> a header <input checked="" type="checkbox"/> a data <input type="checkbox"/> an empty
--

Answer:

Answer Area

The query results include only **[answer choice]** in the csv/busfare folder.

<input type="checkbox"/> CSV files in the tripdata_2020 subfolder <input type="checkbox"/> files that have files names beginning with "tripdata_2020" <input checked="" type="checkbox"/> CSV files that have file names containing "tripdata_202" <input type="checkbox"/> CSV files that have file named beginning with "tripdata_2020"
--

The query assumes that the first row in a CSV file is **[answer choice]** row.

<input checked="" type="checkbox"/> a header <input type="checkbox"/> a data <input type="checkbox"/> an empty
--

セクション: [なし]

Explanation:

ボックス 1: ファイル名が「fripdata_2020」で始まる CSV ファイル

ボックス2: ヘッダー

FIRSTROW = '最初の行'

ロードする最初の行の番号を指定します。デフォルトは 1 で、指定されたデータ ファイルの最初の行を示します。

行番号は行ターミネータを数えることによって決定されます。FIRSTROW は 1 から始まります。

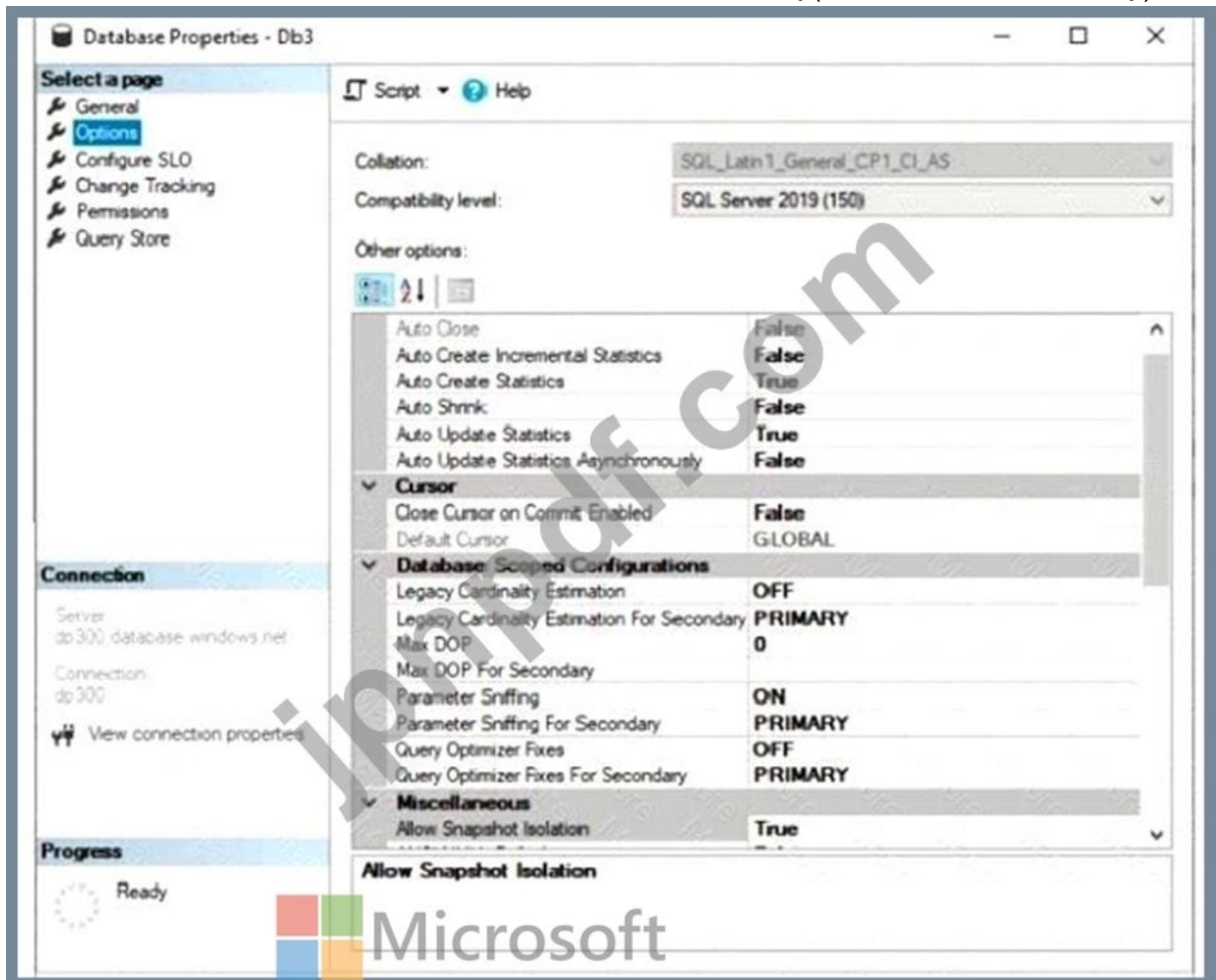
参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql/develop-openrowset>

最新問題: 81

DB3 という名前の Azure SQL データベースがあります。

図に示すように、DevUser というユーザーに、Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS) から DB3 のプロパティを表示する権限を与える必要があります。(図タブをクリックします。)



どの Transact-SQL コマンドを実行する必要がありますか？

A. DevUser に SHOWPLAN 権限を付与する

- B. DevUser にビュー定義を付与する
- C. DevUser にデータベース状態の表示権限を付与する
- D. DevUser に選択権限を付与

Answer: C (メッセージを残す)

展示品にはデータベース[状態]のプロパティが表示されます。

動的管理ビューまたは関数をクエリするには、オブジェクトに対する SELECT 権限と VIEW SERVER STATE または VIEW DATABASE STATE 権限が必要です。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/databases/database-properties-options-page>

最新問題: 82

ホットスポットに関する質問

Azure Synapse Analytics サーバーレス SQL プールにデータベースを構築しています。

Azure Data Lake Storage Gen2 コンテナ内の Parquet ファイルにデータが保存されています。

レコードは次のサンプルに示すように構造化されます。

```
{
  "id":123,
  "address_housenumber": "19c",
  "address_line1": "Memory Lane",
  "applicant1_name": "Jane",
  "applicant2_name": "Dev"
}
```

記録には最大 2 人の応募者が含まれます。

住所フィールドのみを含むテーブルを構築する必要があります。

Transact-SQL ステートメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area

▼ applications

CREATE EXTERNAL TABLE
CREATE TABLE
CREATE VIEW

```
WITH (  
    LOCATION = 'applications/',  
    DATA_SOURCE = applications_ds,  
    FILE_FORMAT = applications_file_format  
)
```

```
AS  
SELECT id, [address_housenumber] as addressnumber, [address_line1]  
as addressline1  
FROM
```

▼ (BULK 'https://contosol.dfs.core.windows.net/
applications/year=*/*.parquet',
CROSS APPLY
OPENJSON
OPENROWSET

```
FORMAT = 'PARQUET') AS [r]
```

GO

Answer:

Answer Area

▼ applications

CREATE EXTERNAL TABLE
CREATE TABLE
CREATE VIEW

```
WITH (  
    LOCATION = 'applications/',  
    DATA_SOURCE = applications_ds,  
    FILE_FORMAT = applications_file_format  
)
```

```
AS  
SELECT id, [address_housenumber] as addressnumber, [address_line1]  
as addressline1
```

FROM

▼ (BULK 'https://contosol.dfs.core.windows.net/
applications/year=*/*.parquet',
CROSS APPLY
OPENJSON
OPENROWSET

```
FORMAT = 'PARQUET') AS [r]
```

GO

Explanation:

ボックス 1: 外部テーブルの作成

外部テーブルは、Hadoop、Azure Storage BLOB、または Azure Data Lake Storage にあるデータを指します。外部テーブルは、Azure Storage 内のファイルからデータを読み取ったり、ファイルにデータを書き込んだりするために使用されます。

Synapse SQL では、専用 SQL プールまたはサーバーレス SQL プールを使用して外部テーブルから外部データを読み取ることができます。

構文：

外部テーブルを作成します { データベース名. スキーマ名. テーブル名 | スキーマ名. テーブル名 | テーブル名 }

(<列定義> [,...n])

と (

LOCATION = 'フォルダまたはファイルパス'、

DATA_SOURCE = 外部データソース名、

FILE_FORMAT = 外部ファイル形式名

ボックス 2. OPENROWSET

サーバーレス SQL プールを使用する場合、CETAS を使用して外部テーブルを作成し、クエリ結果を Azure Storage Blob または Azure Data Lake Storage Gen2 にエクスポートします。

例：

として

```
SELECT decennialTime, stateName, SUM(population) AS population FROM
```

```
OPENROWSET(BULK
```

```
'https://azureopendatastorage.blob.core.windows.net/censusdatacontainer/
```

```
release/us_population_county/year=*/*.parquet', FORMAT='PARQUET') AS [r] GROUP BY
```

```
decennialTime, stateName GO 参照:
```

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql/develop-tables-external-tables>

最新問題: 83

SERVER1 データベースの移行を計画しています。ソリューションはビジネス要件を満たす必要があります。

移行計画には何を含める必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Azure Database Migration Service pricing tier:

Standard 2-vCore
Standard 4-vCore
Premium 4-vCore

Microsoft

Required Azure resource:

A virtual network that has service endpoints
A VPN gateway
An Azure Logic app

Answer:

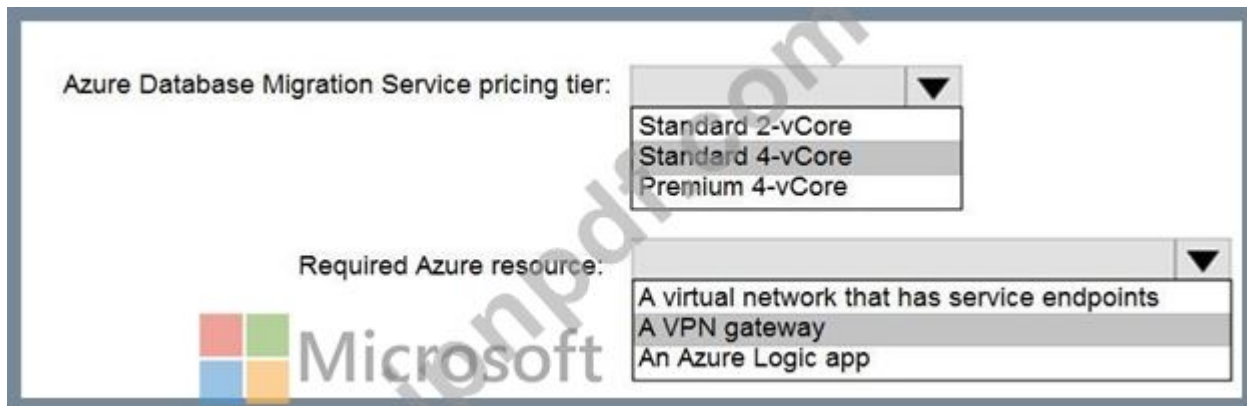
Azure Database Migration Service pricing tier:

Standard 2-vCore
Standard 4-vCore
Premium 4-vCore

Required Azure resource:

A virtual network that has service endpoints
A VPN gateway
An Azure Logic app

説明



Azure データベース移行サービス

ボックス 1: プレミアム 4 VCore

シナリオ: SERVER1 データベースを Azure SQL Database プラットフォームに移行します。
SERVER1 データベースの移行中のダウンタイムを最小限に抑えます。

プレミアム 4 仮想コアは、大規模なワークロードやビジネス クリティカルなワークロード向けです。オンライン移行、オフライン移行、およびより高速な移行速度をサポートします。

参照 :

<https://azure.microsoft.com/pricing/details/database-migration/>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/tutorial-sql-server-azure-sql-online>

最新問題: 84

Azure Databricks を使用して、Purchases という名前のデータセットを開発する予定です。Purchases には次の列が含まれます。

製品ID

商品価格

行合計

量

ストアID

分

月

時間

年
日

StoreID ごとに異なる 1 時間ごとの増分ロード パイプラインをサポートするには、データを保存する必要があります。ソリューションでは、ストレージコストを最小限に抑える必要があります。コードをどのように完成させるべきですか？ 回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

```
df.write
```

<input type="checkbox"/>	▼		<input type="checkbox"/>	▼
<input type="checkbox"/>		.bucketBy	<input type="checkbox"/>	("*")
<input type="checkbox"/>		.partitionBy	<input type="checkbox"/>	("StoreID", "Hour")
<input type="checkbox"/>		.range	<input type="checkbox"/>	("StoreID", "Year", "Month", "Day", "Hour")
<input type="checkbox"/>		.sortBy	<input type="checkbox"/>	("Year", "Month", "Day", "Hour", "StoreID")

```
.mode ("append")
```

<input type="checkbox"/>	▼
<input type="checkbox"/>	.csv("/Purchases")
<input type="checkbox"/>	.json("/Purchases")
<input type="checkbox"/>	.parquet("/Purchases")
<input type="checkbox"/>	.saveAsTable("/Purchases")

Answer:

```
df.write
```

<input type="checkbox"/>	▼	<input type="checkbox"/>	▼
<input type="checkbox"/>		.bucketBy	("*")
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	.partitionBy
<input type="checkbox"/>		.range	("StoreID", "Year", "Month", "Day", "Hour")
<input type="checkbox"/>		.sortBy	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			("Year", "Month", "Day", "Hour", "StoreID")

```
.mode ("append")
```

<input type="checkbox"/>	▼
<input type="checkbox"/>	.csv("/Purchases")
<input type="checkbox"/>	.json("/Purchases")
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	.parquet("/Purchases")
<input type="checkbox"/>	.saveAsTable("/Purchases")

参照：

<https://intellipaat.com/community/11744/how-to-partition-and-write-dataframe-in-spark-without-deleting-partitions-with-no-new-data>

最新問題: 85

ResearchDB1 のすべてのテーブルとビューを作成します。

ResearchDB1 にセキュリティを実装する必要があります。ソリューションは、セキュリティとコンプライアンスの要件を満たす必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Answer Area
Run the Always Encrypted wizard.	
Create an Azure Key Vault instance and generate a secret.	
Create an Azure Key Vault instance and configure an access policy.	
Create an Azure AD managed identity.	
Register ResearchApp1 to Azure AD.	

Answer:

Answer Area
Register ResearchApp1 to Azure AD.
Create an Azure Key Vault instance and configure an access policy.
Run the Always Encrypted wizard.

1 - ResearchApp1 を Azure AD に登録します。

2 - Azure Key Vault インスタンスを作成し、アクセス ポリシーを構成します。

3 - Always Encrypted ウィザードを実行します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/always-encrypted-azure-key-vault-configure?tabs=azure-powershell>

最新問題: 86

SSISDB データベースを含む Azure 仮想マシン上に SQL Server 2019 があります。

最近の障害により、マスター データベースが失われました。

すべての Microsoft SQL Server 統合サービス (SSIS) パッケージが仮想マシン上で実行できないことがわかります。

問題を解決するには、どの 4 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順に並べます。

Actions	Answer Area
Add a certificate to an Azure key vault	
Enable Transparent Data Encryption (TDE)	
Encrypt a copy of the master key by using the service master key	
Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property	
Attach the SSISDB database	
Open the master key for the SSISDB database	

Microsoft

Answer:

Actions	Answer Area
Add a certificate to an Azure key vault	Attach the SSISDB database
Enable Transparent Data Encryption (TDE)	Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property
Encrypt a copy of the master key by using the service master key	Open the master key for the SSISDB database
Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property	Encrypt a copy of the master key by using the service master key
Attach the SSISDB database	
Open the master key for the SSISDB database	

Microsoft

Explanation:

ステップ1: SSISDBデータベースをアタッチする

ステップ2: TRUSTWORTHYプロパティとCLRプロパティをオンにする

SSISDB カatalogが作成されたことがない SQL Server インスタンスに SSISDB データベースを復元する場合は、共通言語ランタイム (clr) を有効にします。手順 3: SSISDB データベースのマスター キーを開きます。SSISDB の作成に使用した元のパスワードがある場合は、この方法でマスター キーを復元します。

マスター キーの復号化をパスワード = 'LS1Setup!' で開きます --'SSISDB の作成時に使用したパスワード' マスター キーの変更 サービス マスター キーによる暗号化の追加 ステップ 4: サービス マスター キーを使用してマスター キーのコピーを暗号化します 参照:

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/integration-services/backup-restore-and-move-the-ssis-catalog>

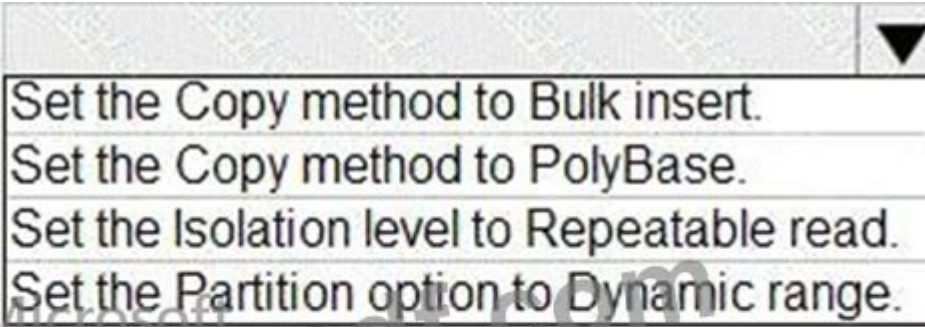
最新問題: 87

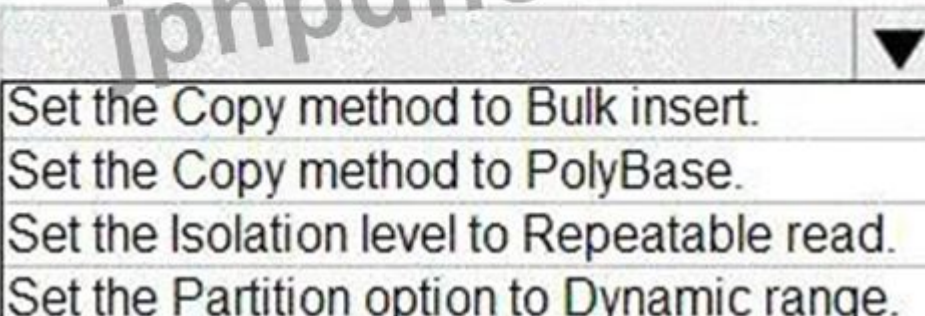
ADF1 という名前の Azure Data Factory インスタンスと、WS1 および WS2 という名前の 2 つの Azure Synapse Analytics ワークスペースがあります。

ADF1 には次のパイプラインが含まれています。

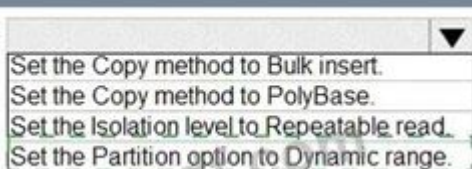
P1: コピー アクティビティを使用して、WS1 の専用 SQL プール内のパーティション分割されていないテーブルから Azure Data Lake Storage Gen2 アカウントにデータをコピーします。P2: コピー アクティビティを使用して、Azure Data Lake Storage Gen2 アカウント内のテキスト区切りファイルから WS2 の専用 SQL プール内のパーティション分割されていないテーブルにデータをコピーします。並列処理とパフォーマンスを最大化するには、P1 と P2 を構成する必要があります。

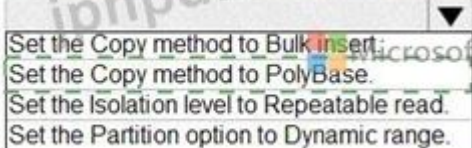
各パイプラインのコピー アクティビティに対してどのデータセット設定を構成する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

P1: 

P2: 

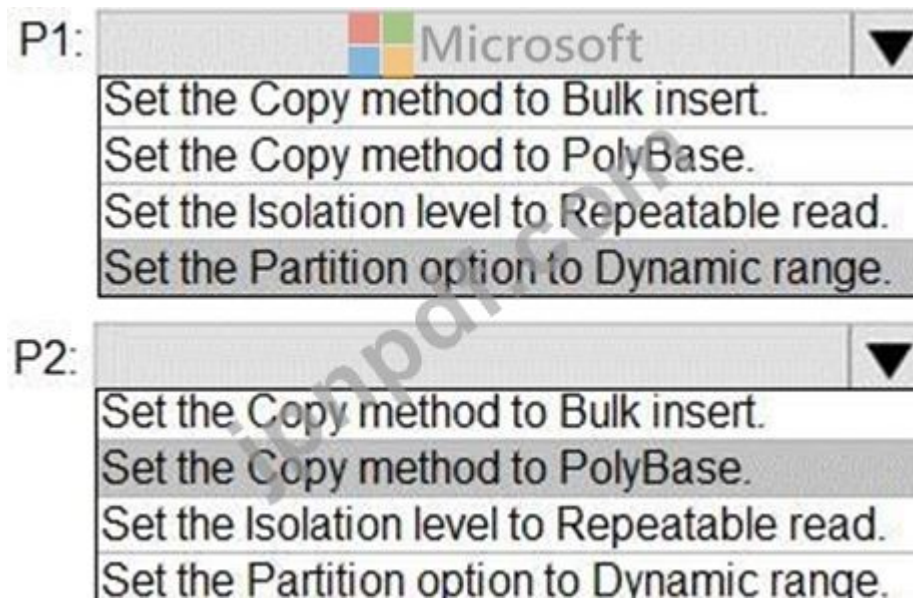
Answer:

P1: 

P2: 

説明

グラフィカルユーザーインターフェイス、テキスト、チャット、またはテキストメッセージの説明は自動的に生成されます



P1: パーティション オプションをダイナミック レンジに設定します。

コピー アクティビティの SQL Server コネクタには、データを並列にコピーするための組み込みのデータパーティション分割機能が備わっています。

P2: コピー方法をPolyBaseに設定する

Polybase は、Azure Synapse Analytics にデータを移動する最も効率的な方法です。ステージング BLOB 機能を使用すると、Azure Blob ストレージや Data Lake Store など、あらゆる種類のデータストアからの高速読み込みを実現できます。

(Polybase は、デフォルトで Azure Blob Storage と Azure Data Lake Store をサポートしていません。) 参考:

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-factory/connector-azure-sql-data-warehouse>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-factory/load-azure-sql-data-warehouse>

最新問題: 88

ホットスポット

DB1という名前のAzure SQLデータベースがあります。DB1の自動チューニングオプションは次のように構成されています。

次の展示で。

Azure SQL Database built-in intelligence automatically tunes your databases to optimize performance. Click here to learn more about automatic tuning.

Inherit from: **Server** **Azure defaults** Don't inherit

The database is inheriting automatic tuning configuration from Azure defaults.

Configure the automatic tuning options

OPTION	DESIRED STATE	CURRENT STATE
FORCE PLAN	ON OFF INHERIT	ON Auto-configured by Azure
CREATE INDEX	ON OFF INHERIT	ON Auto-configured by Azure
DROP INDEX	ON OFF INHERIT	ON Forced by user

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

ホットエリア:

Answer Area  Microsoft

Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Columns will be added to existing indexes automatically.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Answer:

Answer Area



Statements	Yes	No
Nonclustered indexes will be added to tables to improve performance.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Columns will be added to existing indexes automatically.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
The query execution plan will revert to a previous plan if query performance degrades.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

セクション: [なし]

Explanation:

ボックス1: はい

チューニングオプション: インデックスの作成がオン

CREATE INDEX - ワークロードのパフォーマンスを向上させる可能性のあるインデックスを識別し、インデックスを作成し、クエリのパフォーマンスが向上したかどうかを自動的に確認します。

ボックス2: いいえ

ボックス3: はい

FORCE LAST GOOD PLAN (自動プラン修正) - 実行プランを使用して Azure SQL クエリを識別します

以前の良い計画よりも遅い場合、後退した計画の代わりに最後の既知の良い計画を使用してクエリを実行します。

プラン。

最新問題: 89

ドラッグアンドドロップの質問

SQLMi1 という名前の Azure SQL マネージド インスタンスと、Backupdb という名前の SQL エージェント ジョブを含む Azure サブスクリプションがあります。Backupdb は、SQLMi1 でホストされているデータベースの毎日のバックアップを実行します。

ジョブが失敗した場合は電子メールで通知する必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

注意: 回答の選択肢の順序は複数あっても正解です。正解の順序を選択した場合でも、得点は得られません。

Actions

- Create a SQL Server Agent alert.
- Create an operator.
- Create an extended event.
- Enable Database Mail.
- Add a failure notification to the job.

Answer Area

Microsoft

jnpot.com

Answer:

Actions

- Create a SQL Server Agent alert.
- Create an extended event.

Answer Area

- Enable Database Mail.
- Create an operator.
- Add a failure notification to the job.

Microsoft

jnpot.com

Explanation:

ステップ1: データベースメールを有効にする

まだ有効になっていない場合は、まず SQL Managed Instance でデータベース メール機能を構成する必要があります。

ボックス 2: オペレーターを作成します。

SQL エージェント ジョブで何かが発生したことをオペレーターに通知できます。オペレーターは、SQL Managed Instance 内の 1 つ以上のインスタンスのメンテナンスを担当する個人の連絡先情報を定義します。

ボックス3: ジョブに失敗通知を追加する

その後、SSMS または次の T-SQL スクリプトを使用して、任意の SQL エージェント ジョブを変更し、ジョブが完了、失敗、または成功した場合に電子メールで通知されるオペレーターを割り当てることができます。

EXEC msdb.dbo.sp_update_job @job_name=N'SSIS を使用してデータをロード',
 @notify_level_email=3, -- オプション: 成功の場合は 1、失敗の場合は 2、完了の場合は 3

@notify_email_operator_name=N'AzureSQLTeam';

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/managed-instance/job-automation-managed-instance>

最新問題: 90

ケーススタディ 2 - Contoso 社

概要

概要

Contoso 社は、従業員 100 名を擁する金融データ会社です。同社は顧客に金融データを提供しています。

物理的な場所

Contoso はロサンゼルスにデータセンターと Azure サブスクリプションを持っています。すべての Azure リソースは、米国西部 2 Azure リージョンにあります。Contoso は Azure への 10 Gb ExpressRoute 接続を持っています。

同社には世界中に顧客がいる。

既存の環境

アクティブディレクトリ

Contoso には、オンプレミスの Active Directory と同期するハイブリッド Azure Active Directory (Azure AD) 展開があります。

データベース環境

Contoso は、次の表に示すように、Azure 仮想マシン上に SQL Server 2017 を導入しています。

Name	Role
SQL1	Primary data warehouse
SQL2	Secondary data warehouse
SQL3	Extract, transform, and load (ETL) server

SQL1 と SQL2 は Always On 可用性グループに属しており、アクティブにクエリが実行されます。SQL3 はジョブを実行し、履歴データを提供して、顧客へのデータの配信を処理します。オンプレミスのデータセンターには、50 TB のデータベースを備えた PostgreSQL サーバーが含まれています。

現在のビジネスモデル

Contoso は、Microsoft SQL Server Integration Services (SSIS) を使用して顧客向けのプラットフォームを作成します。

顧客は FTP を使用してファイルを受信します。

要件

計画された変更

Contoso は、PaaS (サービスとしてのプラットフォーム) オファリングとして実行される顧客データベースにデータを配信するモデルに移行する予定です。顧客が Contoso とサービス契約を結ぶと、Azure SQL データベースを含む別のリソースグループが顧客用にプロビジョニングされます。データベースには、財務データの完全なコピーが含まれます。各顧客がアクセスできるデー

タは、サービス契約レベルによって異なります。顧客は、サービス契約を変更することでレベルを変更できます。

各 PaaS データベースの推定サイズは 1 TB です。

Contoso は次の変更を実装する予定です。

今後 6 か月以内に、PostgreSQL データベースを Azure Database for PostgreSQL に移行します。

今後数か月以内に、SQL1、SQL2、SQL3 を SQL Server 2019 にアップグレードします。

6 か月以内に新しい PaaS ソリューションへの顧客のオンボーディングを開始します。

ビジネス目標

Contoso では、次のビジネス要件を特定しています。

可能な限り、Azure の組み込み機能を使用してください。

可能な限り開発の労力を最小限に抑えます。

PaaS ソリューションのコンピューティング コストを最小限に抑えます。

PaaS ソリューションを使用して、すべての顧客に独自のデータベースのコピーを提供します。

顧客のサービス契約に基づいて、顧客にさまざまなテーブルおよび行のアクセスを提供します。

Azure リージョンの停止が発生した場合、顧客が最小限のダウンタイムで PaaS ソリューションにアクセスできるようにします。ソリューションは自動フェールオーバーを提供する必要があります。

PaaS ソリューションのユーザーが独自のデータベース オブジェクトを作成できるようにしますが、Contoso が提供する既存のデータベース オブジェクトを変更することはできません。

技術要件

Contoso では、次の技術要件を特定しています。

PaaS ソリューションのユーザーは、自分の会社の Azure AD 資格情報を使用してサインインできるか、Contoso から提供された Azure AD 資格情報を持っている必要があります。このソリューションでは、ゲストユーザーを最小限に抑えるために、Contoso の内部 Azure AD を使用しないようにする必要があります。

すべての顧客には、独自のリソース グループ、Azure SQL サーバー、および Azure SQL データベースが必要です。各顧客のリソースの展開は、一貫した方法で実行する必要があります。

ユーザーは、PaaS データベースに対して発行されたクエリを確認し、作成された新しいオブジェクトを識別する必要があります。

PostgreSQL データベースの移行中のダウンタイムは最小限に抑える必要があります。

監視要件

Contoso では、次の監視要件を特定しています。

PaaS データベースの CPU 使用率が平均よりも高い場合に管理者に通知します。

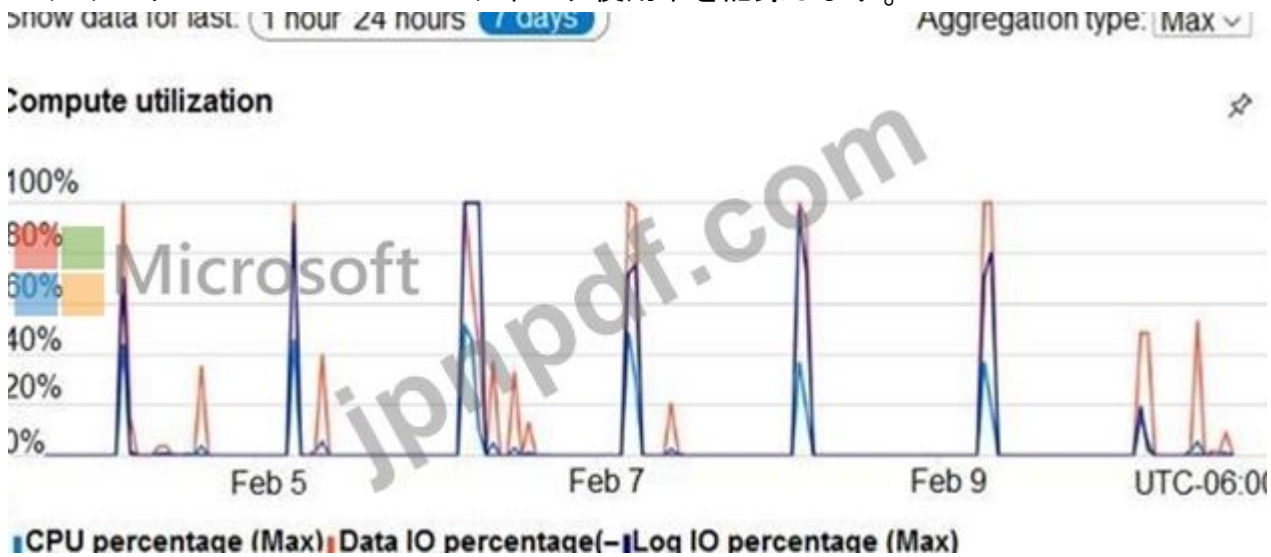
単一のダッシュボードを使用して、すべての PaaS データベースのセキュリティと監査データを確認します。

単一のダッシュボードを使用して、すべての PaaS データベース全体のクエリ パフォーマンスとボトルネックを監視します。

PaaS データベースを監視して、パフォーマンスが低いクエリを特定し、可能な限りクエリ パフォーマンスの問題を自動的に解決します。

PaaS プロトタイプ

Azure での PaaS ソリューションのプロトタイプ作成中に、次の図に示すように、顧客の Azure SQL データベースのコンピューティング使用率を記録します。



役割の割り当て

各顧客の Azure SQL Database サーバーに対して、次の図に示すロールを割り当てる予定です。

+ Add Edit columns Refresh Remove Got feedback?

Check access **Role assignments** Deny assignments Classic administrators Roles

Manage access to Azure resources for users, groups, service principals and managed identities at this scope by creating role assignments. [Learn more](#)

Number of role assignments for this subscription: 15 / 2000

Name: Search by name or email Type: Groups Role: 2 selected Scope: All scopes

Group by: Role

Showing a filtered set of results. Total number of role assignments: 15

2 items (2 Groups)

<input type="checkbox"/>	Name	Type	Role	Scope
<input type="checkbox"/>	DBAGroup1	Group	Contributor	This resource
<input type="checkbox"/>	DBAGroup2	Group	SQL DB Contributor	This resource

PaaS ソリューションの災害復旧要件を満たすには何を実装する必要がありますか？

- A. 可用性ゾーン
- B. フェイルオーバーグループ
- C. Always On 可用性グループ

D. 地理的レプリケーション

Answer: ([解答を表示する](#))

シナリオ: Azure リージョンの停止が発生した場合、顧客が最小限のダウンタイムで PaaS ソリューションにアクセスできるようにします。ソリューションは自動フェールオーバーを提供する必要があります。

自動フェールオーバー グループ機能を使用すると、サーバー上のデータベース グループまたはマネージド インスタンス内のすべてのデータベースの別のリージョンへのレプリケーションとフェールオーバーを管理できます。これは、既存のアクティブ geo レプリケーション機能の上にある宣言型の抽象化であり、大規模な geo レプリケートされたデータベースの展開と管理を簡素化するように設計されています。フェールオーバーは手動で開始することも、ユーザー定義のポリシーに基づいて Azure サービスに委任することもできます。

後者のオプションを使用すると、プライマリ リージョンで SQL データベースまたは SQL Managed Instance の可用性が完全にまたは部分的に失われる重大な障害やその他の計画外のイベントが発生した後、セカンダリ リージョンで複数の関連データベースを自動的に復旧できます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/auto-failover-group-overview>

最新問題: 91

シミュレーション

db1 のディザスター リカバリー ソリューションを構成する必要があります。フェールオーバーが発生した場合、データベースへの接続文字列は同じままである必要があります。セカンダリ サーバーは、米国西部 3 Azure リージョンに配置する必要があります。

このタスクを完了するには、仮想マシンにサインインします。SQL Server Management Studio と Azure ポータルを使用する必要がある場合があります。

Answer:

Configure active geo-replication and failover (Azure SQL Database)

You can configure active geo-replication for Azure SQL Database using the Azure portal or Azure CLI and to initiate failover.

Add a secondary database

The following steps create a new secondary database in a geo-replication partnership.

Step 1: In the Azure portal, browse to the database [Here db1] that you want to set up for geo-replication.

Step 2: On the SQL Database page, select your database [Here db1], scroll to Data management, select Replicas, and then select Create replica.



Step 3: Select or create [Here create] the server for the secondary database, and configure the Compute + storage options if necessary. You can select any region for your secondary server, but we recommend the paired region.

For region select: West US 3

Create SQL Database - Geo Replica

Microsoft

Primary database details

Additional settings will be defaulted where possible based on the the primary database.

Primary database

guestlist

Region

eastus

Database details

Enter required settings for this database, including picking a logical server and configuring the compute and storage resources

Database name

guestlist

Server *

contosowest (West US)

Create new

Region

West US

Want to use SQL elastic pool? *

Yes

No

Compute + storage *

General Purpose

Standard-series (Gen5), 2 vCores, 32 GB storage, zone redundant disabled

Configure database

Step 4: Click Review + create, review the information, and then click Create.

The secondary database is created and the deployment process begins.

Reference:

<https://learn.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/active-geo-replication-configure-portal>

有効な DP-300 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！
GoShiken.com が最新の DP-300 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (36830%OFF問題集 溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

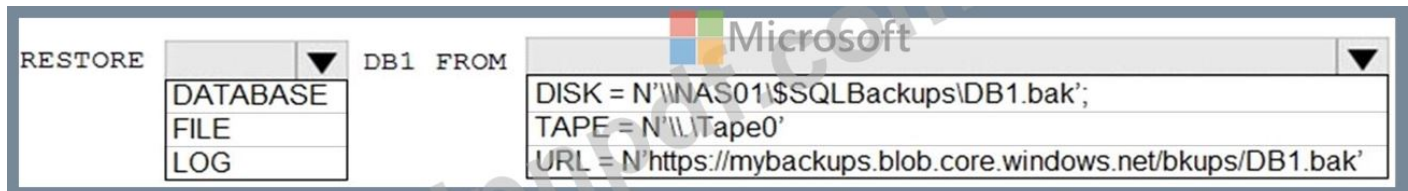
最新問題: 92

Azure SQL マネージド インスタンスがあります。

Transact-SQL を使用して DB1 という名前のデータベースを復元する必要があります。

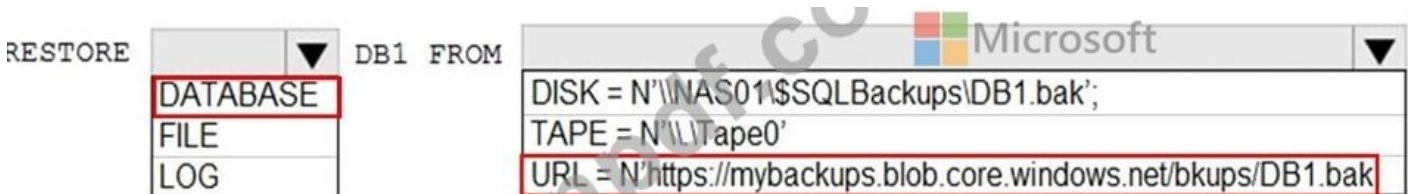
どのコマンドを実行する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



RESTORE DATABASE DB1 FROM URL = N'https://mybackups.blob.core.windows.net/bkups/DB1.bak'

Answer:



RESTORE DATABASE DB1 FROM URL = N'https://mybackups.blob.core.windows.net/bkups/DB1.bak'

最新問題: 93

役割の割り当てを評価しています。

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



Statements	Yes	No
DBAGroup1 will be able to sign in to each customer's Azure SQL database by using Azure Data Studio.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
DBAGroup1 will be able to assign the SQL DB Contributor role to other users.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DBAGroup2 will be able to create a new Azure SQL database on each customer's Azure SQL Database server.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Answer:



	Yes	No
DBAGroup1 will be able to sign in to each customer's Azure SQL database by using Azure Data Studio.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
DBAGroup1 will be able to assign the SQL DB Contributor role to other users.	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
DBAGroup2 will be able to create a new Azure SQL database on each customer's Azure SQL Database server.	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/role-based-access-control/built-in-roles>

最新問題: 94

Vault1 という名前の Azure キー コンテナと、Azure Virtual Machines インスタンス上の SQL1 という名前の SQL Server があり、SQL 1 は DB1 という名前のデータベースをホストしています。

Vault1 のキーを使用するには、D61 で透過的データ暗号化 (TDE) を構成する必要があります。どの 4 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Answer Area
On SQL1, create a symmetric key.	
On SQL1, create a login from the symmetric key.	
Create an Azure AD service principal and grant the service principal permissions for Vault1.	
On SQL1, create an asymmetric key.	
On SQL1, create a cryptographic provider and a Microsoft SQL Server credential.	
On SQL1, create a login from the asymmetric key.	

Answer:

Answer Area
Create an Azure AD service principal and grant the service principal permission for Vault1.
On SQL1, create an asymmetric key.
On SQL1, create a cryptographic provider and a Microsoft SQL Server credential.
On SQL1, create a login from the asymmetric key.

- 1 - Azure AD サービス プリンシパルを作成し、Vault1 に対するサービス プリンシパルのアクセス許可を付与します。
- 2 - SQL1 で非対称キーを作成します。
- 3 - SQL1 で、暗号化プロバイダーと Microsoft SQL Server 資格情報を作成します。
- 4 - SQL1 で、非対称キーからログインを作成します。

最新問題: 95

Azure SQL データベースがあります。

長時間実行されているクエリを識別します。

クエリ内のどの操作がパフォーマンスの問題を引き起こしているかを特定する必要があります。Microsoft SQL Server Management Studio でクエリ実行プランを表示するには何を使用すればよいですか？

SSMS) ?

- A. ライブクエリ統計
- B. 推定実行計画
- C. 実際の実行計画
- D. クライアント統計

Answer: C (メッセージを残す)

セクション: [なし]

Explanation:

実行中にクエリの実行プランを含めるには

1. SQL Server Management Studioのツールバーで、「データベースエンジンクエリ」をクリックします。
既存のクエリを実行し、推定実行プランを表示するには、ツールバーの「ファイルを開く」ボタンをクリックして、既存のクエリ。
2. 実際の実行プランを表示するクエリを入力します。
3. クエリメニューで、実際の実行プランを含めるをクリックするか、実際の実行プランを含めるツールバーをクリックします。
ボタン。



注: 実際の実行プランは、Transact-SQLクエリまたはバッチの実行後に生成されます。

実際の実行計画には、実際のリソース使用率メトリックや実行時間などの実行時情報が含まれます。

警告 (ある場合)が表示されます。生成された実行プランには、SQLが実際に実行したクエリ実行プランが表示されます。

クエリを実行するために使用されるサーバー データベース エンジン。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/display-an-actual-execution-plan>

最新問題: 96

Azure Synapse Analytics サーバーレス SQL プールにデータベースを構築しています。

Azure Data Lake Storage Gen2 コンテナ内の Parquet ファイルにデータが保存されています。

レコードは次のサンプルに示すように構造化されます。

記録には最大 2 人の応募者が含まれます。

住所フィールドのみを含むテーブルを構築する必要があります。

Transact-SQL ステートメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

```
▼ applications
CREATE EXTERNAL TABLE
CREATE TABLE
CREATE VIEW
WITH (
    LOCATION = 'applications/',
    DATA_SOURCE = applications_ds,
    FILE_FORMAT = applications_file_format
)
AS
SELECT id, [address_housenumber] as addressnumber, [address_line1
as addressline1
FROM
▼ (BULK 'https://contosol.dfs.core.windows.net/
applications/year=*/*.parquet',
CROSS APPLY
OPENJSON
OPENROWSET
FORMAT = 'PARQUET') AS [r]
```

Answer:

```

▼ applications
CREATE EXTERNAL TABLE
CREATE TABLE
CREATE VIEW
WITH (
    LOCATION = 'applications/',
    DATA_SOURCE = applications_ds,
    FILE_FORMAT = applications_file_format
)
AS
SELECT id, [address_housenumber] as addressnumber, [address_line1]
as addressline1
FROM
    (BULK 'https://contoso1.dfs.core.windows.net/
    applications/year=*/*.parquet',
    FORMAT = 'PARQUET') AS [r]
GO

```

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql/develop-tables-external-tables>

最新問題: 97

server1 というサーバー上に db1 という Azure SQL データベースがあります。

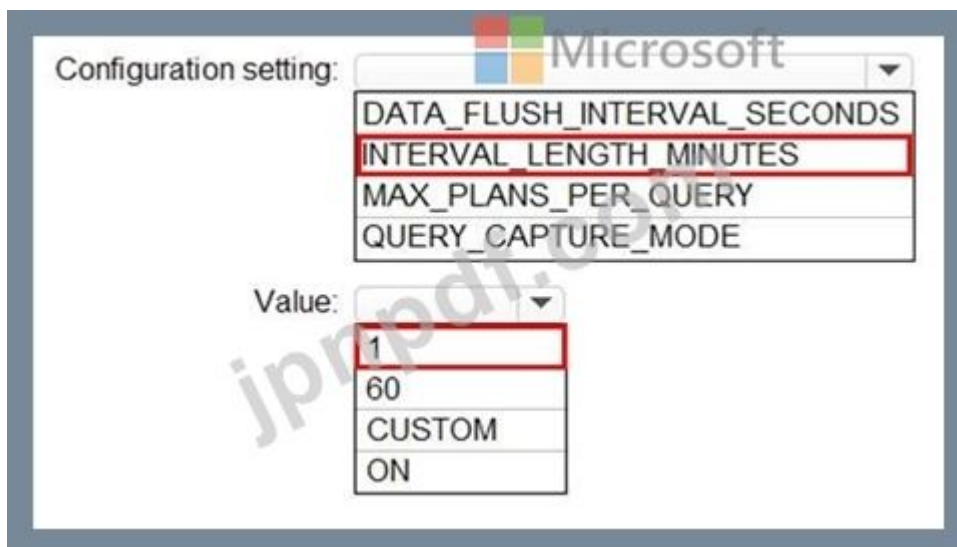
Query Performance Insight を使用して db1 を監視します。

パフォーマンス監視データができるだけ早く利用できるようにするには、クエリストアの構成を変更する必要があります。

どの構成設定を変更し、どの値を構成する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer:



最新問題: 98

db1 という名前のデータベースをホストするオンプレミスの Microsoft SQL Server 2016 インスタンスがあります。Mil という名前の Azure SQL マネージド インスタンスを含む Azure サブスクリプションがあります。

Azure Database Migration Service を使用して、db1 から MM へのオンライン移行を実行する予定です。

移行用のバックアップを作成する必要があります。ソリューションでは、作成されるバックアップファイルの数を最小限に抑える必要があります。

どのような種類のバックアップを作成し、どのようにバックアップを保存する必要がありますか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

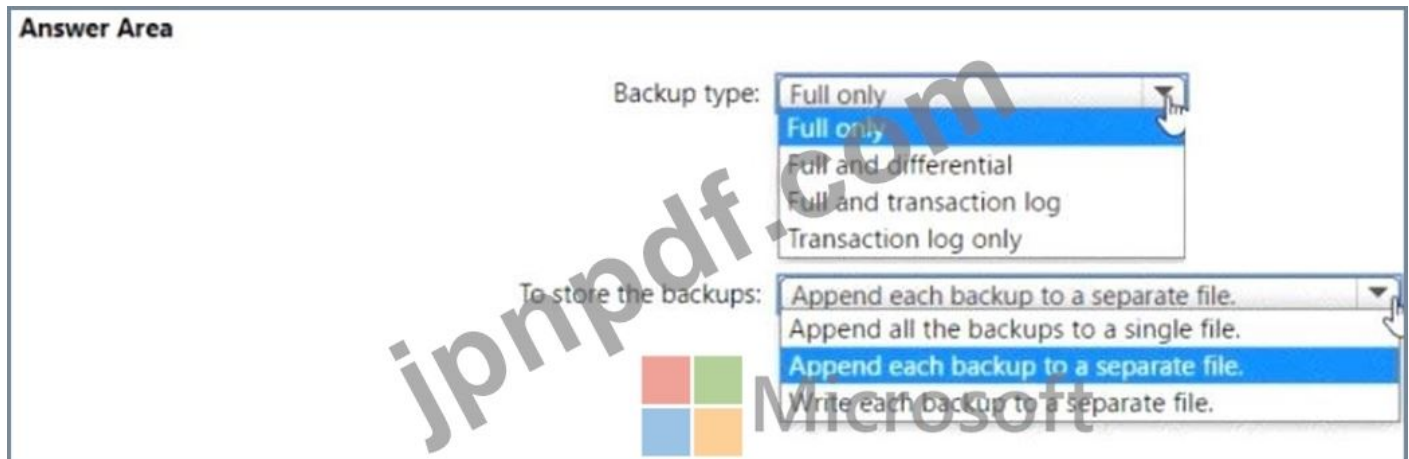
Answer Area

Backup type:

- Full only
- Full and differential
- Full and transaction log
- Transaction log only

To store the backups:

- Append each backup to a separate file.
- Append all the backups to a single file.
- Append each backup to a separate file.
- Write each backup to a separate file.



Answer:

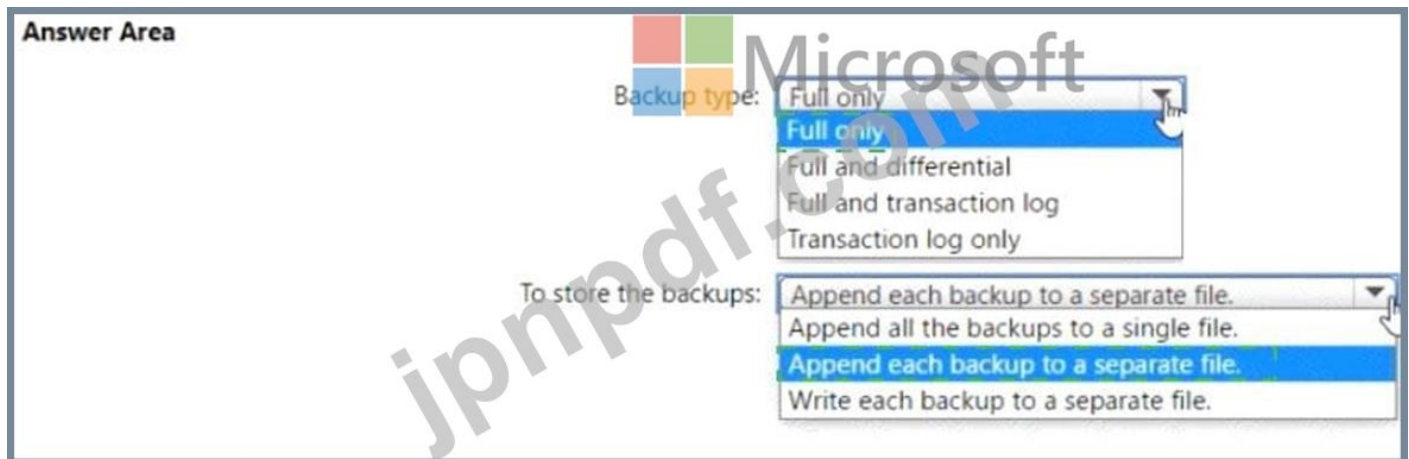
Answer Area

Backup type:

- Full only
- Full and differential
- Full and transaction log
- Transaction log only

To store the backups:

- Append each backup to a separate file.
- Append all the backups to a single file.
- Append each backup to a separate file.
- Write each backup to a separate file.



Explanation:

Answer Area

Backup type:

To store the backups:



最新問題: 99

Instance1 への移行後に、App1 が DB1 および DB2 にアクセスするための認証ソリューションを推奨する必要があります。ソリューションは可用性の要件を満たす必要があります。

どのアクションを順番に実行する必要がありますか？ 回答するには、適切なアクションを正しい順序にドラッグします。

各アクションは 1 回、複数回、またはまったく使用されない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Steps

- Enable a system-assigned managed identity.
- Enable a system-assigned service principal.
- Grant admin consent to an app registration in Microsoft Entra.
- Implement Microsoft Entra Cloud Sync.

Answer Area

Step 1: Enable Microsoft Entra authentication on Instance1.

Step 2: [empty]

Step 3: [empty]

Answer:

Steps

- Enable a system-assigned managed identity.
- Enable a system-assigned service principal.
- Grant admin consent to an app registration in Microsoft Entra.
- Implement Microsoft Entra Cloud Sync.

Answer Area

Step 1: Enable Microsoft Entra authentication on Instance1.

Step 2: Implement Microsoft Entra Cloud Sync.

Step 3: Enable a system-assigned service principal.

Explanation:

Steps

- Enable a system-assigned managed identity.
- Enable a system-assigned service principal.
- Grant admin consent to an app registration in Microsoft Entra.
- Implement Microsoft Entra Cloud Sync.

Answer Area

Step 1: Enable Microsoft Entra authentication on Instance1.

Step 2: Implement Microsoft Entra Cloud Sync.

Step 3: Enable a system-assigned service principal.

最新問題: 100

注: この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。一連の質問にはそれぞれ、定められた目標を満たす独自の解決策が含まれています。質問セットによっては、正しい解決策が複数ある場合もあれば、正しい解決策がない場合もあります。

このセクションで質問に答えた後は、そのセクションに戻ることはできません。そのため、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Azure 仮想マシンに SQL Server 2019 がインストールされています。

SQL Server インスタンス内のクエリのパフォーマンスの問題をトラブルシューティングしています。

さらに情報を収集するには、sys.dm_exec_requests をクエリして、待機タイプが PAGELATCH_UP であり、wait_resource が 2:3:905856 であることを確認します。
システムのパフォーマンスを向上させる必要があります。
解決策: テーブル変数と一時テーブルの使用を減らします。
これは目標を満たしていますか?

A. はい

B. いいえ

Answer: A (メッセージを残す)

次の操作では tempdb が頻繁に使用されます。

- * 一時テーブル (ローカルまたはグローバル) の繰り返し作成および削除操作。
- * ストレージに tempdb を使用するテーブル変数。
- * など

参照:

<https://docs.microsoft.com/en-US/troubleshoot/sql/performance/recommendations-reduce-allocation-contention>


最新問題: 101

DB1 という名前のデータベースを含む、Server1 という名前のオンプレミスの Microsoft SQL Server 2016 サーバーがあります。

Azure Database Migration Service を使用して、DB1 を Azure SQL Database マネージドインスタンスにオンライン移行する必要があります。

DB1 のバックアップをどのように構成すればよいですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

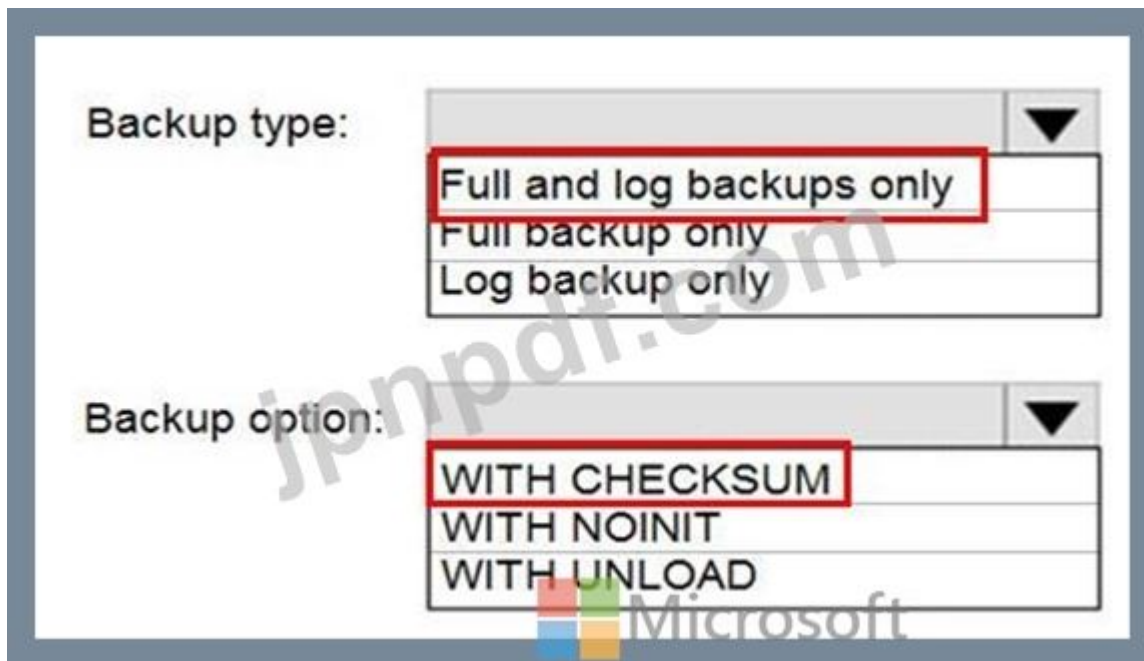
Backup type:  ▼

Full and log backups only
Full backup only
Log backup only

Backup option: ▼

WITH CHECKSUM
WITH NOINIT
WITH UNLOAD

Answer:



参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/dms/known-issues-azure-sql-db-managed-instance-online>

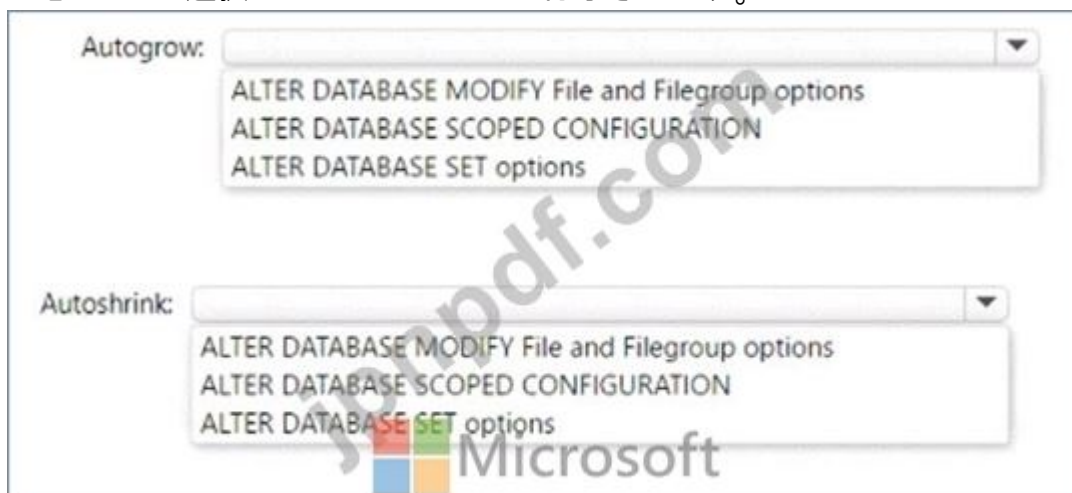
最新問題: 102

Db1 という名前のデータベースをホストする Azure Virtual Machines インスタンス上の SQL Server があります。

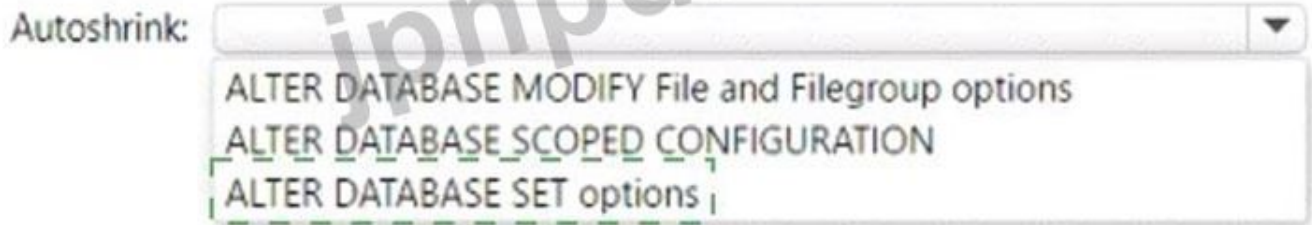
DB1 の自動拡張および自動縮小設定を構成する必要があります。

どのステートメントを使用すればよいですか？ 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

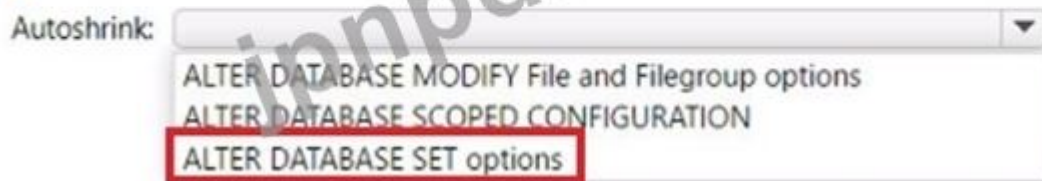
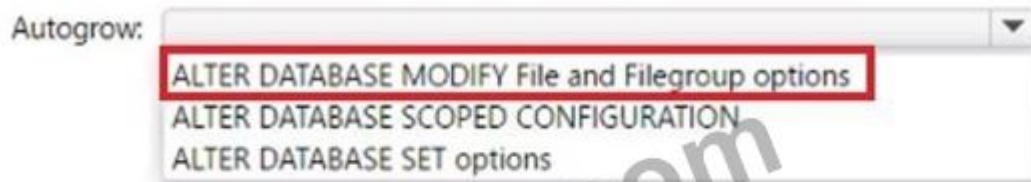
注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



Answer:



説明



<https://learn.microsoft.com/en-us/troubleshoot/sql/admin/considerations-autogrow-autoshrink>

最新問題: 103

次の図に示すように、Azure SQL データベースのバックアップを構成します。

Point-in-time restore

Specify how long you want to keep your point-in-time backups. [Learn more](#)

How many days would you like PITR backups to be kept?

Long-term retention

Specify how long you want to keep your long-term retention backups. You may choose to keep yearly backups for up to 10 years. [Learn more](#)

Weekly LTR Backups

Keep weekly backups for:

Monthly LTR Backups

Keep the first Backup of each month for:

Yearly LTR Backups

Keep an annual backup for:

Which weekly backup of the year would you like to keep?

ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。
注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

Answer Area

To restore from a failure that occurred two days ago and caused minimal data loss, you must use a **[answer choice]**

After the 52nd weekly backup runs, there will be **[answer choice]** in long term retention.

Microsoft

- point-time restore (PITR) backup.
- point-time restore (PITR) backup.
- yearly long-term retention (LTR) backup.
- weekly long-term retention (LTR) backup.
- monthly long-term retention (LTR) backup.

- 65 backup copies
- 1 backup copy
- 52 backup copies
- 64 backup copies
- 65 backup copies

Answer:

Answer Area

To restore from a failure that occurred two days ago and caused minimal data loss, you must use a **[answer choice]**

After the 52nd weekly backup runs, there will be **[answer choice]** in long term retention.



Microsoft

説明

Answer Area

To restore from a failure that occurred two days ago and caused minimal data loss, you must use a **[answer choice]**

After the 52nd weekly backup runs, there will be **[answer choice]** in long term retention.

Microsoft

- point-time restore (PITR) backup.

- 65 backup copies

最新問題: 104

Azure SQL データベースがあります。

次の図に示すように、パフォーマンスが遅いクエリを確認しています。



ドロップダウンメニューを使用して、グラフィックに表示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

The exhibit shows [answer choice].

<input type="text"/>
an actual execution plan
an estimated execution plan
Live Query Statistics

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.



<input type="text"/>
Index Seek
Key Lookup
Nested Loops

Answer:

The exhibit shows [answer choice].

<input type="text"/>
an actual execution plan
an estimated execution plan
Live Query Statistics

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

<input type="text"/>
Index Seek
Key Lookup
Nested Loops

説明

グラフィカルユーザーインターフェイス、テキスト、アプリケーション、電子メールの説明が自動的に生成されます

The exhibit shows [answer choice].

- an actual execution plan
- an estimated execution plan
- Live Query Statistics

The [answer choice] operator in the execution plan indicates that the query would benefit from performance tuning.

- Index Seek
- Key Lookup
- Nested Loops

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/performance/live-query-statistics?view=sql-server-ver1>

最新問題: 105

Table1 という名前のテーブルを含む、という名前の Azure SQL データベースがあります。Table1 に不正なデータを入力するクエリを実行します。ロード操作中の表 1 のパフォーマンスを図に示します。

The exhibit shows a line graph with a y-axis from 80% to 110%. A red line shows a sharp spike from approximately 95% to 105% at a certain point. Below the graph, there are two text prompts with dropdown menus for answer choices.

To reduce how long it takes to complete the query you must [answer choice].

- scale the resource
- use an elastic pool
- perform query tuning

To reduce the log IO load of the operation, the query must be updated to use [answer choice] table.

- a temporary
- an In-Memory OLTP durable
- an In-Memory OLTP non durable

Answer:

To reduce how long it takes to complete the query you must [answer choice].



scale the resource
use an elastic pool
perform query tuning

To reduce the log IO load of the operation, the query must be updated to use [answer choice] table.

a temporary
an In-Memory OTLP durable
an In-Memory OTLP non durable

説明

To reduce how long it takes to complete the query you must [answer choice].



scale the resource
use an elastic pool
perform query tuning

To reduce the log IO load of the operation, the query must be updated to use [answer choice] table.

a temporary
an In-Memory OTLP durable
an In-Memory OTLP non durable

最新問題: 106

Azure Stream Analytics ジョブがあります。

ジョブに十分なストリーミング ユニットがプロビジョニングされていることを確認する必要があります。

SU % 使用率メトリックの監視を構成します。

監視する必要がある追加のメトリックはどれですか? それぞれの正解はソリューションの一部を示しています。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

- A. 遅延入力イベント
- B. 順序が間違っているイベント
- C. バックログ入力イベント
- D. 透かしの遅延
- E. 関数イベント

Answer: ([解答を表示する](#))

ワークロードの増加に対応し、ストリーミング ユニットを増やすには、SU 使用率メトリックに 80% のアラートを設定することを検討してください。また、ウォーターマーク遅延とバックログ イベントメトリックを使用して、影響があるかどうかを確認することもできます。

注: バックログされた入力イベント: バックログされた入力イベントの数。このメトリックの値がゼロ以外の場合、ジョブが受信イベントの数に対応できないことを意味します。この値がゆっくりと増加しているか、一貫してゼロ以外の場合は、SU を増やしてジョブをスケールアウトする必要があります。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/stream-analytics/stream-analytics-monitoring>

有効な **DP-300** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい DP-300 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **DP-300** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com DP-300 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com DP-300 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**36830%OFF**問題集 溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 107

Azure SQL マネージド インスタンス、db1 という名前のデータベース、および Appl という名前の Azure Web アプリを含む Azure サブスクリプションがあります。Appl は db1 を使用します。

App1 のリソース ガバナーを有効にする必要があります。ソリューションは次の要件を満たしている必要があります。

App1 は利用可能なすべての CPU リソースを消費できる必要があります。

App1 では、使用可能な CPU リソースの少なくとも半分が常に使用可能である必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクションのリストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。注: 回答の選択肢の順序は複数あっても正しい場合があります。正しい順序を選択した場合は、そのどれでもポイントが付与されます。

The screenshot shows an exam question interface. On the left, under the heading "ACTIONS", there is a list of five actions in a scrollable container:

- Create a plan.
- Create a classifier function in db1.
- Create a workload group.
- Create a classifier function in the master database.
- Create a resource pool that has the following configurations.
MAX_CPU_PERCENT = 100
MIN_CPU_PERCENT = 50

On the right, there is an "Answer Area" with a Microsoft logo. A vertical bar with two circular arrows (one pointing right, one pointing left) is positioned between the actions list and the answer area, indicating that actions can be moved between them. A large watermark "jpnpdf.com" is overlaid across the center of the image.

Answer:

QUESTION

Create a plan.

Create a classifier function in db1.

Create a workload group.

Create a classifier function in the master database.

Create a resource pool that has the following configurations.

MAX_CPU_PERCENT = 100
MIN_CPU_PERCENT = 50

ANSWER

Create a resource pool that has the following configurations.

MAX_CPU_PERCENT = 100
MIN_CPU_PERCENT = 50

Create a workload group.

Create a classifier function in the master database.

Explanation:

Answer Area

Create a resource pool that has the following configurations.

MAX_CPU_PERCENT = 100
MIN_CPU_PERCENT = 50

Create a workload group.

Create a classifier function in the master database.

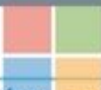
最新問題: 108

Azure 仮想マシン上に、DB1 という名前のデータベースを含む SQL Server があります。DB1 は 30 TB で、1 日の変更率は 1 GB です。

Transact-SQL コマンドを実行する Microsoft SQL Server エージェント ジョブを使用して、データベースをバックアップします。毎週日曜日に完全バックアップを実行し、毎日 01:00 に差分バックアップを実行し、5 分ごとにトランザクション ログバックアップを実行します。

水曜日の午前 10 時にデータベースに障害が発生します。

どの 3 つのバックアップを順番に復元する必要がありますか? 回答するには、適切なバックアップをバックアップ リストから回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions  **Answer Area**

Monday, Tuesday, and then Wednesday differential backups

Wednesday, Tuesday, and then Monday log backups

full backup

Monday, Tuesday, and then Wednesday log backups

Wednesday, Tuesday, and then Monday differential backups

Wednesday log backups

Wednesday differential backup

Navigation icons: left arrow, right arrow, up arrow, down arrow


Answer:

Answer Area

full backup

Wednesday differential backup

Wednesday log backups



- 1 - フルバックアップ
- 2 - 水曜日の差分バックアップ
- 3 - 水曜日のログバックアップ

最新問題: 109

SQL Server がインストールされている Azure 仮想マシンが 10 台あります。特定のデータベースを他の SQL Server インスタンスに復元できるようにするには、バックアップ戦略を実装する必要があります。ソリューションでは、バックアップの集中管理を提供する必要があります。

バックアップ戦略には何を含めるべきですか？

- A. SQL 仮想マシン設定の自動バックアップ
- B. Azure バックアップ
- C. Azure サイトの回復
- D. SQL Server エージェント ジョブ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

セクション: [なし]

Explanation:

Azure Backup は、Azure VM 上の SQL Server にエンタープライズ クラスのバックアップ機能を提供します。すべてのバックアップは、Recovery Services コンテナに保存され、管理されます。このソリューションには、特にエンタープライズにとっていくつかの利点があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/virtual-machines/windows/backup-restore#azbackup>

最新問題: 110

SQL1 と SQL2 という名前の 2 つのオンプレミス Microsoft SQL Server 2019 インスタンスがあります。

SQL 1 でホストされているデータベースを Azure に移行する必要があります。ソリューションは次の要件を満たしている必要があります。

移行されたデータベースをホストするサービスは、リンク サーバー接続を使用して SQL2 と通信できる必要があります。

管理上の労力は最小限に抑える必要があります。

データベースをホストするには何を使用すればよいですか？

- A. Azure 仮想マシン上の SQL Server
- B. Azure SQL マネージドインスタンス
- C. Azure SQL Database エラスティック プール
- D. 単一の Azure SQL データベース

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 111

SSISDB データベースを含む Azure 仮想マシン上に SQL Server 2019 があります。

最近の障害により、マスター データベースが失われました。

すべての Microsoft SQL Server 統合サービス (SSIS) パッケージが仮想マシン上で実行できないことがわかります。


問題を解決するには、どの 4 つのアクションを順番に実行する必要がありますか？ 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順に並べます。

Actions  **Answer Area**

- Add a certificate to an Azure key vault
- Enable Transparent Data Encryption (TDE)
- Encrypt a copy of the master key by using the service master key
- Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property
- Attach the SSISDB database
- Open the master key for the SSISDB database

Navigation icons: Right arrow, Left arrow, Up arrow, Down arrow.

Answer:

Actions  **Answer Area**

- Add a certificate to an Azure key vault
- Enable Transparent Data Encryption (TDE)
- Encrypt a copy of the master key by using the service master key
- Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property
- Attach the SSISDB database
- Open the master key for the SSISDB database


Navigation icons: Right arrow, Left arrow, Up arrow, Down arrow.

Answer Area Content:

- Attach the SSISDB database
- Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property
- Open the master key for the SSISDB database
- Encrypt a copy of the master key by using the service master key

Explanation:

- Attach the SSISDB database
- Turn on the TRUSTWORTHY property and the CLR property
- Open the master key for the SSISDB database
- Encrypt a copy of the master key by using the service master key



ステップ1: SSISDBデータベースをアタッチする

ステップ2: TRUSTWORTHYプロパティとCLRプロパティをオンにする

SSISDB カタログが作成されたことがない SQL Server インスタンスに SSISDB データベースを復元する場合は、共通言語ランタイム (clr) を有効にします。手順 3: SSISDB データベースのマスター キーを開きます。SSISDB の作成に使用した元のパスワードがある場合は、この方法でマスター キーを復元します。

マスター キーの復号化をパスワード = 'LS1Setup!' で開きます --'SSISDB の作成時に使用したパスワード' マスター キーの変更 サービス マスター キーによる暗号化の追加 ステップ 4: サービス マスター キーを使用してマスター キーのコピーを暗号化します 参照:

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/integration-services/backup-restore-and-move-the-ssis-catalog>

最新問題: 112

SQLVM1 という名前の Azure Virtual Machines インスタンスに SQL Server があり、このインスタンスには DB1 と DB2 という 2 つのデータベースが含まれています。DB1 と DB2 のデータベースとログ ファイルは、マネージド ディスクでホストされています。

DB1とDB2のスナップショットバックアップを実行する必要があります

SQL ステートメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



The screenshot shows the SQL Server Enterprise Manager interface. A query window is open with the following text:

```
ALTER SERVER CONFIGURATION
SET SUSPENDABLE ON
(GROUP <WORKLOAD GROUP>
BACKUP GROUP db1, db2
TO DISK = 'f:\backup\db.bkm'
WITH FILE_SNAPSHOT, FORMAT;
```

A dropdown menu is open for the 'WITH' clause, showing the following options:

- FILE_SNAPSHOT
- COPY_ONLY
- FILE_SNAPSHOT
- METADATA_ONLY

The 'FILE_SNAPSHOT' option is selected.

Answer:



Explanation:



最新問題: 113

Azure Synapse Analytics 専用 SQL プールで日付ディメンション テーブルを設計しています。日付ディメンション テーブルは、すべてのファクト テーブルで使用されます。データの移動を最小限に抑えるには、どの配布タイプをお勧めしますか？

- A. ハッシュ
- B. 複製
- C. ラウンドロビン

Answer: B (メッセージを残す)

レプリケートされたテーブルには、すべてのコンピューティング ノードで使用できるテーブルの完全なコピーがあります。レプリケートされたテーブルでの結合ではデータの移動が必要ないため、レプリケートされたテーブルではクエリが高速に実行されます。ただし、レプリケーションには追加のストレージが必要であり、大きなテーブルには実用的ではありません。

誤った回答:

C: ラウンドロビン分散テーブルでは、テーブル行がすべての分散に均等に分散されず、行の分散への割り当てはランダムです。ハッシュ分散テーブルとは異なり、等しい値を持つ行が同じ分散に割り当てられるとは限りません。

その結果、システムはクエリを解決する前に、データ移動操作を呼び出してデータをより適切に整理する必要がある場合があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/synapse-analytics/sql-data-warehouse/sql-data-warehouse-tables-distribute>

Valid DP-300 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing DP-300 Exam!
GoShiken.com now offer the **newest DP-300 exam dumps**, the GoShiken.com DP-300 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com DP-300 dumps with Test Engine here:
<https://www.goshiken.com/Microsoft/DP-300-mondaishu.html> (**368** Q&As Dumps, **30%OFF** Special Discount: **Freepdfdumps**)